京城日報 夕刊 九月二日(火) 發行所 京城日報社

金剛 朝日釀造會社

本府の自由財源 三百五十四萬餘圓

四年度朝鮮總督府豫算歳計 決算の結果確定す

昭和四年度朝鮮總督府豫算歳計決算の結果によると

歳入總額二億四千五十七萬九千二百六十七圓三十五錢八厘、歳出總額二億二千四百七十四萬三千五百四十四圓十四錢六厘、差引一千五百八十二萬八千九百六十二圓二十一錢二厘の剩餘となつてゐるが、この剩餘金のうち

(一)五年度へ歳出を繰越したるものに對する充當財源六百二十二萬八千五百六圓六十八錢二厘

(二)五年度豫算に剩餘繰入として豫定されたるものに對する充當財源六百五萬四千四百十九圓

この計一千二百二十八萬二千九百二十一圓六十八錢二厘を差引すると、四年度豫算の剩餘金中の自由財源は結局三百五十四萬六千四十圓五十三錢といふことになる。この自由財源は災害復舊、追加豫算および六年度の豫算財源に充當し得るものである

統帥權論議 愈よ本筋に入る

果して統帥權干犯か 成行頗る注目さる

【東京電話】ロンドン條約諮詢第六回樞府委員會は三日午後一時引續き開會、統帥權問題で河合顧問官の質問を續行し、實際の運用を基礎に徹底的に追求をなし、これを機會に統帥權問題を明白にすべく委員随一の久保田男か、場合に依つては伊東委員長自ら舌鋒鋭く肉薄する狀勢で、樞府の見解は回訓當時の軍令部との不一致を統帥權干犯なりとし他幾これを追附し政府の答辯次第で更に波瀾を捲き起す模樣で、論議はいよ〳〵佳境に入つた

樞府の虎の卷 これて政府を虐める

【東京電話】一日の樞府委員會席上財部海相から提示したロンドン條約の回訓當時の電報は左の如くである

山梨次官發電 首相の命に依り請訓案の如く承認せざるを得まい、岡田大將も同意せり

加藤軍令部長發電 御苦心を推察す、八巡及び潜水艦の融通性につき猶御努力を乞ふ。回訓に反對せり、上奏をも爲す決意を有す、御安心を乞ふ

右電文に依るも、加藤前軍令部長の同意なきこと明瞭なりとして樞府側の追擊材料となつてゐる模樣である

政府側は樂觀 斯う解釋

一日の精査委員會を

【東京電話】一日の樞府精査委員會の經過につき政府側では左の如く見てゐる

一日の委員會では河合顧問官は統帥權問題、金子顧問官は憲法上の關係に關して論難する處あり、就中顧問官の所見を質す處あつたが濱口首相の懇切詳細なる答辯に依つて大體諒解を得たものと思ふが、ただ不十分の處あれば本問題につき更に質問を續行されることとなろう。しかして回訓案決定當時の

『經過』に就ては加藤軍令部長の同意を得たものであり更に當時山梨海軍次官が回訓案の兵力量承認を已むを得ざるものであるから補充計畫に就て政府の考慮を望む旨の申出であり政府もこれを諒として濱口首相より承認のサインを爲したる文書を手交したることによつても、加藤軍令部長は閣議後の行動は知らず回訓案決定當時はこれを承認したるものと見るべきである。しかして金子顧問官の質問なる憲法解釋に關しては素より加藤内閣の塚本法制局長官より示めしたる『兵力量の決定に就ては軍部の緊密なる作用を承くるものなり』との見解は現内閣としても變改するものではない、故に回訓案決定に際しても軍部の同意を求めたものである。併しながら軍部の同意を要すべしとは

『解釋』すれども、その決定に關する輔弼の責任は政府に在りとの信念は尚未だ變化するものではないといふが、統帥權も又條約締結權も等しく大權にあり、大權が大權を干犯するといふが如き論理は成立せぬものと考へる。更に河合顧問官は閣議されるが、平時の常備兵額決定の際は軍部が主働的となるに反し、今回は條約の締結を前提とするため政府側が主働的になつたことにおいて事情かの如くなつてゐる點を諒解して貰はねばならぬ。この點は濱口首相財部海相より詳細説明をなしたが、次回に質問續行されるとも特に政府側として考へて答へる必要はあるまい。終に容文問題に對する政府の

『見解』は從前と何等相違する處はないと稱してゐるが、濱口首相は財部海相の説明が不出來であつた點を發慮し、二日の閣議散會後關係閣僚の居殘りに依り次回委員の答辯を打合せることになつてゐる

矢面の兩相 と之を睨む加藤大將 (上)濱口首相 (中)加藤前軍令部長 (下)財部海相

けふ閣議後 關係閣僚協議

【東京電話】樞府の條約審査委員會はいよ〳〵本筋の統帥權問題に觸れ論及辛辣を極め一日の政府答辯は委員の満足を買ひ得なかつたので、政府では二日の閣議散會後六大臣の協議會を開き、三閣僚から先月二十六日の委員會開始以來三回にわたる委員會の經過を報告し、河合顧問官の徹底的追窮を豫想される三日の委員會に對する答辯を練るはずである

平沼副議長 伊東伯と打合

【東京電話】平沼樞府副議長は二日午前九時伊東巳代治伯を訪ひ、三日の第六回委員會に持越された統帥權關係質疑を初め條約審査の諸問題につき打合せた

覺書は政府の關知せぬ處

濱口首相の説明

【東京電報】一日の第六回樞府精査委員會において河合委員より兵力量の決定に就ては海相と軍令部長との間に意見の一致を見ずとのいはゆる覺書問題に關し質問したる處、濱口首相はそれは海相と軍令部長の間の問題で政府の關知せぬ處であると説明した由である

高松宮兩殿下 御出席の 諾威皇室の 御晩餐會に

【オスロ一日發電】高松宮同妃兩殿下には一日午前ベルゲンより當地に御到着、ノールウェー皇太子オラフ殿下初め多數閣僚の御出迎へを受けさせられ、オラフ殿下と自動車に御同乘、沿道の市民歡呼裡に御旅舍グランド・ホテルに入らせられ御少憩の後、ビグデイの夏の宮殿に國王ハアコン陛下を御訪問遊ばされ、夜は同宮殿におけるノールウェー皇室の御晩餐會に御出席遊ばされた

教育勅語渙發 滿四十周年記念

教育勅語奉讀=御趣旨徹底 本府の計畫決る

本年は教育勅語が渙發せられてより滿四十周年に當り、文部省においても來る十月三十日を記念日として學校關係の表彰、その他の記念事業が計畫されてゐるが、朝鮮においては學務局において種々記念事業を考究中であつたが、十月三十日を期して總督府はじめ各道において教育勅語奉讀式を舉行し、總督府では特に朝鮮總督に下賜せられたる教育勅語を拝讀せしめることとなつてをり、次に各學校においても當日奉讀式を行ふことになつた。更にこの際教育勅語の御趣旨を一層徹底せしむるため同勅語を諺文、漢文に直して印刷し國語を解せざる方面に配布し、また城大教授その他を講師として各地で講演會を開催する。大體以上の如く決定して準備が進められてゐるが、内地におけるが如く表彰は行はぬこととなつた。なほ朝鮮教育會ではこれを記念して特別號を發行する豫定である

李鍵公家漁場 再聲明發表

香椎氏との手打成り 本日公家事務所から

李鍵公家御所有の漁場に對する香椎源太郎氏との隨意契約問題は種々協議の末漸く去る卅日圓滿に解決されたので、同問題に關し李鍵公家事務所では二日附で左の聲明書を發表した

聲明書

一、當公家漁場處分につきその一部の漁場は永年の緣故を有する香椎源太郎氏に對しその緣故關係を認め同氏と隨意契約の下に讓渡すべく曩に同氏と當公家との間に於て協商を遂げたるも不幸終に不調に了り去る八月二日を以て公家より協商を打切り右緣故漁場はその他の漁場と共に指名入札に依り讓渡するに決しその旨一般に廣告し去る八月廿五日申込を締切り申込者に對しては審査の上夫々指名書交付を了りたり然るに今回總督府當局の希望により谷知事調停の下に前記香椎氏と隨意契約締結の爲め再び協商を遂ぐるに至り結果香椎氏に於て當公家の豫定價格を以て讓受けの申出に對し公家においても之を承諾し茲に緣故漁場讓渡に關する契約を締結することとなれり

二、然るに香椎氏と隨意契約に就き協商を開始すると同時に同様の主旨の下に隨意契約に附すべき緣故者六名に對しても同時夫々協商を遂げたる結果價格の關係において不調に了りたるもの四個所契約を締結したるもの二十個所あり然るに前記緣故漁場處分決定後指名入札に關する廣告により申込を受けたるものゝ中轉貸打算により當公家直接の關係なきものにして事實上當緣故深きものあるを發見したるも既に一般廣告後にして如何とも爲し難く今日に及びたるも前記の如く香椎氏との隨意契約を締結する以上は前記緣故者に對しても同様協商を遂ぐべきは當然のことなるを以て今回更に是等緣故者に對し夫々協商を開始する者となれり

三、以上の次第なるを以て茲に廣告したる卅八個所中香椎氏に讓渡すべき十二個所を除去し同時に新たに隨意契約に附すべき約八個所は夫々協商の結果により指名入札に附すべきや否やを決すべき關係となりたり

四、前號の次第に付既定の入札日迄に隨意契約の締結確定を見難く從て自然入札日を延期するの已むを得ざるに至りたるも一面漁期切迫し漁業家の準備將はざるの虞あり一日も忽にすべからざる場合なるを以て最少限度の範圍において一週間を延期し即ち九月十一日を九月十八日に改むることとせり

五、前各號の關係は各入札指名者に對し郵便並に新聞に廣告を以て急速通報の手段を取れり

六、以上は當公家において全く豫知せざりしものにして永年の緣故者たる香椎氏に對して當初の目的を貫徹したるは頗る滿足する所なるも之がため公約したる讓渡漁場に變更を來たし該漁場に對し既に入札の準備を整へたる指名者に對しては誠に遺憾に堪へざる所なり

右は當公家の面目上は勿論入札申込者に對し重大なる事項なれば右處決に關しては當公家附李王職事務官池辺龍一郎東京に急行し當公家顧問陸軍少將前田昇兩名東京に急行權利者たる李鍵公殿下の直裁を仰ぎ始めて決定したる次第なれば此旨特に一般の諒察を乞はんとするものなり

昭和五年九月二日 李鍵公家事務所

盜犯防止令 十日から施行

各外地への施行 本日の閣議で決定

【東京電報】政府は二日の閣議にて盜犯防止に關する法律を臺灣、朝鮮、關東州の各外地に施行するの勅令を決定した。何れも十日より實施されると

鮮銀檢査問題 外交々涉中

わが外務省から ハバロフスク領事に

【東京電報】勞農官憲は八月十二日朝鮮銀行浦鹽支店の檢査を開始し今日まで連日檢査を繼續してゐるが、一日政府當局への入電に依ればすでに全部の帳簿を檢査し盡したため最近では毎日同じ帳簿を檢査し、同じ質問を繰返すのみで何時檢査を打切るものとも豫想つかずとのことである。ロシア側の銀行檢査の目的は鮮銀閉鎖に對する非常手段として爲替取引、殊に北洋漁區料金を不當にして支拂はしめんとする政治的意味に依るものと見られてゐるが、若し鮮銀に對し不當取引を强要すれば鮮銀支店は閉鎖の外なく、然もロシア對外國との爲替業務一切を一手に行つてゐる鮮銀の浦鹽引揚げに依つて最も打擊を受けるものはロシア自身である。目下外務省はハバロフスク領事をして外交々涉を行はしめつゝあるもこれが解決までには相當の曲折があるだらうといはれてゐる

▽—故富田翁の追悼會—△

總監はじめ 會葬賓に千餘名

寄贈の花輪百數十 場を埋むる盛儀

故富田翁の追悼會けふ執行

恩顧の人、朝鮮實業界の恩人、故富田儀作翁の靈を弔ふ追悼會は二日午後二時から公會堂でしめやかに行はれた。會場は各方面から寄せられた百數十の花輪で埋め立てられ、正面の祭壇に飾られた故翁の遺影は香煙に霞んで今更ながら參會者の涙をそゝる。兒玉政務總監、林泰享候を初めとして朝鮮貴族、官民有志千余名を以て場内は全く埋め盡されたのは故翁の生前の偉大なる德をしのぶにふさはしき限りであつた。正二時、嚴かになりひゞく振鈴とともに、一同正面に向つて默禱をなし、香偈、三寶禮、四奉請、三寶禮と追悼會は嚴肅裡にすゝみ、兒玉政務總監の追悼辭あり、故人の偉業に涙をかむ聲さへ洩れる。かくて讀經にすゝみ、その間一同の燒香あり、念佛がとなへられた後回向に移り、午後三時散會嚴肅裡にこのしめやかにも盛大な式を閉ぢた

陸軍辭令(東京電報)

補野砲兵第二十七聯隊大隊長 砲兵少佐 田中久

野砲兵第二十五聯隊大隊長 砲兵少佐 青木謙

補野砲兵二十五聯隊附

會

◇京城商工聯合會所議所 山本靜也氏の入城を機として四日午後三時から京城ホテルに於て時局座談會を開く

人

◇兼田勝讓氏(朝鮮物産協會常務)九月二日午前七時入城天眞樓へ ▲松浦英哉氏(朝鮮物産協會社事務)同上

◇戸島祐太郎氏(東京實業家)一日朝七時入城天眞樓へ ▲森田一雄氏(朝鮮窒素常務)二日朝七時入城同上 ▲三浦剛毅氏(神戸中村組重役) ▲高武彦氏(全北警察部長)同上

◇谷多喜磨氏(慶南知事)一日夜退城

◇井上主計氏(新義州稅關長)二日朝入城京城ホテルへ

◇田邊儀作氏(朝鮮水産重役)二日午前朝入城、備前屋へ

◇野口遵氏(朝鮮窒素社長)二日午後十時半京城驛發で大阪へ

◇木村雄次氏(東洋生命社長)五日朝入城、十日まで滯在の豫定

◇齋藤龜三郎氏(東拓京城支店理事)三日夜東京赴任の途

航空往來 (二日朝出發)

上り ▲内山小夜吉氏(東京へ) ▲野田好雄氏(福岡へ)

下り ▲山田榮之助氏(大連へ) ▲明石賢人氏(同上)

あすの天氣 3)

低氣壓は朝鮮海峽にあつてほとんど動かずその勢は次第に弱くなつて來る、高氣壓は北海道方面から沿海州を經て北鮮及び滿洲に擴がつてゐる、南鮮は曇りその他は天氣がよく氣溫は昨朝より三度ばかり下つた、明日も天氣はよく續はひける

豫報 晴一時曇

仁川干滿時 (三日)

滿潮 午前〇時四十五分 午後一時〇分

干潮 午前七時四十五分 午後八時

刺青傀儡話 【91】

東北確存 (二)

石の七輪に掛けた膏藥鍋、鍋のやうな粘着力を持つたまつ黒な藥が、ぶくツぶくツと鈍い音を立てゝゐる中へ、手頃な木切れを突き込んでかり〳〵と掻き廻す。

新七の内職、膏藥練りがはじまつたのである。新七は手拭で片襷といふ甲斐々々しい樣子だけど、馴れない事はどうもうまく行かないもので、練つてゐる途中に、

『オツ、いけない、焦げつく〳〵!』

あわてゝ素手で鍋を下して、指先に火傷をこしらへた。いきなり勝手へ走つて行つて、指を水で洗つたり舐めたり撫でたりしたけれど、ひり〳〵痛んで仕方がない。とんだ粗相をやらかしたが火傷が痛むにつけても、胸を打つて思ひ出されるのは親や妹の事だ。

『お母さんやお香皆はどうしてゐるんだらう。お父さんも御無事でゐるのかなあ——』

と呟いたが、今更に不孝の身を責めて、はら〳〵と涙が流れて來る。ぴつたり目を瞑つて涙を拭く。

その指がじん〳〵と痛む。

『おゝさうだ、あの膏藥は火傷にも利く。膏藥練り主のこの火傷から、眞先に試してみよう。さうだ〳〵、何の事だ』

と思ひついて、火傷に焦げた練り立ての膏藥をなすつて、しばしは何一ツ、擦る事も出來ない、觸れる事も出來なければ恐ろしく焦げた事になつたけれど、よくしたもので、藥力は利いた。二時あまりの内に火傷は癒にた。

『あゝ、よく利く。これこそ長州屋家傳の膏藥だ。うらむ、利く〳〵、うらむ——』

と、まつ黒な指先を見つめて、すつかり我れ乍ら感心した。全く不思議なくらゐに利く膏藥である。

これに勇氣を得て、それからは一心に練つた。鍋の中へ蚊の落ちようと蛾が飛び込んで來やうと、そんな物取り出す隙に又焦げてはいけないから、何だらうと、彼だらうと混入して來るものは混入する方が宜いとして、まるで血の池地獄の亡者扱ひ、それも黒ければこれも黒い、烏羽玉の闇を羨る心持ちで、一切平等見境なしに、かりかりと練つた。

程よく練り上げてから、今度は固でそれを一定の形に切つた紙に延ばす。いや、どうも、骨の折れる事おびたゞしい。

膏藥百枚作つてさて考へた。

『どうして賣らうかな』

賣る方法に困つた。表のれんじ窓に紙を貼つて『かう藥あり』とするのもよいけれど、それでは長州屋の者にこの隱れ住ひを發見される恐れがないとは云へない。だからそれは厭だ。

お町と二人、一晩額を突き合はせ考へた結果、こつそりと近在の藥屋へ卸して廻る。値を安くすれば、田舍の事なら買ふだらうし、又そのうち利き目が判つてくれば賣れ足もつかうといふものだ。といふので、翌日新七は早速に風呂敷荷を背負つて頰冠りした上に編笠を冠つて家を出た。さりとは嚴重な冠り物だ。男がよくて年若だから、日焼けを厭ふのだらうと見る人にだけ勝手にさう思はせて置く。實は人目を包む忍び歩きだ。どんな知つた人に逢はないものでもないから、それを懸念して、まづ此の通り。

第一日は柴又の帝釋あたり、第二日は行德方面、第三日目には千住一圓、と、江戸の外廓から外廓へ、こそ〳〵と鼠のやうに經めぐつて賣つて歩いた。たいていの藥屋では、快く膏藥を引取つてくれたが、値段は——あゝ、それがすぐには取れない。

『賣れてから分金にお願ひします』

と來る。何所でもさういつた。元來何町の何屋何右衛門謹製とも何とも目印の刷り物が貼つけてない藥だから、その虐待に遭ふのだ。尤も目印の事を思はぬでもなかつたが、その版木を作る金がないのである。それで向ふの云ふまゝに卸して廻はつた。家へ歸つて

『お町、今日も賣れたよ。よく賣れた。しかし金には急に成らずで』

と、疲れ切つて云ふ。

墓地立退陳情の土幕民＝けふ府廳にて＝

墓地立退の陳情に府廳へ
桃花洞土幕民三百戸
墓は新寺里に移轉

二村洞から桃花洞に安住の地を得た三百戸の土幕民が、二日午前十一時、大擧して京城府に桃花洞の墓地立退の陳情に押しかけた、——二村洞の土幕民は過般の水害で、居る所を失つたので、府は龍山警察と協力して、これらに安住の地を與へるとし、桃花洞の府有地を解放して、一戸十六坪の土地を貸與したが、同所は元墓地で現に四千の土饅頭があり、府は至急措置として、墓地整頓により、所有者に移轉を求め、すでに六百の移轉が完了したが、猶三千四百あり、この墓地のため、土幕民は折角土地を得ながらも家屋がつくれず、墓地と墓地の間に掘立小屋を立てゝゐたが、寒さが迫るにつれて、これでは困るので、墓地立退きの陳情となつたもので、府では早速この墓を新寺里墓地へ移轉して土幕民安住の地となす筈

シカゴ野球團 今早朝來朝

【東京電話】早大招聘のシカゴ大學野球團一行十三名は、監督ノーグレン教授に引率されて二日早朝横濱入港の氷川丸で來朝した。高杉早大野球部長以下の出迎へを受けて午前十時東京驛着、早大選手その他盛んな出迎へをうけて帝國ホテルに入つたが、午後三時から戸塚球場にて約二時間練習を爲す

禁酒法による米國の損失年額は 實に卅億圓
『噫!この悪法』と反對黨厄氣となる

【ワシントン發】米國の禁酒法に依る損失は實に三十億圓といふものだ大分古いものだが、之に對する反對の火の手は依然衰へないのみか寧ろ盛んになる傾向すらあつて、ロンドン海軍會議の全權にして、鳥人リンデイの岳父モロー氏の如き今秋の上院議員選擧に禁酒法反對の旗幟を掲げ[illegible]した有樣で、いづれ顯著な役割を左右する重大問題となることは火を見るよりも明かなる事實。最近禁酒反對團體は、禁酒法といふ悪法のお蔭で米國は年に三十億圓の損をしてゐると發表して、一般社會のセンセーションを惹起しつゝある。第一に禁酒法の勵行に要する費用だけでも、一九二九年中に六千五百六十七萬九千六百四十圓に達してゐる。この數字が前年、即ち一九二八年のそれに比較して、四千八百萬圓の增加を示してゐる事實にみても、禁酒法の勵行が益々多難となりつゝあることを示すものだといはれてゐる。さうした傾向はこの法律違反に關する裁判事件によつても知ることが出來る。即ち、それらの事件は一九二八年の四萬七千四百四十八件から五萬六千四百九十二件に增加し、これに對する訴訟者の費用は二千六百萬圓である。その他密造の增加や、秘密の費用を通算し、禁酒法違反による科料一千百萬圓を差引いても、禁酒による歳入減を加算すると、その損失額は十九億一千九百七十四萬五千七百四十圓といふ。大きな額となりその負擔を米國人全體で背負ひ込まねばならないとは、禁酒反對派のいひ分である

海員審判二件

八月卅日[illegible]局内の海員審判所において發動機船第二龍海丸の乘組事件外一件の審判が行はれたが、同機船は去る三月十一日全羅南道所安島に碇泊中暴風に遭ひ、陸岸に準備して乘客たる子供二名を溺死せしむるに至つたもので同船長林鍾業が天候の變化に深き注意を拂はず、又船舶の方法不良のため右事件を惹起せしめた職務上の過失に基因するものと認められ、其船長の行使を二月間停止せられた、又他の一件は去る三月廿九日發動機船慶洋和丸(...)が湧浦内北方において發動機船榮角丸に衝突してこれを沈沒せしめたもので、美津和丸船長二三渡七は右職務上の過失により譴責處分に附せられた

助興税値上げ以來 不納者續出す
府當局も徹底的處分

京城府では去る六月助興税は『如何なる程度まで引上げても當業者は經濟に困難はない』といふので在來一時間七錢したものを一錢引上げて八錢にした、その當時料理業者一同は京城府へ殺到し『不景氣の折柄料金を上げたならば更に困る』とて猛烈な反對をしてゐたが果して納税期間が過ぎても不納者が大分多く、漸く說得的に一部は納付されたといふ府政以來はじめて見る徴收成績不良なので、京城府税務課ではこれを滯納處分に附すべく督促令を各業者へ交付したが、今後の成行如何は疑問である、これは料理業者一同が約束して故意に滯納する一種の示威とも見られ府當局もこれに對し徹底的に滯納者を處分する筈である

兩飛行士に勳章を贈呈

【東京電話】帝國飛行協會では今回大飛行を完成した栗、吉原兩飛行士に對し、最高名譽賞たる白色有功章を贈るに決し、來る七日同協會に於て贈呈式を行ふ事となつた

四十時間で大西洋を横斷
コ大尉の意氣込み

【パリー一日發電】コスト大尉の逆コース大西洋横斷飛行は四十時間にて完了する意氣込みであるが同乘者ベロント中尉は少くも三十二時間を要するであらうとみてゐる

紐育着は三日午前五時

【ニューヨーク一日發電】大西洋を航海中のフランス船ロシヤムボウ號よりの無電によるとコスト機は一日午後五時二十分(グリニッチ時間)アイルランド西端を距る三百哩の上空を飛行中との無電を受けた、なほニューヨーク着は日本時間三日午前五時四十四分である

荒天を衝いて進む

【パリー一日發電】フランス汽船ロシヤム號の無電によると同船はコスト機から[illegible]の隙間を抜けて荒天を衝いて進路を北にとつて居るとの無電をうけたと

二日分の難行程を一氣に突破した我等
無事安着のヤッホーを三唱
朝鮮アルプス登行記　鐵道局　福田登……(7)

＝十五日＝　驟雨後晴り夕立あり、桃山より南土洞行程八里　氣溫最低四十八度、最高八十三度

夜半に降り出した雨は朝には晴れて、五時起床した時には浮雲が下の山間を遊動してゐるに過ぎぬ。然し氣溫や雲行等より判斷するに天候は極めて不安定なるを思はせてゐる。依つて斷然下山に決す。然し豫定の民泉谷を下るは雨後の川の本流徒渉を意味するので、十二、十三の豪雨で當然非常な增水をしてゐる、南老川徒渉の危險は回避するが賢明なる策であることを悟る。地圖を按ずるに南土洞に下る稜線に二つのルートがある。即ちゝは一八五一米峰大三角より走る東尾根を辿び大桐谷に出るもの、他は大三角より尾根傳ひに少しく南に下し原始林の急斜面を東南に下つて小桐谷に出るものである。然し前者に依る時はなほ本流の徒渉を余儀なくされるので、第二のルート即ち小桐谷下りを決行することにした。

八時テントを片付て桃山南端の絶端を目指して出發する。峠を下れば一帯の濕地で歩き難いこと甚だしい然し谿に霧を上げて來るので少しも視界は出來ぬ。ガンバリ通して十時三十分大三角に到着した。途中鯨所に野獸の新しい足跡と糞とを見たが、天候變調の恐ろしさが先立つて猛獸など全然念頭に浮ばなかつた。相當急速度でやつて來たのであるが雲足の方が早く、此時すでに一行の下らんとする東南斜面は全く雲に蔽されて少しも眺望がきかず、ルートの確認不可能となつた。然し東南に向つて下れば必ず谷に出る確信があるので、見透しのきかぬことも大して氣にならず、十一時半この大三角の南尾根に沿ふて下り初めた、行くこと九六丁『この邊からだな』といふ感だけに頼つて東南に方向をかへ、密林とブッシュとに覆はれた六十度あまりの急斜面を下つて行く。一人の人夫を先頭に立て斧でブッシを切り開かせ、各人はドラの音に合せつゝヨイサヨイサの掛け聲勇ましく無理々々にブッシを押し分けて進む。一歩に一間も滑り下つたと思へば、木の枝にリュックサックを引掛けて進退谷まつたり帽子を飛ばされたり頭を彈かれたり、倒腐木を乘り越さうとして滑り落ちたり、難行の連續であつたが、人夫は下り路であるのと又々家に向ふのだといふ喜びとで今迄とは全然異つた歩調で進み大三角を出でゝより僅一時間にして小桐谷の第一合流點に到達した。谷は豫想以上に增水してゐる。この邊は全く人跡未到の地であるから勿論路などありつこないがこの溪流に沿ふてやれば自然に南老川の川端に出られるのだ。然し果してそれが可能なりやは問題だ。兎に角行ける所迄ガンバらうと、で地下足袋に穿き換へ徒渉の用意を整へて午後一時出發する。谷間は益々溪流に沿ふて相變らずブッシの中を泳いで行く。岩や斷崖に行く手を遮られる度に對岸に徒渉する。初めは川巾も十尺内外で深さも膝の邊であつたので、激流ではあるが容易に渉れた。が然し漸次下るに從つて川巾は三十尺、四十尺となり、水深も腰に達し胸にもおよんで來るので單獨徒渉は全く危險となつた。然し幸なことには人夫の中に金洛仁と張成玉の二人の徒渉の名人が居た事だ。張成玉の如きは『危い』といふも聞かず何時も最先に水中に飛び込んで水先案内をやる。

午後四時小桐谷の一軒家に着く傾きかけた小屋で人など住んで居ぬ。此處よりは路らしきものが川の右岸又は左岸に下つて居る。然し溪流はいよ〳〵深く又水勢益々強く、徒渉の危險が非常に高くなつて來たのでロープを使用しつゝ渡る、大體に且非常な注意を拂つて。雨はしげ〳〵やつて來たがぬれぬ先こそ厭ふてもおれ、こうぬれては雨など少しも苦にならずぬれ鼠となつてガンバツて行く。處々に物凄い山崩れの跡があつて大木巨石を押し流して居るので、今にも頭上の岩石が落ちて來そうな恐怖心に驅られ匆々として歩調を早める。然し霧吹く激流の通荒線の鉋きや徒渉の有様を撮影するだけの余裕はあつた。ひた押しに押し進んで七時南老川への落口迄豆洞に到達した。此處迄來れば南土洞は呼べば應へん許りの距離ではあるが本道は對岸にある爲部落へ出るには徒渉を二回せねばならぬ題となる。然るに本流は川幅廣く、徒渉など思ひもよらぬ。谷間の日足は早く暮色蒼然として來た。最早先が見えてゐるので非常食のビスケットで元氣をつけ、南老川の左岸、岩の斷崖の裾に噛りつく。岩は流木と激流とに洗はれて新面を出し摩擦多く比較的トラバースしやすい。然し一歩又は一手を誤れば渦まく激流に吞まれる虞があるのでとても緊張する。卅分足らずの岩場であつたが二三時間も努力した程に感じ安全地帶に出た時はホッとした。

部落に近づけば一行のドラの音を聞きつけて人夫の家族達をはじめ部落民全部戸外に走り出て無事であつたことを喜んでくれた。聞けば南土洞部落も南老川氾濫のため全く危險に瀕したとのこと、從つて僕達一行の安否については非常に危惧の念を懐いて居たといふ。二日分の難行程を一氣に突破した我等一行九名は凱旋將軍のやうに意氣揚々と楊氏宅庭前に集まり無事安着のヤッホーを三唱した。時に午後八時

半島ゴムの職工動搖
一兩日に解決か

府内中林洞半島ゴム會社職工百八十七名中の一部は一日午後から動搖を來したので西大門署にては事件の悪化するをおもんぱかつて警戒中であるが、右は先月から賃金値下げを行ひ、その最初の支拂日なるに加へて一部業者が契約通りに賃金を支拂つたことを誤解したものらしく、一兩日中には解決する模樣である

修養團の國調宣傳
今夜示威行列

朝鮮修養團本部では今二日夜來る十月一日朝鮮で最初に行はれる國勢調査宣傳のため大示威行列を行ふこととなつた、午後七時半團員約二百名は京城府廳前に集合し國調の大提灯を掲げ勝鬨を高唱しつゝ先づ本社を訪問しそれより太平通り、朝鮮新聞、鮮銀前、本町通り、黄金町、永樂町、京城日々、明治町を通過し鮮銀前にて解散するはずである

硝子戸を外し時計を盗む
勸商場の賊

京城府長沙洞一五七番洋服職工金大用(こ)は二日午前六時三十分頃府内鍾路通四丁目一番地勸商場雜貨陳列の硝子戸を取外して金側腕卷時計一個を窃取逃走せんとしたが同場人夫金致秀が發見し直に捕へ身柄は東大門署へ突き出した

自動車中の洋服を失敬す

一日午前一時頃南山東本願寺裏にて擧動不審の鮮人男が居るので、巡廻中の本町署員に誰何されたが益々不遜な態度があるので、倭城臺派出所に同行取調べた處、黄金町東亞自動車商會の自動車中より洋服ズボン一揃、上衣二揃計四點を窃取した旨自白したが、余罪ある見込で取調べ中である

拾兒

一日午後八時四十分頃府内錦路通五丁目四六二番地道城方前道路上に於て生後三ヶ月位の朝鮮人なの男子の捨兒があつた該兒は府内[illegible]に保護中であるが犯人は目下捜査中である

早大軍捷つ

早大劍道部對全安東軍の對抗試合は一日大和小學校講堂で擧行十五對七で早大軍捷つ(安東電)

尖端的薩摩の守
百弗の契約でロハ飛行
目的地で飛行士を巻く

【アトランチックシチー發】三十四歳のゴッドフレーといふ男は飛行機ロハ乘りをきめ込んだため目下當地警察で取調べを受けてゐるが、當市からニューヨークへ飛行士ノルデハイム君が操縦の飛行機で、頼しい顔で飛び出したが、途中でノルデハイム君が契約金を請求すると、一文無し、それでもまだニューヨークへ着いたら拂ふからホテルまで同道して貰ひ度いと吹いて置いて、さてニューヨーク着の上ホテルへ行く途中地下鐵でノルデイム君をまいてドロン。今迄にかうした飛行機タダ乘りははじめてだと正にスピード時代の尖端的薩摩の守か。

海外・スポーツ・ニュース

八歳少女海峽横斷

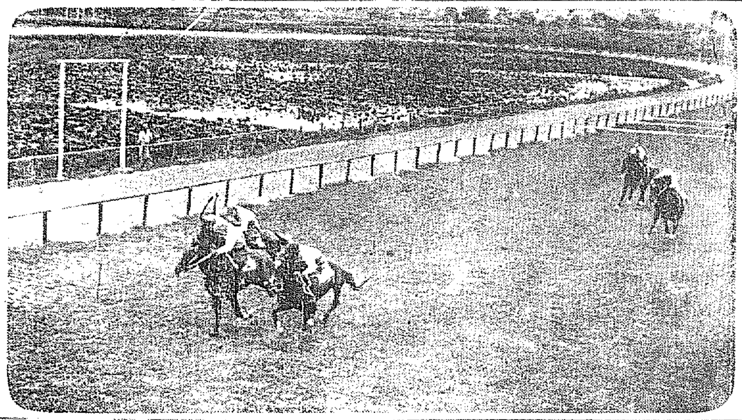
【イスタンブル(舊名コンスタンチノープル)發】僅八歳の少女がヨーロッパ大陸から亞細亞大陸まで泳ぎ切つたコンスタンチノープルにある米國スタンダード石油會社支配人トムスキン氏の八歳の娘さんバーバラ嬢は、ヨーロッパ大陸とアジア大陸との間を流るゝボスポラス海峽一哩四分の一を首尾よく泳ぎ切つた。この海峽は水流極めて急で大人でも容易に泳ぎ切れない難所である。

夜間ゴルフ出現

【キャンサス・シティー(ミヅリー州)發】夜間の野球はすでに米國各地で行はれてゐるが廣汎な地域を要するゴルフまで遂に夜間競技の設備が各地で出來かゝつてゐる。當地の夜間ゴルフ・コースも其の走りの一つ大體試驗濟みで良好九ホールスのコースだ。

ゴルフで五十二哩

【ホワイト・プレーンス(ニューヨーク州)發】目下流行の各種耐久競爭に刺戟されてかペンシルヴァニア大學の運動選手で鳴らしたレオ・デコーンといふ物好きな御仁十六時間ぶつ續けてゴルフをやつて歩いた哩數が五十二哩十八ホールのコースを二百ホールまでやつてのけた。何しろはじめたのが午前三時半夜も喰はず夕刻まで殆んど間斷なしに續けたと



秋季競馬迫る＝昨日馬ならし＝

傳染病は消化器系統のみ
下水と井戸水に注意

府内の傳染病は毎日相當數發生し一日は赤痢七、腸チフス三、計十名、然も消化器系統傳染病のみである、一月以降累計千二百十四名中赤痢二百十六、腸チフス三百八十六、パラチフス百七十といふ數字を示し、現在患者二百五十三名中赤痢百三十、腸チフス百十一、パラチフス十二である、道衛生當局では防疫上重要なことは府が下水溝に大改善を加へること、井戸は消防用に止め他は全部水道給水とすることにあるといつてゐる

航空郵便物が朝鮮經由で
内地から外國へ

西比利亞經由歐洲諸國及支那國の内蒙古省、吉林省、黑龍江省、河北省及察哈爾の各地に達する外國航空郵便物は朝鮮内地間の航空路に依り、京城郵便局に遞送し來り、同局より自局並に管内各局所より差立て來りたる外國航空郵便物と一括して之を取扱ふこととなつた

小賣商店座談會

小賣商店經營の權威者山本鶴也氏は昨一日來城、來る四日午後二時より朝鮮ホテルにおいて府内主なる小賣商店主との座談會を開催、對百貨店の今後の經營方針につき懇談を行ふとなほ同氏は四日夜大連に向け退城の筈である

老人電車で重傷

一日午後二時四十分頃西大門發東大門行電車一五一號が西大門町二丁目を進行中折柄同所を通行中の天然洞九〇李春梁(こ)がその前面を横斷せんとして跳飛ばされ全治三週間の打撲傷を負ふた

白米五厘下げ

京城府内日用品公設市場白米小賣値段は今年産作の見越しによる定期米の暴落のため自然現物相場の値下げに伴ひ、各等一キロ五厘づゝを値下げ、特等一キロ二十四錢を二十三錢五厘、一等一キロ二十三錢を二十二錢五厘にした

民謠、童謠の舞踊講習會
廿八日まで

朝鮮童謠協會にては八月三十一日より來る九月廿八日まで毎週水曜日は午後六時から同八時まで、日曜は午後一時より六時迄南山幼稚園遊戯場において童謠民謠の舞踊講習會を開く

水害義捐金

(京城府扱九月一日受付)▲二十一圓四十九錢貞洞公立普通學校職員生徒一同▲二十四圓九錢松洞公立普通學校職員生徒一同▲六圓七十七錢仁峴公立普通學校生徒一同▲十二圓東大門尋常小學校職員一同▲二十二圓十九錢孝昌公立普通學校生徒一同
合計　八十貳圓七拾六錢
累計　六千八百參拾壹圓七拾七錢

家傳　龍山漢江通六番地　鍼醫　村木吞洋　電話龍山三九九

タクシーの御用は　自動車が綺麗な新車揃で　時間が正確で安全第一の　鮮銀横　京城タクシー　電話本局二〇四〇・二七四四

三日よりいよ〳〵開業　(三日間一割引)
移轉改築御披露
京城府永樂町二丁目(元八千代生命跡)
カフエー　ミツワ
電話本局三三四五番

秋季競馬大會
九月六日(土)七日(日)十二日(金)十三日(土)十四日(日)　雨天順延
場所　東大門外常設競馬場
依例勝馬投票執行
社團法人　朝鮮競馬倶樂部

醫學博士　清川涉先生推奬
にんにく主成分
製劑、芳香　アルリー(糖衣錠)は
新時代の要求に適合せる滋養强壯劑

煉瓦改正値段發表
謹啓　時下初秋の候朝夕凌ぎ能く相成申候處各位愈々御健勝に渡せられ候段奉慶賀候　偖て今春來我が京城に於ける煉瓦の相場甚だ亂れて大方各位に對し御迷惑を相掛け申譯無之候就きましては私共は各位の御不便を除かんが爲めに茲に一致協定仕り品質の向上に努力すると同時に市價の統一を圖り左記の通り改正を行ひ九月一日より實行することに致し申候間此儀御諒承下され何卒御用命に預り度奉希上候　敬具

品種	御値段	小賣値段
燒過一等	二錢	二錢一厘
同二等	一錢九厘	二錢
同三等	一錢八厘	一錢九厘
同等外	一錢七厘	一錢八厘
並燒一等	一錢九厘	二錢
同二等	一錢七厘	一錢八厘
同三等	一錢五厘	一錢六厘
同等外	一錢四厘	一錢五厘
機械燒過一等	二錢三厘	二錢四厘
同二等	二錢一厘	二錢二厘
同並燒一等	二錢一厘	二錢二厘
同二等	一錢八厘	一錢九厘
同三等	一錢六厘	一錢七厘
變色特撰	二錢	二錢一厘
特製撰	二錢三厘	二錢四厘

(京城中央渡値段)

清涼里　新井煉瓦工場
往十里　加藤煉瓦工場
鷺梁津　森田煉瓦工場
仁川　山野井煉瓦工場
永登浦　京城窯業株式會社

急告　各位
陸海軍各部隊、官公衙、學校、警察署、消防組、銀行會社、工場、鑛山、其他非常報知用・時報用
矢萩式手動サイレン
特許第一三六〇一〇二七號・第一三三七三八六七號
國勢調査記念の爲め特價提供
京城消防署十二臺納入外全鮮に亘り六十臺納入
詳細なる説明書進呈す　御通知乞ふ
營業科目　消防器具・ポンプ・ホース・ゴム製品
株式會社　赤尾保商店　京城出張所
京城府南大門通三丁目　電話本局三〇三七番・二〇五〇番

香料　無害着色料　製菓用・飲料水用
京城府花園町　東華洋行　電話本局二九九二番

内科　小兒科　中島病院　院主　中島貞信
京城府明治町二丁目(本町明治屋横より入)　入院隨意　電話本局三七八番

御會葬御禮
戒能義重　親戚總代　友人總代

願書締切　九月五日
中等學校二年程度以上の學力ある者
土木科補缺生徒募集
京城工學院

月経　サンガー
服用月やく止り御心配の御婦人方よ
發賣本舗　京城府京都市山の内　眞生園　支店

洗練せる　京城荷札
本町四丁目(電本二一七七番)

京染　みのや呉服店　京城本町二　電本八八八

頭痛にノーシン

キユーピーマヨネーズ　秋晴れの行樂にも　御家庭の御食膳にも

紳士服店　エンドロ　京城長谷川町　電話本局二三六番

柄と型の新しい店

南部京平商店
全鮮一手發賣元　苦汁エキス
豆腐製造用

第七期決算告書　朝鮮無煙炭株式會社

腦溢血(中風)　血壓亢進と動脈硬化症

二科初入選の御婦人三人

（上）石川ヒロ子さん（三〇）女學校を一昨年出て二科の研究所で御勉強、お父さんは[illegible]さんでマチスとピカソがおすきと云ふがブラマンクのやうな感じの畫をお描きになる、（寫眞は千駄ヶ谷のお宅で）
（下）御母子お揃ひで初入選の大内の[illegible]子さん（[illegible]）と娘さんの[illegible]子さん、お母さんは下谷の[illegible]小學校の[illegible]の先生、娘さんは昨年女子美術學校を卒業し、二科の同人[illegible]氏につき勉強して初入選の御成績、御二人とも[illegible]の大家シャガールが大すきとおつしやる、あらいタッチでするどい線を見せた畫をかゝれる。（寫眞は[illegible]）

憶九月一日
―關東大震災を回想して―
◇……川村五楽

攝政殿下には、一時吹上御苑の芝生に御避難遊ばされたが、二重橋前廣場には、日本橋京橋方面の罹災避難者が刻々に密集し來り殆ど立錐の餘地もないばかりなので、午後三時過ぎ、やゝ余炎の衰へるを待つて赤坂離宮に御遷座遊ばされた。

天皇、皇后兩陛下には當時日光田母澤御用邸に御避暑中におはしましたが、宮内省では兩陛下の御安否如何にと御氣づかひ申し上げ自動車の通行絡路を試みやうとしたが到底困難であつたので、陸軍の飛行機に依頼することになり、立川陸軍飛行隊から大阪飛行學校步兵中尉小池武夫氏は二日午前宮内省からの上奏書を携へ、決死の勇を振つて、日光に向ひ、空より途中沿線の被害状況をも觀察しつゝ、田母澤御用邸に到り、上空より親書筒を投下し、『天皇、皇后兩陛下の御安否如何に、幸ひに御安泰に在しませば、御旗を振つて合圖されたし。』『攝政殿下御無事』との通信を落し、首尾克く使命を果したのであつた。

私は、一日の午後から同夕刻まで社團、宮内省と京橋瀧山町の本社東京朝日新聞との間を徒歩で往復した。電話はきかず、自動車も自轉車もないのだから、徒歩するより外に方法がない。そして社の幹部連中は、ユラ／＼と幾度か、ゆりかへす余震に脅かされながら、『攝政殿下の御安否』『宮城内の御被害』『その他大臣閣員への原稿を執筆した。その往復には二重橋前や、日比谷公園内の避難者の物凄い光景や、警視廳や帝劇附近の大建築物の延焼、日本橋、京橋、芝、神田方面各所に濛々として天に沖する火焔の黒煙を眺めるが如く立上る火炎の黒煙を眺めては全く生きた心地もしない。

やがて考へられるのは罹災民救濟の問題であつた。一刻も躊躇することが出來ない。先づ何よりも食糧を與へることだ。私は進度か宮内當局者とも懇談した。關屋宮内次官に對しても、

『この状態では、一刻も猶豫は出來ません、若し此のまゝ數日を經過したり、食糧缺乏のため、如何なる暴動が勃發せんとも限りませぬ少しも早く御賑恤を願ひたい』

と、閣員氏を急ぎ立てたのであつたが、如何に非常時とはいひつゝ、次官の一存では取計らふ譯に行かないのは當然である。かくて日光に供奉中の牧野宮内大臣が獨行的に自動車を飛ばして歸京するのを待たれたが、九月二日に至りて 天皇、皇后兩陛下の御聖旨を奉じて

御内帑　金一千萬圓也

を、罹災者救恤として御下賜の御沙汰があつたのは異心感激の外は無かつた。

宮殿には大なる御被害はなかつたけれども、宮内省の廳舍は古い煉瓦建であつて、この前（[illegible]）の震災に相當損害を負うてゐる上今また各所に亀裂を生じて危險甚だしいので、窓前庭の廣場に假の天幕をしつらへて緊急の事務を執ることになつたが、宮家にも御被害の御方が相當おありなので、矢張り直ちに天幕を張つて御避難を願ふことになり、賢所官、勅任官、それに奏任官以下何れも徹夜勤續で約二週間ばかりの間は、この廣びた庭の天幕内に起居あらせられたのは、何れも畏れ多い次第であつた。

◇

宮城前田町（北橋、新橋、附近）は、一日の午後六時頃には、南北から猛火に包圍される形勢となり日吉町の國民新聞、山下町の中央新聞も焼けてしまつた。翌日新聞の[illegible]も今夜は延焼は免れまい。自宅のある者は歸つて宜しいといふことであつたので、私は午後六時頃何ともいへない一種の悲壯な感じを抱きつゝ懷かしき本社を見捨てゝ東外神奈の自宅へ歸るべく途を丸の内に取つた。先づ帝國ホテル前から日比谷公園、二重橋前を通つて大手町内務省、大藏省等の大小官廳が延焼しつゝある最中、濠端に沿うて九段下に出で、九段坂上に登つて神田から日本橋京橋方面を展望すれば、見渡す限り火の海ではないか、さながら地獄の業火の如く物凄いとも何とも形容の言葉がない。（續く）

麻の着物を納ふ時の處置

麻の着物は次のやうな處置をして保存します。麻類は洗濯が手輕に出來て一寸の汚れ位は石鹸液の中で振り出し洗ひしただけでよいものですが、納ふ時には多少入念に洗濯する必要があります。先づ布百匁につき水三升、曹達一匁位の溶液に三十分乃至數時間浸して揉み洗ひをし、漂め汚水を除いて置きます、そこで固形の石鹸を布に擦りつけて揉み洗ひ、又は洗濯板を用ひて洗ひます、そして二三十分後泡立つ液で揉み洗ひをします細の子たわしを用ひると大へん早く落ちます。次に石鹸分のなく無るまで水洗ひをし最後に金ベルを布に包んで一合位の水にふり出したものを極少し加へます。背縫がつきすぎるとつけません、たゞ白地が何となく黄ばんだものや、ひどく汚れてみて普通の洗濯では汚れが除けない時には漂白します。即ち晒粉茶匙二杯を少しづゝ水で練り、約一升の水に溶きます。しかしなか／＼全部は溶けませんから澄みを瓶に入れてこします。之に石鹸を溶かしたものを加へて用ひます。これに布を浸すのですが、遅くも二三十分間の場合には十分間位を標準とします、なほ晒粉の代りに酸素を用ふればなほ早く漂白されます

秋季競馬の勝馬豫想
自熱の好競馬を豫想さる

來る六日から新設龍山競馬場で催される秋季競馬大會の勝馬豫想は次の通りである

▲新呼馬＝（一號）ツカサ（二號）ピンク（三號）セイセイ（四號）イチタマ（五號）イチタル（六號）スルスミ（七號）エイヅル（八號）ダイニフジ（九號）エイヅル ナミノハナ（十號）リツチネス（十一號）インテン（十二號）デル（十三號）ヒット（十四號）ライト（十五號）アラシ（十六號）ホウマン（十七號）スペツシヤル（十八號）オードミ（十九號）ワカヨク（二十號）ユンボ（二十一號）イノイチ（二十二號）コウエイ（二十三號）サンライト（二十四號）ユウリン（二十五號）シロウリ（二十六號）ハレノ

新呼馬競馬に於ては（[illegible]）スルスミ馬主京城大岡氏、（六號）エイヅル馬主京城高橋氏、（十五號）アラシ馬主京城前田氏、（十七號）スペツシヤル馬主京城李氏、（十八號）オードミ馬主大邱親交氏の六頭が勝馬候補とせられてゐるが、相當の番狂せがあつて興味ある競馬を見せることであらう

▲古呼馬＝（廿七號）ショウテン（廿八號）セントポール（廿九號）ウコン（卅號）トキワ（卅一號）ガロンド（卅二號）インタリヤ（卅三號）マノウ（卅四號）タカヤ（卅五號）タチスプレン（卅六號）イチヤ（卅七號）イザハ（卅八號）ホイツプ（卅九號）セントハーイン（四十號）タイ（四一號）コテ（四二號）フリーゴウ（四三號）ウミカゼ（四四號）テルタマ（四五號）ハ[illegible]モス（四六號）ケンタツ（四七號）一シン（四八號）アスト（四九號）チタハ（五〇號）キクヅル（五一號）コオシ（五二號）ホーネン（五三號）サキガケ（五四號）ツバメ（五五號）キクヒメ（五六號）トビカゼ（五七號）ナガト（五八號）ナンチン（五九號）ヤリシマ（六〇號）カ[illegible]ネーション（六一號）ワカバ（六二號）バシヒツク（六三號）トヨハル（六四號）コクスイ（六五號）タマツバヤ（六六號）マルヨ（六七號）ハヤブサ（六八號）シンカイ（六九號）ハルカワ（七〇號）モンロウ（七一號）コクリキ（七二號）フクスル（七三號）シマルト（七四號）シボレー（七五號）スイノト（七六號）ゴールドキング（七七號）ピクトリー（七八號）タカチホ（七九號）ヒリユウ（八〇號）ハイタ（八一號）メイザン（八二號）アラタマ（八三號）カツタマ（八四號）サザナミ（八五號）ガスラン（八六號）レニー（八七號）ジンブ（八八號）マキタモ（八九號）コネ（九〇號）センシヨウ（九一號）バンザイ（九二號）ユウ[illegible]

古呼馬は最も興味ある競走で今秋競馬の呼物であつて、自慢の好競馬が續出されて來に左の如く有馬豫想が擧げられてゐる

（卅四號）タカヤ馬主京城小畑氏（卅五號）タチスプレン馬主同上（四三號）ナルタマ馬主京城前田氏（四五號）トキワ馬主京城吉田氏、（六九號）ハルカワ馬主京城森氏、（七二號）シマル下馬主大邱前田氏（[illegible]）タカチホ馬主大邱森本氏

▲各種剩馬＝（百九號）タチバナ（百十號）マルト（百一〇號）トミカゼ（百二二號）ミズシマ（[illegible]）デトラアーク（一一四號）インテイ（一一五號）タポン（一一六號）カスガ（一一七號）カワナミ（一一八號）フジタミ（[illegible]）サカエ（一一九號）ホートク（一二一號）イキイオ（一二二號）ラグダネー（一二三號）カツミ（一二四號）レビイン（一二五號）フービ（一二七號）スプレン（一二六號）カ

（百八號）テンソウ馬主京城門井氏（百六號）ヤクモ馬主京城堅田氏（百七號）カノヤ馬主京城二上氏（百八號）馬主京城門井氏

闘産各種競馬は互格の好競馬となるであらうが最も優秀馬と目されてゐるのは左の四頭であらう

（百六號）ヤクモ（百七號）カノヤ（[illegible]）ヒテコシ

【寫眞説明】入城した日本棋院の剛將右から藤原四段小杉四段大島に京城の紀本四段

▲繋駕速歩＝（一三八號）サーナレ（一二九號）サーヨシ（一三〇號）ハヤナミ（一三一號）ジユウモンジ（一三二號）ケダカシ（一三三號）ナイト（一三四號）シンコイリイ（一三五號）フジ（一三六號）ムロト

讃岐氏（一一九號）タチバナ馬主京城大郎島田氏（一一〇號）マルト馬主ラアーク馬主李主職（一一六號）デトカスガ同上（一二〇號）カナメ馬主平壤森氏（一三〇號）ハヤナミ馬主京城森氏（一三一號）ジユウモンジ馬主大郎光木氏

▲繋駕速歩＝（一三八號）ロヒヨウテン（一三九號）ハンストンロテン（一四一號）ヤングタマン（一四二號）リヌウボウ（一四一號）

トロツチング速歩は六頭によつて行はれる優勝馬は（一三七號）リユウテン馬主京城小野氏花井氏（一三八號）ロヒヨウ馬主京城馬主大郎森本氏の四頭が勝馬豫想と目されてゐる

新婚の家庭
新井俊次氏夫妻

鑛物研究といふ純然たる化學の世界からそれとは余詮異なる新聞の世界に飛び込み新しい創作への道を開かれかけた新井君の今日の世界をつぎ小さいながらも一店の主になつた僕は今が内外のスタートなのです

若く朗かに語る人新井俊次氏は人も知る新井源房の新社長、龍山中學校を卒業し後にして京都帝大に學び同校卒業後は東大創化學教授のもとに二ヶ年の研究を積み、今度縁あつて京城第二高女出身、際衆家武田鷹代女史のもとに鐵業を修め藝能鐵道病院長佐々木四方志氏令孃村圖勢子孃と結婚整ひ、去る廿十四日、東京で輝々しい華燭の典をあげ今は歸城して新井家の當主に收まる人

『新婚生活――まだ二人とも學生氣分ですから、さしたる感想もありません、殊に父の遺産を守はねばなりませんしこの生活を味はふまでにいつてみませんなにしろまださつぱりわからぬのでよろしく……』（寫眞は京城における同氏夫妻）

映畫と演藝

ミナト座の芝居二ツ
今田生

昨晩のミナト座は映畫『獨身倶樂部』の外に新派物『お父さん』『二時間目』の二つの芝居をあげた。觀客は輻輳で一寸の隙もない。

◇

『お父さん』は新派劇であるといふ漁村につんぼの年老いたる漁夫がゐる、娘は父のこの不便な體やすゝ數年間同居したが十回で『その他は皆』を貸ふ、その月々不幸に死したのち娘は父の『職』にさらはれて私は『一言の一幕物であつた

◇

時間は一幕二場で二十分位でやがての三幕目は過に七分内外で終る

◇

舞臺は相當に凝つてみるつもりらしいが最初の田の眞間に頂が前になる處など、舟が出て行くのか、さつぱり不明であまりにも効果である、しかし、それ以後は別に非難すべき點がなかつた

◇

新劇家と銘うたれて居るが『悲劇』『二つの芝居に最後の父親の死體に娘の愛情だけで、それまでは極いきつく顔だけや、惜しまれる、從つて我々の觀劇の氣分を『悲劇』では決して味は出來ない

劇者は何れも熱心で、殊に鎮に掛けした舞臺は調子もよく、しつかりしてゐる、不幸にして劇師得を歸さない僕は寶映舎部は不可ではあるがそれでも大體は諒解すると作出來た

◇

狀口國土の『二時間目』は福岡東京の新聞記者が勝歌と光つて、しかも記者作品一人として雛型をあげることの出來なかつたくだらぬ内地記者をみるよりけるかにましである

◇

劇藝物の興行に望みを失つた僕もこれには一縷の望をもつた、瑞君等は興行界にみきりをつけてこの方に進んた方がはるかに賞讃がある

藝界夕ー話（8）

生田流師匠
太田與志

明治廿年頃は女で小學校に通ふのは出舍ではほんとに稀であつた。私を育んでくれた讃岐山際の青樹郡も私が藝者生徒の折は同級の女は私一人で男は廿人程居た、男と余派異科の異る裁縫、體操などは教師一人、生徒一人といふ今の人々が想像することの出來ぬ珍な事實である

×

岡山市の縣立女學校を終へた私は直ちに上京し琴の師匠についた十九の春、夫を持つたが長男を生み落すや翌年私が廿歳の折夫は帰らぬ旅の人になつた、以來その長男を成育するため赤十字社に身を投じ片手間に琴の師匠の看板を掲げた

×

十九年前、玄海を渡つて京城に來た、現在の土地を買入れ、一すぢに琴道に精進した、今でこそ府内に廿人からの生田流の師匠、三人の山田流師匠が居るがその當時は生田流は今の宮城道雄さん（當時中菅）村瀬俊子さんと私の三人で外に山田流では佐藤千賀子さんが居た、尺八は今は京都にあつて

無聲・壹（東亞作品）
近日東亞倶樂部

けふの問題

京城映畫研究會とやらの一岡、さきに府内各常設館、配給所宛におだやかならぬ通知を出して、映をに浴びの他のて今度は手をかへて割引料過を引提げてプレイガイドに當ることとなり、けふ八時から京城座に會を開く

×

由來割引料金には常設館が主でプレイガイドは從、主をあとに從がうとは頭の良いとされてゐる研究會のするとしてはチョイト解しかねる

×

それとも一閲をあびるがいやさ

◇四日から浪花館に打つ京山幸枝、あれは『ユキエ』でなくて『コウシ』だと彼が生れた時獨親『ドッシヨウ？』『コーしよう』―まさかれヤノとの再獎なる同映畫の觀中央館小田氏の額ぐらに移つてまもりかへし『ナニ〃チヨイトの間です息杯めに……』いけない

◇四日から浪花館に[illegible]
◇JODKの放送主任兼山、野坂兩大衞、資組係小野田の三氏一日夜はファンの讃同勧誘をかれて府内のカッフェ沽六軒、それが加入者のカッフェだけ、きいたのがスッカリ感心して『ライ画館に感心だ、その意氣の『その意氣のさへ、こたへたく』

内地撮影所から

何やらの『げくろ』と常設館、配給所に迫つた弁等よ、まづ御足許に御用心

◇今秋二季の超特作を廢止した日活ではこの費用を以て夫々大作數本づゝを製作し、大物主義で進むこととなつたが、今秋シーズンに投ずべき巨篇として、その一として目下着々準備中だが、その一として片岡千惠藏主演映畫を池田富保が製作することとなつた。千惠藏、池田監督の顏合せは昨秋の大作『修羅城』以來のことで一般から興味を以て迎へられてゐる

◇マキノの澤村國太郎主演、勝見庸太郎が新たになつた藤澤秀之助監督『伊勢育頭』はこの程漸く完成した

◇常キネ入社時代劇部監督として九中の第一回作品『水戸黃門漫遊記』は氏自身の原作脚色が愈々完成したので直ちに左のキャストの下に撮影開始した。森諸三郎結城稔枝と選り抜きの海老三郎結城稔枝と選り抜きの腕達者を揃へたその顏觸れは期待される諸々喜多氏の監督手法と共に異色ある作品を生み出さずには置かないだらう、カメラは花房京技師である

水戸黃門……（松本泰輔）猫俳之進……（市川海老三郎）佐々木助三郎……（結城重三郎）萬五郎……（丹波那之介）おりん……（松枝鶴子）その他

東亞クラブ
（三日から）▲洋劇『ペンハー』金十巻ラモン、ナバロ、ベティ・ブロンソン共演▲時代劇『三日月次郎吉』嵐寬壽郎片岡、市川、尾上共演

大正館
（三日から）▲時代劇『鉛』阪東壽之助主演▲現代劇『その夜の妻』岡田時彦、八雲惠美子主演▲プロレタリヤ映畫代劇『豫願』千早品子主演

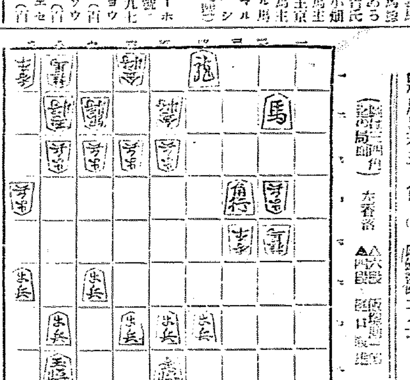
JODK プログラム
九月三日（水曜日）

午前十時〇分 氣象概況 各地天氣豫報
同十時四十五分 料理獻立（御川）なく
同十一時五十五分 日用品値段
正午 時報 ニュース
午後一時〇分 ラヂオ學校
修身（二）三根 謙一
同二時十五分 趣味講座（銃砲）
狩獵と學犬（二）朴 正 傳
同三時四十五分 ニュース 官廳公示事項
同六時三十分 内地語講座 本田 種竹
同七時〇分 ラヂ・體操 職業紹介事項 今晩のプログラム お話（東京）
同七時二十五分 ニュース 官廳公示 事項 明日のプログラム 趣味講座（大阪）
同六時〇分 お話（東京）象のお江戸よりテキスト九ページ）わきくさものがたり 金 井 鎮
同八時〇分 三曲合奏 月の曉 金岡 丈夫 京城三曲協會
尺八 田中 允山
同 村山 聰山
筝 三絃 村田 つるゑ 細淺 あや子
本曲一部合調 湖上の月
同八時三十分 琵琶（東京）本手 村山 聽山 彈手 田中 允山
同九時〇分 浪花節（東京）七騎落 高峰 筑風
同九時三十分 ニュース 時報 檜山 鹿賀の一齣 東 武藏
太田 金
同九時四十五分 氣象概況 各地天氣豫報 朝鮮語 朝鮮音樂 玄琴 趙 金 東 秉 善 （[illegible]） 徳 洋 瀬 淳

2日 公設市場 小賣値段

▲特等白米一キログラム二三五▲一等白米同二二五▲浪化米鋼鐵機械大一ヶ四九〇▲同大同三三〇▲同中同二八〇▲同小同二四〇▲同火々ミ九形鐵青相當大同一六〇▲アルミ同小同一三〇▲同調貨物入大同〇八〇▲同小同〇六〇

詰將棋新手合（六）

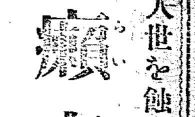


給東京市日本橋區駒形町二ノ十二 讀賣本社將棋部
（詰將棋局面） 左香落 ▲六段 阪田 三吉 （東京）
▲四段 福山 殿造 （東京）

▲（福山氏）▲[illegible]▲六九銀 ▲七九[illegible] ▲同 金 ▲五八銀 ▲同 金 △二三馬 △六八金 △六九[illegible] △六六馬 △五九銀 △七八金

（譜評本社段講評）（上手）四三步と打つて、敵の狂襲を受けるのは當然である（下手）三三馬は、次に四二馬と強襲する意味である（上手）六九銀と打つて、敵玉に肉迫するのは良い手である（上手）六四桂と打つて、詰み筋を狙ふのは自然が聲いだけに當然の攻めである

癩病の話
人世を蝕はみ誰にでも傳染す！
醫學博士 小久保惠作氏 （寄稿）



×　×

昨年、東京警察の三等警官某氏の賓中に大阪府（[illegible]）の患者が發見し、直に該患者を下宿が收容せしむると同時に私立の大消毒を行ひ我國當局者をして[illegible]度に縮小せしめた事は未だ記憶に新しい事件の一つである。

×　×

此の業病が遺傳でない事は生理學上に於ても、男子の精蟲及女子の卵子は他の病に物の存在する時は既にて受胎せざる所によつて證明されてみるにも拘らず我國に於ては又た遺傳と信ずるもの多く、從つて疾病を隱すために年々新患者が増加し今日に於ても尚世界第一の癩病國に數へられ誠に寒心に堪えぬ次第であります。（東京渡月館發）

×

潜伏期の癩患が大抵體內に侵入すると徐々に潜伏を續けて外部に症狀があらはれるのでこの間を潜伏期と云ひ一年乃至十年位に亘る事もある。

×

潜伏期中は何等病氣をしても顯はす病氣も出來ず、時に患者自身に氣の疲れなどに異狀を呈するに過ぎないものである為め個々、皮膚病、神經痛、と誤られ祈禱なとの手當てを施す間に潜伏期が過ぎて局進期に進むのである。前驅期に入ると局所的變化する速度は極めて速く僅か數日のうちに顏部面皮が膨脹し第に瘡面や丘疹が生じ其時には疾病範疇して愈々露出する樣になり徴候の疑ふ患者さへも見えるものであるから、早く醫人はこれを嫌忌しなければならない。

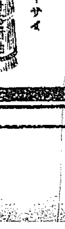
×　×

既に發病せる患者は勿論大體未定の初期兆候に心當りの人は余の知友、東京市下谷區龜田沢木氏（東京市下谷區龜町九ノ二ノ四號）に相當し治療者を公へば小包便で無代送呈さるゝ癩病初期の兆候

（一）眉毛が段々、薄けば脂が剝れ又は頭毛、鬚毛、睫毛、腋毛等が段々に脱落する。
（二）冬期になると顏、手足が血色が冴紫色になり、或は瘡傷、或は、水腫を生ずる事がある、手は紅に變化すると含め手足の末端が鰐の如く紫色になり手足が膨脹する。
（三）鼻孔内に腫物を生じ鼻の粘膜が鈍さ澤の如く粘り、面に時々血がかれる事がある。
（四）體の一部に小虫の這ふ如き感じのする事あり、苦はチクリ／＼と針を刺さるゝ如き痛みある事も瞬時にして消む。
（五）腋毛が逆生し抜き探るも亦生じ眼球を觸して痛く眼瞼もピクリ／＼と痙攣しウルミて涙が出る。
（六）手足に脂肪氣なく、皮膚に皺を生じて老人の如く爪は白く脆くなり指先の知覺が鈍くなる
（七）田虫状の斑紋を發生し、痒けば粉を剝す。
（八）體の一部に知覺を失ひまたは反對に此の部分に物が觸るれば非常に鋭敏を感ず。

油醤良優一第産鮮
ウラタカ醤油 景品付 秋季大賣出し

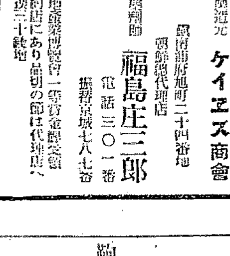
景品 特製甘露醤油大壜壹本御買上 最上印小瓶壹樽毎ニ一枚 但シ大樽壹樽ハ小瓶半樽ニ換算
九月一日ヨリ十月末日迄 醤醤販賣店ニテ御請求ドサイ



壽樂館 一等席 入場券一枚 又は高級調味料 味の味 壹瓶進呈 （以上京城）
瓢館 階上席 入場券一枚進呈 （以上仁川）

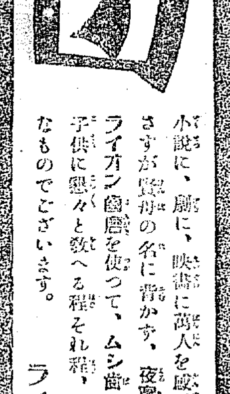
ビン詰圖下賣出中
壹升瓶壹本御買上に（各館共特別興行の場合も有效）

京城府永樂町二丁目
入院隨意 酒井婦人病院
電話本局二〇八一番・二〇二番
酒井一郎

◎惡疫豫防と煙草の節約
醫學博士 糸川 欽也 田中 吾左衛門 兩氏推奨
【新案特許】 口鼻兩用
健康パイプ

定價一組一圓
東京市銀座西二丁目
製造元 ケイエス商會
京城府旭町二丁目二十四番地
朝鮮總代理店
販賣元 福島庄三郎
電話三〇一番 振替京城七八七番
各地藥種商、煙草店、一流デパートメント等に販賣す　無料代金引換二十錢増

本店 京城府南大門通一丁目十四番地
電話光化門七六〇番 二〇五番
株式會社 漢城銀行
取締役頭取 白 完 爀
專務取締役 堤 永 市
支店 南大門、東大門、西大門、本町、水原、大田、大邱、釜山、開城、平壤、平壤大和町

鞄と文化夜具入
旅行具は是非 高木へ
鞄各種及文化夜具入製造
京城本町一丁目三六
高木鞄店
同 一丁目一八
高木支店



小說に、劇に、映畫に萬人を感動させるヒロインは、さすがに醫術の名に背かず、夜寢る前にも品質優秀なライオン歯磨を使つて、ムシ歯を豫防する事を、その子供に懇々と敎へる程それ程、育兒に就ても用意周到なものでございます。
ライオン歯磨本舗

本年上半期に於ける 朝鮮財界の位置（三）

殖銀調査課長　守屋徳夫氏（寄）

内地の交換高に就ては目下五月までの數字しか分明していないから、過誤ながらこれを以て比較するより外は無いが、本年五月迄の集計において東京および全國の交換高は夫々次の通りである。

東京	[illegible]
全國	[illegible]

しかしこれを不渡手形の金額に就てみると反對に朝鮮は内地に比して一層憂慮すべき状態にあるといひ得る。即ち三ヶ年上半期における京城並に全鮮の不渡手形金額枚數は次の通りである。

京城	圓	枚
昭和三年上	[illegible]	[illegible]
同　四年	[illegible]	[illegible]
同　五年	[illegible]	[illegible]
全鮮 昭和三年上	[illegible]	[illegible]
同　四年	[illegible]	[illegible]
同　五年	[illegible]	[illegible]

前年同期に比較すると東京は六十二億五千一百萬圓減金額において百十三億六千九百萬圓減であり、割合にして東京二割八分三厘全國において三割三分一厘といふ激減である。

これによると我朝鮮においては不渡手形金額枚數は逐年增加の傾向にあることが看取せらるゝ。しかして發育時代にある朝鮮としては金融界事業界の發展につれてかゝる不祥事の增加して來ることも又避け難い現象であらうけれどもその割合が内地に比して甚しく高いことが注意を要すると思ふ。

内地に就て見るに昨年上（六月末迄即ち五月まで累計）半期と今年の同期とには次の如き差異がある。

	四年上半期	五年上半期
東京	[illegible]	[illegible]
全國	[illegible]	[illegible]

この增加率は東京手形交換所において一割五分、全國交換の集計においては僅に三分七厘にしか當つてゐない、然るに朝鮮においては前掲數字によつて見當つけらるる如く、京城手形交換所においては四割六分四厘、全鮮集計においては一割二分六厘といふ高率にあるのである。

これを要するに朝鮮においては交換高の減少は内地に比して未だそう甚だしくないのに不渡手形が激增してゐるといふことになる。資力の充實しない未だ成熟しきらない經濟界にあつては、本統の不景氣風が襲來しない前に早くも微風に吹き倒されるものが多いといふことになる。それが今の朝鮮の姿である。

京城 手形交換激減

八月中における京城手形交換高は枚數八萬六千九百六十二枚金額三千八百五十一萬四百三十四圓で前月に比して枚數一萬一千三百六十二枚金額九百八十五萬五千圓の激減である。その内譯左の如し（單位千圓）

	枚數	金額
小切手	[illegible]	[illegible]
送金爲替手形	[illegible]	[illegible]
約束及爲替手形	[illegible]	[illegible]
政府預金小切手	[illegible]	[illegible]
郵便爲替證書	[illegible]	[illegible]
公債々券利札	[illegible]	[illegible]
雜	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

京城 不渡手形減少

八月中の京城不渡手形は七十二枚この金額一萬七千八百四十六圓で前月に比すれば枚數において十九枚金額において四千三百十五圓の何れも減少である

京城組銀 預金增貸出減 八月末現在

京城手形交換所調査、京城組合銀行八月末現在預貸狀況は預金七千九百六十一萬三千四圓、貸出七千八百六十三萬八千圓で、八月十五日現在に比し預金は三十二萬五千圓增加し貸出は三十九萬七千圓の減少である。前年同期に比すれば預金は八百七十八萬五千圓を減じ貸出は四百九十一萬三千圓を減少を示してゐる八月末現在内譯左の如し（單位千圓）

預金	八月末	同十五日對比
定期	[illegible]	[illegible]
當座	[illegible]	[illegible]
特別當座	[illegible]	[illegible]
通知	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

貸出	八月末	同十五日對比
證書	[illegible]	[illegible]
手形	[illegible]	[illegible]
當座	[illegible]	[illegible]
割引	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

手許有高		
有價證券	[illegible]	[illegible]
預ケ金高	[illegible]	[illegible]
金銀有高	[illegible]	[illegible]

備考 殖銀本店分共、鮮銀代理店 [illegible]
東拓京城支店金融部貸付金 [illegible]

秋繭の掛目協定 成行注目さる

全鮮各道の秋繭掛目は一日本府に行れた打合せでは、意見一致に至らなかつた模樣であるが、從つて今後どうなるかは成行注目されてゐる、咸北に於ては昨今出廻る分に對して十二排半の假拂が行はれてゐると傳へられてゐるが北鮮の繭は品質の點においても數量の點においても全鮮の規準となる資質をもつたものではないにしても十三排半で引取られてゐるとすれば今後の出廻りを見るべき南鮮方面の繭を牽制する上において相當有力な參考材料となるものと見る向もある。しかして前年度の繭値段を見るに最も低かつた全南において四百八十圓を示してゐたが右は秋繭出廻り期に入つて糸價が千四百圓の高値を呼ぶに至つた爲め道當局の氣持ちでは多少先行きを織りこんだつもりであるらしい、從つて本年は昨年よりも値を下げんとする態度に出るは想像に難からぬことであるが、一方製糸業者は出來る限り高値に引取るべく努力はするが何分昨年から引續き本年春繭まで連續的の打撃で極度の窮困こそあれ殆んど全部の工場が大なり小なりの傷手を受けてゐる今日、製品の販賣の減退、乾繭場使用料等をなるべく手心してほしいとの希望を申出でゝゐる。かくて繭價は引下げらるゝ公算が幾分出來る譯であるが假に四百五十圓まで引下げたとしても糸價の生糸相場は九月一日の前場止で當限が七百四十三圓、先物が七百六十圓であつたから十七掛一分となる譯である、これで道當局が納まるかどうかは頗る疑問であると同時に、より以上に掛目を引上げることゝなれば製糸業は又々非常な窮狀を續けなくてはならぬことゝなり、何れにしても秋繭の掛目協定は前途に相當の難關を豫想されてゐる各道當局は何れも二十掛以上を狙つてゐるらしく京畿道では三日製糸業者と協議することゝなつてゐるが、その他の道においても九月五日までに内定し、同日發表する豫定で當局の方針は頗る注目されてゐる

一月以降の合同で銀行減少 五十五行

【東京電話】大藏省調査、一月以降合同によつて減少した銀行は普通銀行五十三行、貯蓄銀行二行である

新米への米價對策 米價維持困難

【東京電話】農林省から發表された第一回米作豫想は全國的に作柄「稍良」の結果を示し、農林技術者の推定は平年作に比し一割の增收を豫想された、そして二百十日の厄日も無事平穩に濟みこの儘推移すれば六千三百萬石程度の收穫を豫想されてゐるのみならず、鮮米臺灣米も昨年に比し增收確實なので、新米出廻り期は米價大暴落を來たすことが明かとなつて來た、これがため町田農相も出來秋に米價暴落の場合は米穀法を活用して買上げを行ふ旨言明してゐるが政府の米穀需給調節に對する特別會計の現狀を見るに現在融通資金の殘額は約七千萬圓程度で、政府が出來秋に買上げを行ふとしても精々百五十萬石程度のものである、從つて豐作に對する米價維持は不可能で、今後の米穀政策は全く行き詰りの狀態にあり、町田農相は新米出廻り期に於ける米價對策に就て頗る苦慮してゐる模樣である

自動車は企業が有利 事業は苦しい

鮮內の自動車輸送業は近年發達の傾向を示し、朝鮮鐵道の如き貨物自動車の輸送距離二百四十里、旅客自動車は七百六十里合計千里にも達してゐるが、その他の營業線を合ずれば最少限度に見積つても二千里は下るまいとみられてゐる。しかし業者は自動車營業網の延長する割合に向上せず、寧ろ延長による營業者の競爭から惡化の傾向をさへ現はれて來た、殊に貨物自動車の業績に至つては運送業を兼業してゐる向きを除けば、殆んど採算不引合の窮狀に陷つてゐる、例へば朝鐵の如き運轉車輛十一臺を持つてゐるが、運賃收入の狀態である、かく鮮內の貨物自動車輸送業が不引合の狀態を示しつゝある原因は左くだとみられる

一、近距離輸送は牛馬車の利用が便なること

一、遠距離も、運賃の低廉な牛馬車に奪はれること

一、自動車輸送を必要とする貨物のまだ少いこと

貨物の便利なところから採算が漸く維持出來るといふに過ぎない、從つて鮮內の自動車業は輸送業を兼營するに非ざれば、經營は困難しなくてはならないといふ狀態にあるが、この狀態を如何にして切り抜けるかの問題で當業者は目下苦慮してゐる

下半期の製粉對輸出好轉

【東京電話】製粉の上半期輸出は前年同期に比較すると四割以上の大激減を示してゐるが、國內の落着きと製品價格の低落で、北支那、南洋及海峽殖民地等への輸出が七月頃から激增した、從つて最初の下半期注文豫想は二百萬袋に達すべく豫想されてゐるなほ六、七、八の三ヶ月で約百五萬袋を輸出したと

內地粉進出し 朝鮮製粉苦境 運賃引下を要望

鮮內に消費される製粉は年額二百三十萬ピクルに達するが、この內鮮內工場（日清製粉、滿洲製粉鎭南浦工場）の生產能力は製粉が百五十バーレル（二十六萬ピクル）合計約百萬ピクルで、これ等工場が全能力を發揮した時においてすら全需要の半數に達しない狀態である、然るに最近內地粉の朝鮮進出目ざましきものがあり、漸次鮮內粉の地盤が蠶食せられ、鮮內工場としては頗る苦境に立つに至つた、現に鮮粉の如き二割方の生產制限の操短を斷行して辛ふじて經營をつゞけてゐる狀態である。この原因としては內地粉が運賃の處分を鮮內方面へ求める結果でもあるが、鮮內工場は（滿粉は別として）開港地になく、製品の多くは鐵道輸送によらねばならぬ事情があり、その結果、鮮運賃の低下による內地粉の進出に勞ひ、かくて開港地方面から地盤を切り崩されてゐる、鮮內製粉工場としては何等か打開策を講ずべき必要にせまられて來たが、結局鐵道運賃の引下げによる外なく鐵道と種々研究の歩をすゝめてゐる、なほ製粉の鐵道運賃は現在四百キロ以上は四割引、百キロ以下は四割引、四百キロ以上二割引、車扱に四割引、中間輸送はなく、小口扱ひにしても五百キロ以下の輸送が多いため、割引は余り効果が少ない模樣である、かくて神工場では近く鮮商品運輸の意味からも鐵道運賃の引下げを當局に要望することゝなつてゐる

京城白米引下

京城精米組合では二日から白米卸賣値を左の如く各等とも五十錢宛引下げることに決定（單位百キロ）

特等四十二圓九十錢
一等四十二圓五十錢

京取社長問題 四日の重役會で決める

京取では四日同所樓上において重役會を開き後任社長の人選につき最後的の協議を行ひ、いよ／＼社長の決定を見る筈であるか、この重役に於て正に釘本氏には最後の交渉を行ふことになつてゐる、しかし釘本氏の受諾は絶對に望み難き形勢で、結局小杉氏に落ち着く模樣である

秋繭市況

內地

市名	高値	買觸	掛目	出廻
遠州二俣	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同　濱松	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
伊豆大仁	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
美濃大垣	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
甲州長坂	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
信州望月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
武州本庄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
上州前橋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
野州小山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
常陸土浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同　小川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
磐城三春	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
陸奥福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

（白繭）

朝鮮

	種類	高段	低段	取引數
八月廿九日 咸北吉州	白	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月卅一日 同	同	[illegible]	[illegible]	[illegible]

滿洲特產作柄 綜合して豐作

【奉天電話】南、北滿洲を通じ農務局ら八月廿四日現在における農作物の概況は大體平年作以上にして目下登熟期にあり今後の天候と冷涼は收穫上に多大の影響はあるが先づ豐作と見られこれを各地別に見れば左の如し

奉天地方大體增收見越、鐵嶺地方水害で平年作以下、開原地方平年作內外か、四平街地方平年作以上を豫想、公主嶺地方平年作內外豫想、大石橋地方大體增收見越、長春地方平年作一、二割增收、瓦房店地方豐作で平年作以上、熊岳城地方、平年作の一割增收

松原理事重任

鮮銀松原理事は九月一日を以て任期滿了となるが八月十五日の總會で重任に決してゐたので九月二日附を以て左の通り任命された

松原純一
株式會社朝鮮銀行理事を命ず

八月局鐵荷動

八月中における鐵道局線內貨物輸送總量は三十二萬五千四百三十一噸で、前年同期に比し一萬三千餘噸の減少をみた、前月中降雨水害等の後を承け幾分出廻り好況であつたが、一般不況は愈々深刻でかくの如く減少をみたものであると

海外經濟電報

倫敦銀塊	一六片一六分一
米棉	休
印棉	休
スチール株	休
アナゴンダ株	休
日米爲替	米國市場勞働祭につき休會
英米爲替	
紐育銀塊	

鮮銀帳尻（一日）

發行高	[illegible]	[illegible]
正貨準備	[illegible]	[illegible]
保證準備	[illegible]	[illegible]

對外爲替鮮銀建値（二日）

英	二志〇片十六分五
米	四十九弗八分三
支	百二十四兩八分七

取引停止

通義洞六二文啓龍▲中學洞八八合昌商會洪思錫▲明治町二ノ五二木商會岡本勉一

穗落

▲木村雄次氏が來るそうだ▲九日の不二興業總會に出席といふ觸れ込みだが▲殖銀に關係浅からぬだけにいろ／＼の揣摩臆測が行はれる▲何といつても殖銀の幹部の高久理事の任期滿了は財界注視の的だ▲ことに銀行でも會社でも仕事はひまだし、人の噂にはもつてこいの時季▲噂は噂を生んで實にすさまじい勢▲東拓の渡邊理事がいよ／＼乘り込んで來るとになつた▲頗る頭腦明晰の男だとの前觸れがあつた▲だが前例によると最初あまりはめておくと大ていの頭によつて疑心することになつてゐるから口でくさして心でほめてといつたところが眼目かも知れぬ

株式

叩かれた反動で 諸株一齊昂騰 氣迷ひ深甚で戻は賣る

前場 三日後場雜株先驅に一齊崩れし塲先、今朝は昨日相當叩かれた塲句とてやゝ反動を起し阪地が剛調を呈したゝめ當限の人氣も強く大新三十九圓二十錢寄付き四十一圓三十錢と昂騰に引した、併し目先に氣迷ひ材料が横はつてゐることゝて氣乘らず東新寄不申乍ら九圓四十錢に大引した、即ち昨後場の止値に比し京取十錢安乍ら大新二圓三十錢高東新三圓高であつた

後場 前場强硬の機先、後場は阪地の益々强硬に大新四十一圓十錢東新八十九圓七十錢と寄付きアトこの邊を保合つて東新、大新とも寄付同事に大引した

九月相場も大變動はない

八月の清算市場は各市場共相當の波瀾を示した、即ち株式不勢を續けてゐたし米穀は大崩落を示し綿絲生糸も比較的安値を辿つてゐた而してこれ等波瀾は何れかと言へば惡氣流の見據によるもので物と品により差違はあるが反し買人氣の渡路である、しかし倒方の利潤は次第に低下し極端なる弱氣でも大利を占めたものは米を除けば甚だ乏しい樣である買方は元より損をすると見られ易い月であつたが仕手の保具合は必ずしもこれに一致しなかつたと見られる然らば九月の相場は如何と言ふに目下財界の特異な傾向は金利が漸く踏襲したことでこれから見れば株式は更に安く公債は一層の低下を徵定し得るのであるが既に金利高は見越してゐるから改めて崩壞するとは見られぬ、尤も高金利が事業家や銀行を危險の域に誘ふならば別な意味の株安はあるかも知れぬが單純な金利高からの相場は見越せぬ要するに九月は金利と物價安から相場を絞り出すのであらうが主として觀側的なものであらう、新東株の如きは政界財界に特殊な大材料がなければやはり八圓と同じことであらうが需要株の低下に新東株を動かす力なく從つて安定も望めぬ變り大崩落もあるまいと觀測されてゐる

大新代引增加

今朝の代引尻を見るに朝新自桀十枚受で百二十枚となり東新は七十枚渡しの五十枚受で六百三十枚を示してゐる大新は德泰白桀の各二十枚渡しに受は新田の二十枚があつたのみで結局二十枚に增加してゐた

商內活氣づく

今朝は昨日の下げ反動で、東新初め諸株一齊に反動高を示したので、いよ／＼相場地合に妙味が出て來たため仕手は双方とも出動の機が與へられ、東新の如き氣直りと見る買物も現はれ、德泰二百賣りの松山田中道の百五十買ひが目立つてゐた、即ち今朝の出來高は東新四一〇大新一五〇京取二〇合計六百八十枚でうち三十枚以上の手口は左の如くであつた

京取　小口
大新　賣方德泰七〇▲買方大林三〇德泰六〇田中道二〇
東新　賣方德泰二〇〇新田六〇▲

現株屋ヲ朝鮮ニ古キ歷史ヲ有シ確實・親切・敏速ノ定評アル
ベニマゴ現株店
本店 釜山府本町二ノ七 長電話一九番
出張所 京城明治町 長電話本局 [illegible]

つよきよわき

株式 昨日ドカツと落ちた相場が今朝はチリ／＼引返して大新は四十圓臺に、東新は九圓臺に跳上げた

▲全く秋空の浮き雲のやうな動きかただが、どうやら長い間の低迷狀態からは脫けてきたやうだ

▲今朝の上げだつて反動高だといつてしまへばそれまでだが何となく底堅いところもみゐる

▲大新の四十圓、東新の八十八、九圓といふところは何といつても大底のやうな氣がする、といつて一氣に上げることは環境が許さない

▲結局この邊の保合は續くのじやなからうか、たゞ從來に比し動きが大きくなつて來たことは仕手にとつては興味がのつて來る

▲そんな意味で大きな一發動でも出ないとも限らぬとにかく秋に入つては活動力がすべてに强くなつて來るのだ、これから先が面白い

期米 この好調を以てしては相場も一寸直れそうにない

▲開けば買方中サジを投げて賣りに赤自棒へする向が多いらしい

▲然しそうなると相手は皮肉にもの相場として必ずしも未だ思い相場と決めてかゝるわけに行かない

▲殊に八月に大暴落を演じた年は九月に入つて中間反しと言ふ奴が必ずあるのでそれに引かゝらぬやう賣方も注意すべきであらう

▲何にしてもこれまでは天候も無難であつたが今後はイヤ早稻へとかそら秋日和が續いたとか買方の言ひ草も相當起つて來るから賣方も今日までの如く順風に帆をあげて走つた調子に行けるかは疑問である

本玉 二日前場までにおける百枚以上の建玉は左の如し

京取 賣方德泰二二〇洪般一九〇▲買方松山二九〇新田一六〇山口一〇〇

大新 賣方德泰五二〇洪般一七〇立山一三〇松山一〇〇▲買方松山二七〇正崎二三〇立山一八〇新田一五〇田中道一〇〇山口一〇〇

東新 賣方德泰九〇〇立山四〇〇白桀二五〇新田一九〇大林一〇〇洪般一〇〇▲買方田中道一、五四〇正崎三五〇松山二四〇新田一〇〇

揉合つた後 引際崩る

前場 一日後場やゝ引戻せし機先、今朝は阪地の小綴りに當不申中二十圓三十二錢先一八圓六十九錢と前日の止値より二錢高に寄付きしも目先に二百二十圓賣等を控へてゐるだけ高値は續かず二節六十二錢三節六十錢と叩かれ下又も六十九錢に跳返りたが氣力乏しく結局五十八錢に落ちて大引した

後場 前場引崩れた機先、後場は先物十八圓七十七錢と前止り稍小緊く寄付いたが、アトズヽ伸び惱み一節六十九錢二節 [illegible]

思慮筋買狙ふ

この好調を以てしては撫論買ひから出る手掛りとしては何一つとしてないが何分此まゝ秋落相場を出現するには未だ作柄も確定しない今日から見て時期尚早と云ふより外ない、從つて今後天候に少しでも物言ひがつくと未だ直るべき可能性があると云ふ見地から思慮ある手口はこの先限に對し買踏留する向が多いのと同時に從來の値頃買ひが殘留して來て賣り賣りに幾つて來た事等から寧ろ皮肉的に買進む者さへ現はれるといふ調子で玄人間ではこの邊一、二圓切り引返した後でないと本當の秋落相場は出現すまいとみてゐる向が多いやうであつた

京城へ籾搬入

籾貨期に入り籾の在庫拂底と共に最近南鮮方面より京城へ鮮白原料籾の搬入が盛んに行はれてゐるが右は前年まで京城鮮白原料の產地であつた、京畿道郊龍に黃海、江原兩道が一年續きの不作であつたゝめ同地方が例年より早く籾の品拂れを來し殆んど杜絕せし關係から一昨年末豐作續きの南鮮に全南北方面より搬入されるに至つたもので斯くの如き現象は今回が初めてゞある、兩地方としては從來の各精米所で約十萬石見當も有利の模樣である、目下の買付數量は京城讀出、讀威、海東方面にて買付相場は上籾一斤七錢

各地天氣（二日午前）

東京	晴天	木浦	曇天
大阪	晴天	群山	曇天
神戶	晴天	雄基	曇天
下關	晴天	城津	晴天
福岡	晴天	元山	晴天
新義州	晴天	大邱	曇天
仁川	晴天	釜山	曇天
京城	晴天		

人相場は九圓九十錢と高値より三十錢方反落してゐる、これと同時に市中は政府拂下米、及南鮮米の出廻を受け、一般の期待を裏切り居るため、在庫激增し、二川、神宮、土居、福島、三菱の當付米移入等のため市場益々惡化し本朝寄りは九圓五十錢減にて嫌氣投物漸々現れ氣配は鈍重であるが手持品は何れも十圓乃至九圓七十錢八十錢の高値買付品多きため百斤當り三十錢乃至五十錢の損であると

釜山 頭上の良好に人氣各地小堅さも駒く依然市場手持筋の商況漸次に氣配早くも下逆ひこの送値頃にて弗々粉米販賣筋の買進みあり結局二十錢安となり規北當良二十四圓十錢評力二十二圓七十錢良二十三圓七十錢評力二十三圓三十錢見當を唱へ一千百六十一叺の取引があつた

大邱 各地手堅さも殘氣に出廻り早き說に人氣挫く手持筋弗々困腰に氣配出し下逆ひ買手警戒し必要品の外買はず結局二十錢安の評良二十四圓七十錢評力二十二圓四十錢見當を唱へた

群山 各地の底堅きに弗々買氣をそゝり精米筋月初め買付思ひに進み氣配前値同樣より十錢方引戻し人氣落付きを見たが大手は未だ見放されて丸セ三等二十六圓十錢四等二十五圓五十錢見當を唱へた

木浦 降雨の跡を受けて本朝は產地よりの出廻りなく定期延の凡樁を眺めて市中は弗々乍ら小口の賣物あるも買氣なく相場も三十錢安の丸セ石拔三等二十五圓七十錢四等二十四圓九十錢見當であつた

堂島前場情報（大阪電話）

青村と地場收部は藍先から七節まで四千五百石を賣り之に對して朝鮮筋と西筋は廣島から四千三百石買ひ外にトロ一九は上海から二千五百石値本筋は岡米から弗々と買ふ、なほ順氣良好に拘らず割合腕かり保合つてゐるのは今朝鴻氣甚だしきため人氣硬化し東京高に朝鮮筋、北國筋、東北筋の買玉が這はされたゝめでる

大阪期米前場手振

賣方　滿先、大和　▲買方　高瀨、上福、岡米

仁川期米本玉表

當限賣方　丸イ二〇〇丸ツ三〇〇丸六〇〇丸主一〇〇
同　買方　丸福七〇〇丸大四〇〇丸マ一〇〇
中限賣方　丸ツ八〇〇丸九、六〇〇金メ六、八〇〇
同　買方　丸イ二、一〇〇丸福八〇〇丸ス三、六〇〇丸大四〇〇丸主三、四〇〇丸マ二、九〇〇
先限賣方　丸福一〇〇丸四、九〇〇丸大一、二〇〇金メ二、一〇〇
同　買方　丸イ一、〇〇〇丸ウ二〇〇丸ス二、五〇〇丸主一、二〇〇丸マ一、七〇〇

仁川穀物出入（二日）

	到着	輸移出品
白米（叺）	ナシ	[illegible]
同一斗入（袋）	ナシ	[illegible]
玄米（叺）	ナシ	[illegible]
大豆（叺）	ナシ	ナシ

大阪市中在米高

二日現在は百四十七萬五千七百二十俵と前月在米高に比較して九千八百四十二俵の減少である

木浦延べ（卅一日）

	前寄	前止	後寄	後止
九月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

滿洲經濟電報

	前寄	前引
安東株（單位錢）當限	[illegible]	八〇〇
先限	[illegible]	八一〇
滿洲株 當限	不申	
先限	[illegible]	
鈔票銀現物	八〇八	
綿糸現物	[illegible]	
安東大豆現物	[illegible]	
安東出來高	[illegible]	

正米

仁川 丸キ角チ丸チ石拔三等二十二圓四十錢二十三圓四十錢丸コ不拔四等二十二圓七十錢丸ツ上物七錢二厘在來精七錢一等白米丸仁印二十九圓七十錢精米組合一等白米丸仁印二十八圓十錢を唱へ定期の暴落に何れも三、四十錢安で買方は一切見送りである

大豆 龍山七十二圓四十錢長端十二圓六十錢大安十一圓四十錢海州十一圓九十錢を唱へこの邊保合ひである

期米の慘落で 蓬萊米も崩る

蓬萊米は內地定期米の慘落で前月來漸落步調を辿り本朝は產地よりの情報に依れば仁川保險料込値積百斤九圓七十五錢見當で京城着六圓見當である、探算は白米一石を精製するに約三百四十斤を要するため石料代二十五圓八十四錢に精米賃石當り七十錢と見てこれを合算すれば一石二十六圓五十錢となり目下の相場二十七圓見當に比し一石平均四、五十錢の利益で探算有利に今後も尙相當搬入される模樣である

資本金貳百万円
朝鮮信託
預金は信託
仁川

株式（二日）

京取短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京取短期市場

	限月	前場	後場	代引
取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京仁同大安東鐘出來高

	當日	後引	前寄	前引
安	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]	八、一〇〇

大株長期

銘柄	前寄	前引	後寄	後引
大新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日産 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日産 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日券 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日券 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京仁東鐘大安 出來高

	賣方	買方
取	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]
取	[illegible]	[illegible]

	出來高	
短期 當日	[illegible] 枚	累計 [illegible] 枚
長期	[illegible] 枚	累計 [illegible] 枚
當日	[illegible] 枚	累計 [illegible] 枚

東京現株

銘柄	前	後
株	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]
銀	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]
取	[illegible]	[illegible]
満鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]
鐘毛	[illegible]	[illegible]

東京鮮銀期間鮮銀連

期米（二日）

仁川

前場	當限	中限	先限
(一)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(六)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(七)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(八)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(九)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(十)	[illegible]	[illegible]	[illegible]

後場	當限	中限	先限
(一)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(六)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(七)	[illegible]	[illegible]	[illegible]

	當限	中限	先限
根人値段	[illegible]	[illegible]	[illegible]
値組高（石）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	[illegible]	累計 [illegible]	[illegible]

東京

	前場	後場
當寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
中寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
(一)	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]
(六)	[illegible]	[illegible]
(七)	[illegible]	[illegible]
(八)	[illegible]	[illegible]

大阪

	前場	後場
當寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
中寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
(一)	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]
(六)	[illegible]	[illegible]
(七)	[illegible]	[illegible]
(八)	[illegible]	[illegible]
(九)	[illegible]	[illegible]
(十)	[illegible]	[illegible]

引アト 三十九錢

	前場	後場
◇兵庫 先限 寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
◇下關 先限 寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
◇桑名 先限 寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

鮮內延べ

	前寄	前止	後寄	後止
◇釜山 九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇大邱 九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇群山 九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

市況（二日）

大阪期米咄合

	賣方	買方	取組高
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇大阪綿花

	寄付	止め
前場 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
後場 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

大阪市中外商品

ストリクト・ミドリング	八●九 月限	[illegible]
ブローチ	同	[illegible]
ベンーゴル	同	[illegible]

◇大阪揚絲

	寄付	前場 同引	寄付	後場 同引
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇横濱生絲

	寄付	止め
前場 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
後場 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

◇現物最優等 [illegible]

◇鐵平銀

	前日	本日
後寄	[illegible]	[illegible]
大引	[illegible]	[illegible]
當限 休會	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖現物

	寄付	大引
前場 當限	[illegible]	[illegible]
後場 先限	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖 [illegible]

日糖（ST）現物	十九圓九十錢
常賀中値	[illegible]

市中米標準値

九キ九三等新米	二十五圓五〇
白米卸値（百斤）	二十三圓〇〇
仁川一等白米	二十九圓一〇

京城手形交換高（二日）	枚數	[illegible] 枚
	金額	[illegible]

風流奴茶屋（200）

稻岡奴之助　荒川芳三郎畫

火を放つて

左右互を勵まして、丑兵衛と左門の呼びかける聲が耳に入つたのか、死んだやうになつてゐたお百は細い眼を開いた。

『お百、しつかりせい、丑兵衛であるぞ』

『左門でおじやるぞ』

丑兵衛は血だらけのお百の身體を靜かに抱き起した。

『氣をたしかにせい、丑兵衛が分るか、手傷は淺いぞ』

『お百どの、お百どの、左門でおじやるぞ』

二人は交互のそばで呼び立てた

『あツ、い、タタタ、丑、丑兵衛さま』

お百はやつと正氣に戻つたらしく苦痛の眼をあげて初めて聲を出した。

『おう氣がついたか、丑兵衛であるぞ、傷は淺い氣を確かに持て』

『お百どの、何んとせられた？』

『苦痛であらうが、ことの仔細を語れ何として此山サ出てきた』

たづねられて氣丈なお百は苦しい息の下から自分が痛ちした結果ないで、身支度さへもそこ／＼に要の留いて止めるのも聞き入れず一人で丑兵衛の住居を驅け出し、地の理さへ不案內の、逢坂山の裏山へと、病後の息も切れ／＼にわけ入つたのであつた。

目指す荒熊の岩窟も近づいた時折柄山廻りの荒熊手下の賊共に見とがめられ、二三問答の末が互の爭鬪となり、強いやうでも病後のお百、相手に殘らず手は負はしたが、自分もさん／＼深傷を受けてくやしくも人事不省に陷つてしまつたのであつた。

これだけ語るにもお百はもう虫の息であつた。

『水、ミヽ水を、水を下さい…』

お百は斷末魔の苦痛に堪へかねて水を呼んだ。瀕傷者に水を飮ませればそのまゝに成つてしまふといふ、もとより丑兵衛も知らぬではなかつたが、所詮助かるべき見込みもなかつたので、丑兵衛はソレと左門に目配せした。左門が心得て水を持つてくると、お百はそれを一口のんでそのまゝガックリ、首を垂れてしまつた。

『吽無常』折しも春の山は谷から次第に暗くなつて來て、夕暮の色がヒタ／＼と迫つてくるのであつた。

丑兵衛は眼に涙をためて嘆息した。

『ふびんな事を致いた……』

『この上は是非ない、お百の死骸はこの山サ葬つて、しるしの石でも立てゝ置かう……こやつが此處で斯うなるのも、同じ山賊同士の荒熊之助と切つても切れぬ何かの因縁であらう……』

『むゝ、いかにもふびんなことでおじやる』

左門も一滴の涙を注いだ。

やがて丑兵衛は山賊共に命じてお百の死骸と荒熊之助との死骸をとある岩と岩との間にうづめさせ石碑にかへた一個の石を立てゝしるしにした。

そんなことをしてゐる中に山は全く暮れてしまうた。

『さあ事が終つたら、お主等その金を分配してこの山サ立ち去れ、但しこの岩窟の建物をこのまゝに置いては、次惡者共が來て棲居にしてはならぬ、立去る時火をかけて焼いてしまへ』

ときびしくいひ渡した。

左門に丑兵衛、續いて五十余人の山賊共が背後の春の山路を松火の明りでてらしながら里の方へとおりていつたのは、それから間もなくであつた。

になつた次第をきれ／＼ながらに語した。

お百は昨夜、丑兵衛が曲者を取つて押さへた時に、はじめて丑兵衛と荒熊之助との遭遇のしだいを聞き知り

『荒熊之助といへば、先年わたしに想ひをかけて嫉妬を追ふ、それを斷つたのを遺恨に思うて、老の坂のわたしの住居へ夜討をかけてわたしを引さらへてゆかうとたくらんだ惡人である。わたしが老の坂の百果を失ふたのも彼奴のため、このお百のためには怨みのある奴その惡人が廻り廻つて今また丑兵衛さまに……こりや丑兵衛さまにばかり任して置くことは出來きぬおのれ荒熊之助、こゝにお百がゐるといふこと最運に思ひ當るまいで／＼此のお百さまが以前の綽名をいふのを待つておいで！』と勝氣のお百は咽喉の中に斯う決心した。

そして翌日丑兵衛と左門に、自分も二人について逢坂山の山塞へ出向きたいといつたが

『にゝ、お主はまだ病後の身ではないか、以前の荒熊道は知らず今はお主の出る幕でない、無用無用』

と一も二もなく丑兵衛の爲に退けられたが、丑兵衛と左門が出て行つたあとから、お百は病みあがりの疲勞衰弱した身體を事ともし

京城日報
朝刊
本紙朝夕共十二頁

普通文官講義

就職を急がる〻青少年諸君は本會へ

自宅獨學一年で判任文官!!

小學卒業程度の學力にて世に立たんとする諸君！諸君將來の方針が何れの方面にあるにせよ先づ最も安固なる職業に就き生活の安定する途を立てよ本會講義録に就かる〻は自宅獨學僅か一年にて容易に專門學校卒業同等の資格ある判任官たり得べし。從來小學卒業のみの學力にて本講義録に學び判任官に就職せる者既に幾萬有餘名に達す。

見よ!! 陣容堂々斯界を壓して十有八年

學界名士 顧問 前文部大臣 從五位 勝田主計
會長 澤野民治

學事顧問 法學博士 石渡敏一　法學博士 副島義一　法學博士 青木徹二　大審院部長 柳川勝二

大家揃ひの本會講師
法學博士 中村進午　法學博士 清水澄　明治大學學長 横田秀雄　日本大學學長 山岡萬之助　法學博士 板倉松太郎　文學博士 久保天隨　文學博士 大類伸　學習院教授 河野元三　高等工業教授 笠原留七　高等師範教授 保科孝一　日本大學教授 野口保興

兩大臣推稱の講義

第三十七回新學期開講
目下新學期五大特典外獎學資金提供等特典多々あり入會の絶好機
內容見本無代進呈

東京市日本橋區濱町（新大橋際）
「日本大學法制學會」改稱
日本通信大學法制學會
（電話浪花一五〇五・振替東京二三四五六番）

精妙なる本會の指導組織

講義録毎月一回二四〇頁 內外
全文總振假名付き、各科共小學卒業程度にて理解し得る講述振り一年完結

機關雜誌毎月無代進呈
毎號菊判六十四頁、兩學受驗上須要の雜誌。毎月會員に無代配付す

毎年三回豫備試驗施行
會員の學力練磨の爲め誌上豫備試驗を施行

春秋二回模擬試驗施行
豫備試驗の外、毎年春秋の二回、普文並裁書試驗の模擬試驗を施行、會員會友の大好評を博す

最近本會卒業成功者の例

英語通信講座　研究社

英講は研究社！　設備第一！　親切無二！　ABCの讀方から

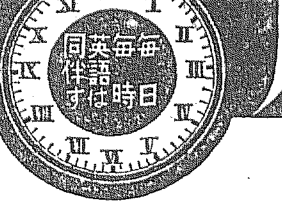
天地明朗の秋である。空も澄めば頭腦も冴える。獨學者の學力は殆ど奇蹟的に飛躍する。英語の如き難學科を封切するには今が絶好のシーズン。來れ諸君！ 諸君に小學卒業の知識と毎日二時間の小忍耐があればABCの讀方書方から三ケ月で中學一年を追抜き、六ケ月で二年を、十五ケ月で中學全科卒業の實力を保證する。専検へ文検高検へ否實社會に活躍せんとする諸君、躊躇は無用、即決御入會あれ！

新學期開始　會員募集

■別册五大附録　本講所會員にのみ無料頒布される特製圖書と雜誌！
(1) 研究社 英語新讀本
(2) 英語讀本辭書
(3) 英語學習カード
(4) 英習字手本
(5) マイ・フレンド

●四六判美本全六十四頁●專檢高檢實檢案內添附●

內容見本進呈



東京麴町區富士見町六丁目
研究社通信學部
【振替東京三〇八五五番】

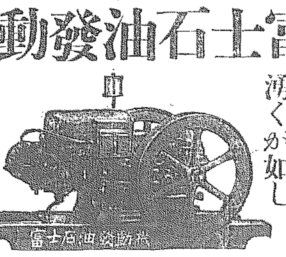
朝鮮ツルチクェ製造所

秋の收穫時に先づ

富士石油發動機

一臺毎に好評全く湧くが如し

特約店募集
カタログ進呈す



製作顧問 工學博士 細木松之介先生

一馬半、二馬半、三馬半、五、七馬半、十馬力共取揃へました

朝鮮代理店
高島田商會
保坂商會
金永商會
朝鮮支店
河本商會

製作發賣元 田口機械商店

朝鮮語講義錄

講師十數氏執筆（內容見本進呈）

本講義錄は全然初歩の人を一ケ年十二卷の講義に依りて第三種受驗の實力を養成せしむる目標の下に編纂せるものにて朝鮮語を學ばむとする者の無二の好指南書也（一ケ月六十錢、六ケ月三圓四十錢、全期六圓五十錢）

京城太平通一
朝鮮語研究會
電本一五七〇番・振替京城七六六番

新時代が生んだ新療法

理學療士の短期養成

第三十五回講習開始
世界的發見のHSライト透過放射線療法の實驗講習

專修學院
樂生堂光線科本院

音樂舞踊グラフ

九月號出づ

フラグ
歌劇・唱歌・舞踊

交蘭社發行

信仰と修養

京城新生會

表裝

水原彩光堂
京城若草町
電話本局二三九七番

朝鮮地圖販賣元は京城長谷川町小泉又七朝鮮地圖部（一覽表進呈）

創立明治參拾貳年
倉庫業兼營

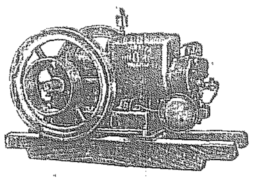
株式會社 朝鮮商業銀行
京城府南大門通貳丁目百拾壹番地

頭取 朴榮喆
副頭取 和田一郎

トバタ

農林省御指定品

斷然！他を拔く代表的最優良品



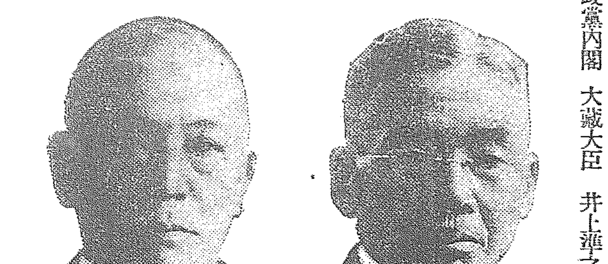
▼石油僅少、出力强大、故障絶無
▼製作簡單、取扱簡單、移動便利

製造元 農林省御指定工場 戸畑鑄物株式會社

トバタ發動機 トバタ揚水機 代理店
松田清商店機械部
京城府南大門通二丁目

經濟國策の提唱（國民繁榮の道）
政友會政務調査會長 山本条太郎氏著

世界不景氣と我國民の覺悟
民政黨內閣 大藏大臣 井上準之助氏著



新フォード、新エセックス其他
練習車約十臺

日華自動車學校
電一六〇一二番

學ぶには良校を撰べ

寫眞機械
活動寫眞機
一式材料

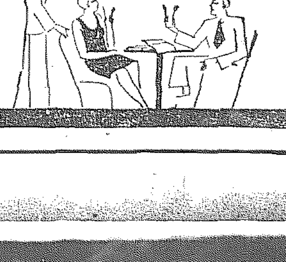
岩瀬寫眞機店

營業課目
米穀雜貨貿易
金銭貸借
米穀仲買
外米輸入
私設倉庫
一般代理業

今新井新藏商店
朝鮮鎭南浦

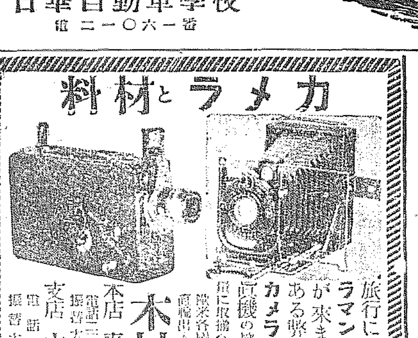
カルピス
清涼 美味 滋强飲料

ごちらがよいか
判定の直前
浸りたまへ
カルピスの涼味に



販賣所 酒店・食料品店・藥店
製造元 カルピス製造株式會社
發賣元 三井物産株式會社

カメラと材料



旅行に野遊にカメラマンの活躍時期が來ました
定評のある弊行はカメラ及び小型活動寫眞機の歐米優秀品を最も多量に取揃へて居ります

本店 奉天浪速通り
支店 大連西通三五

木村洋行

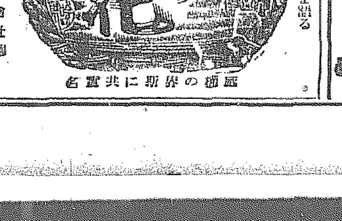
耳鼻咽喉科診察

京城府黃金町
醫學博士 阪井清

資本金57,500,000圓
積立金64,850,000圓

京城府南大門通二丁目
第一銀行京城支店

始政廿週年記念
朝鮮大博覽會
名譽金牌
高級銘酒



朝鮮酒造株式會社

樞府部内の條約廢棄論は反對黨の宣傳のみ

充分警戒して海相總攻撃に備ふ

閣議散會後三相居殘りて 對樞府策を凝議決定

【東京電報】濱口首相、財部海相幣原外相は閣議散會後居殘り對樞府策を協議の結果左の如く意見一致した

一、一日の委員會の要求により、三調書の條約案説明を印刷に附し委員に配布す

二、昨日は財部海相に質問集中され、財部海相は時に全權として、時に軍人として意見を述べたるためか其の答辯が委員に徹底せざりし憾みありしも、質問者側に何等不満はなかつた、然し今後は十分警戒を要する

三、次回は政府と加藤前軍令部長との關係、海相のこれに對する見解につき金子、河合兩委員より質問が續行されよう、然る時は加藤財部間の發言問題、海相が事務管理としての濱口首相の措置につき質問を落し返すことともならうが、政府は飽くまで加藤前軍令部長とまた同意ありしことを主張する、又加藤前部長の聲明は回訓案に伴ふ補充方法につき諒解すべきことを示したものので、回訓案に絶對反對にあらざること明かである

四、久保田男の質問は統帥權に關するものなるべく、延いて兵資の經理に關し財部海相の責任を觀るものなるべく、延いて兵器文に關し財部海相に對する誰かも十分愼重な答辯を要する

五、最近樞府部内に條約廢棄論が起ると傳へる向きあるも反對黨の宣傳に過ぎまい其の論據は『條約は軍縮に非ず軍擴を招來す』と云ふも政府は軍擴となるべき補充計畫には賛成せず、ロンドン會議の目的たる國民負擔輕減を決意してゐるから根據なき盲説である、審議の紛糾はあらうが、爲めに政府が難局に立つやうなことはあり得ようとは思はれない

回訓事情の闡明は重大なる先決問題

政府の苦境は同情するも飽く迄委員の追窮を許す

伊東、平沼兩氏意見一致

【東京電報】樞府の第六回精査委員會は三日午後一時から樞府事務所で開會されるが、三大臣の出席を求めて一日の委員會から持越された回訓當時の態度につき河合、久保田その他の委員から又々追窮するところあるべく、政府は難局に立つものと見られてゐるが伊東委員長はこの紛糾事情の説明を竝び、二日午前平沼副議長の來邸を求め委員長としてとるべき措置即ち河合委員その他をしてあくまで二の點を追窮せしむべきや、或は他の問題に觸るべきやを協議した結果、回訓問題は條約審議上先決すべき重大問題なるを以つてたとへ政府が苦境に立つとも飽くまで明確なる答辯を求め、然る後他の質問に移るとも委員の一致を見た模様であるから、樞府本日の委員會は相當の波瀾を惹き起すであらうと見られてゐる

郵貯据置利子も六厘引下に決定

四分四厘四毛となる

二日の定例閣議

【東京電報】二日の定例閣議は午前十時開會、井上藏相より預金部小泉遞相よりも郵貯据置利子も普通貯金と同じく六厘引下四分四厘四毛と決定したと報告あり、原案通り決定、更に藏相より諸銀行支店に對する諸國官廳の不當檢査を報告し協議の結果、外務省にて調査の上相當方策を講ずる事となつた、次で松田拓相は關東州問題幣原外相は北支政情を報告、阿部陸相代理は宇垣陸相は經過良好なるもその治癒に思ふ程捗々しくないと報告して正午散會した

預金部外地貸出は四分五厘に引下

預金部運用委員會の議決を經て實施す

藏相閣議に報告

【東京電報】二日の定例閣議において井上藏相より預金部貸出利下げに關し報告したる内容左の如し

一、郵貯利子四分二厘に引下の場合には、預金部の内地々方低資貸付利率は原則として四分二厘に引下げる右引下は郵貯利下實施後の貸付（既に預金部運用委員會の決議を經たるものにして未だ貸付未濟の分を含む）にのみ適用し貸付濟のものに及ぼす

二、地方資金中現在貸付利率年四分八厘を超ゆるものは此際貸付濟のものと雖もこの際特に引下ぐ、但し銀行の遊資金と混合經理せるものは除外す。即も普通資金の分は四分八厘まで引下ぐ復興貯蓄債券收入金の分は五分五厘まで引下ぐ

三、外地における郵貯利子年四分四厘四毛に引下げられる場合には外地に對する預金部の地方資金貸付利率は原則として四分六厘に引下ぐ。貸付の分中五分一厘を超ゆるものはこの際特に五分一厘まで引下ぐ

四、前記各項の實行については預金部運用委員會の議を經るを要す

不景氣の打開は我黨の本務

政友幹部會席上犬養總裁の提議

【東京電報】政友會は二日午後一時本部に幹部會を開き、犬養總裁より

各地における調査の結果に照らしても判る通り、今やわが國は到る所不景氣である、このまゝ推移しゆくことはできない。刻々とどん底におちてゆく國民生活の現状を袖手傍觀するに忍びぬ、國民をこの不況から救ふため我々は出來るだけのことをしなくてはならぬ、必ずしも倒閣運動のためではない。即ちこの際全國の黨員を招集し直面せる不景氣の現状に善處するため黨の意思を決定し、之に處するの途を講ずる必要がある

と提議し來る十六日臨時大會を開いて黨の意思を決定することとなり二時半散會

民政總務會

樞府の審査は圓滿に進行中

【東京電報】民政黨は二日午後二時總務會を本部に開き、富田幹事長から樞府の條約審査狀況につき圓滿に進行中であると報告したる後、政友會側の倒閣運動につき協議

天皇陛下九日に還幸遊ばされる

【東京電報】天皇陛下は九日那須御用邸より還幸あそばされる。皇后陛下は御避暑御静養中にて還御も拜せらせられ照宮、孝宮兩殿下と九月中は那須御用邸に御滯在あそばされる由洩れ承る

盗犯防止令朝鮮適用可決

二日の閣議決定事項

【東京電報】二日の閣議で左の事項決定した

一、鐵道技師鈴木一ベルシヤ政府招聘に關する件

一、人事

朝鮮總督府技師　三井榮長　陞敍高等官一等

一、昭和二年勅令第三十七號（朝鮮總督府に土地改良部設置及臨時職員增置の件）中改正の件

一、朝鮮河川令中改正の件

一、朝鮮刑事令中改正の件（盗犯防止の件）

一、朝鮮總督府裁判所令中改正の件

永井外務次官鮮滿支視察

七日東京出發

【東京電報】永井外務次官は來る七日東京發十一日神戸出帆の臨島丸で渡支、上海、南京、青島、濟南、天津、北平、奉天、長春、吉林、大連各地を視察し十一月一日京城着の上約一週間朝鮮各地間島を視察し十一月十日頃歸京の豫定であるが視察日程左の如し

九月十一日神戸發十五日上海着二十日まで滯在、二十一日上海發南京着二十六日まで滯在、二十七日南京發上海着、二十八日上海發二十九日青島着三十日は滯在、十月一日青島發濟南着、四日濟南發五日天津着六日滯在、七日天津發北平着十一日まで滯在、十二日北平發天津着、十三日天津發十四日大連着十九日滯在、二十日天津發奉天着二十二日滯在、二十三日奉天發二十四日長春着翌日出發、廿五日吉林着二十七日滯在、二十八日吉林發二十九日長春着、三十日長春發十一月一日京城着

西井里から木浦まで一週間の旅行記（3）

卒業生指導の一考察

山岸（芳）生

卒業生指導の模樣を語る前に卒業生の職業について一考すると、二百五十六名の卒業生中指導生を加へて農業に從事するものが百五十余名の大多數を占め、上級學校在學中のもの四十一名、傭給生活者八名、商業二名、出稼二十三名となつてゐる。

さて卒業生指導の方法は一、一般卒業生二、在郷卒業生三、農業指導生の三つに分れ、一般卒業生に對しては精神の向上と思想の善導をなす爲に母校との連絡を第一として、大正十五年以來毎月一回『忘れな草』と稱する通信誌（月刊）の校友會通信每月四五枚のものを、卒業生を月每に順次調査する）卒業生は每月一回母校に集合して各自の調査につき討議し、互の修養に資する事となつてゐる、調査する事の效果はいふ迄もなく、己れの部落に關する實狀を知る事は、またそれについて討議する事は卒業生の自覺、向上に役立つと想像以上だと思はれる。次に御大典記念文庫を設けて、圖書の貸與を行ひ、知識の向上をはかり、四大節には必ず學校の儀式に參列せしめ、學校の運動會にも招集して役員として援助をさせてゐる、なほ部落每に夜間講演會を開催し、卒業生のみならずその父兄たる一般部落民の中堅人物たらしむるための精神訓練をモットーとし、學校との連絡には卒業生を部落狀勢調査委員に任じ（この部落狀勢調査員によつて配偶及人口增減、美風、惡風、自作、小作農耕地、教育、宗教、桑田、資産、食料、部落經濟、食言、使用人、出稼、副業及副業の狀況等を調査する）卒業生に對してはその部落の中堅人物たらしむるための精神訓練をモットーとし、在郷卒業生に對してはあらゆる問題につき個人の指導を行つてゐる。

次に現在六十一名の農事指導生に對する指導はどうであらうか、以下少しく書いて見よう。

一、長期講習會の開催

冬期休暇期に十三日間學術講習會を行ひ知識の啓發に資し、夏季に十日間臨地講習會を開催し、各自の向上發展に資す

二、修養雜誌の講讀

發行の『大道』十部を購入し每月送付する

三、短期講習會の開催

每月一回以上短期講習會を開催し學校職員の外道及郡技術員の講話等を行ふ

四、部落出張臨地指導

學校職員が土曜の放課後又は日曜等を利用して指導を行ふのである、指導方法中最も效果ありと思はれるものであり指導生の部落に出張し種々の指導を行ふのである、精神的に導くのを第一として敢師一人一週一回以上の出張で昨年の如きは延日數二百四十日に達した、この出張はやがて部落民全體の了解を得漸次に部落改善の歩を進めてゐる、部落における指導生の家庭の調査は穿地の利用、花壇の有無から室内設備の整頓狀態まで及び徹底したものである

五、年中行事の勵行

年中行事又は月中行事の表を與へこれによつて農事を進めさせる

六、農事一般設計指導

各作物につき計劃的に行はせるため設計書を作製させこれを勵行させる

七、各種品評會の開催

蠶繭、藁細工、清潔整理、堆肥等、苗代、正條植、稻作、汚水利用、屠畜品評會等の小品評會を開催する外、十一月には農作物、林産物の大品評會を開催してその向上をはかつてゐるが毎年四千點も出品數があり、郡技術員の審査によつて成績發表、表彰をする、經費は各自の勞力奉仕によつて經費は三十圓以內で充分である

八、農會報の發行

農事改良を目的とする農會報を每月三、四回發行する

九、改良種子その他配布斡旋

家庭農産法の改良をはかるため種子の共同購入斡旋を行ふ、昭和四年度においては種籾五斗五升、大豆二斗麥苗千五百本甘藷苗四萬本、落花生八升大根白菜一斗九升、馬鈴薯三十九〆、甘藷苗六〆を共同購入し播種は學校で共同備育をした

一〇、農具貸與

改良農具を買ひこれを貸與し、改良農法の普及をはかつてゐる

一一、貯金

五年後には畓一反歩を購入する計劃を立て每月貯金を行はせこれが奬勵方法として貯金月報を發行してゐる

一二、共同桑園の設置

學校所有の林野七百坪を開墾して桑園を作り桑葉はこれを半額で指導生に賣却し、この金を貯へて旅行の補助に用ふ

一三、視察旅行

旅費の幾分を學校で補助し水原試驗場等の視察をさせることになつてゐる、また各部落の相互視察には指導生全部出席し途中各自の持參して來たスコップで道路の修繕等をさせ社會奉仕の思想涵養に努めてゐる

一四、鷄卵共同販賣組合

合計の四月から始めたものであつて部落每に組合を設け學校がこれの中心となり五日目每に各部落の指導生が部落中の卵を集めて學校に全部集め、京城の京畿道共同販賣所に販賣するものであるが、學校自體の利益は零として指導生には販賣高を現金と切手とに分けて渡しなるべく利益は貯金する樣にさせてゐる

故富田翁追悼會に齋藤總督燒香

故人の徳を慕ふて官民多數參列す

昨二日午後二時より京城公會堂に催された半島實業界の元勳、故富田儀作翁の追悼會には、故人の徳を慕ふて集るもの官民有力者席を埋め盡し、兒玉總監の弔詞終つて一同嚴肅し、齋藤總督の燒香についで參列者一同順次燒香し嚴肅裡に午後三時式を閉ぢた

津野田少將逝く

【東京電報】元代議士津野田是重

國調完成のため總監祝宴

言論界の人々をホテルに招待

來る十一月一日施行さるべき國勢調査に關し言論機關の援助を希望する意味にて兒玉政務總監は昨二日午後七時より朝鮮ホテルに在城新聞、雜誌、通信關係者百余名を招待、晩餐會を開いたが官廳側よりは國勢調査關係員として總督府各局部長監に課長、渡邊京畿道知事、松井京城府尹、池田朝鮮軍高級參謀、末松李王職事務官、金東鮮國調部、宮崎參謀等列席、デザートコースに入り、兒玉政務總監立つて國勢調査に關する言論界の援助を求め、これが成功を收めたしと挨拶したるに對し、松岡本社長一同を代表して公の事業たる國勢調査の遂行には言論界は喜んで奉仕すべき旨の謝辭を述べ乾盃を交はし盛會裡に同八時半散會した

兒玉總監平北初巡視

三日夜出發

兒玉政務總監は豫定を變更して咸境方面へ三日夜出發の筈であつた初度巡視として咸南平北兩道の國南の視察は取止め平北のみとし、三日午後十一時京城驛發列車にて出發、それより主として自動車によつて平北國境を巡視し新義州に出で多獅島築港の上十三日頃歸任の事となつた、なほ一行は後藤林産課長、山縣秘書官、田中通譯官、服部屬、吉村警部補等八名である

修養團朝鮮聯合本部の國調宣傳提灯行列

修養團朝鮮聯合本部の國調提灯行列は二日午後七時半から盛大に行はれた、府廳前廣場に集まつた約二百名の團員は、國調の大行燈を掲げ、まづ本社を訪れ太平通り本町通り黄金町通り永樂町明治町より鮮銀前廣場に至つて解散したが、太鼓を叩き、國歌を高唱したこの大行燈行列は、到る處群衆を呼び國勢調査の非常なる氣勢をあげた

歐米諸國の植民屬領調査

松田拓務書記官一ケ年の豫定で

【東京電報】拓務省監理局松田書記官は歐米諸國の植民地および屬領の現住民族に對する政策並にその狀況調査のため二十六日東京發一年の豫定で歐米に赴くが、歸途はアフリカ各地を視察調査する豫定である

上原元帥退院

【東京電報】去月廿日病名不明で軍醫學校病院に入院した上原元帥はその後診察の結果格別の異状がないので二日午後退院した

件（思想犯取締特任判事書記增員の件）

京城府の稅務協查

少將は、二日午後零時四十五分心臟麻痺で澁谷の邸に逝いた、享年五十七、日露戰役に乃木、ステッセル兩將軍會見の通譯を行つた人である

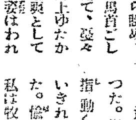
京城府の稅務事務一般の監査は本府より稅務主査九月六日より十日まで五日間執行する

土耳古に日本商品館設立

用務を帶びて山田寅次郎氏

多年對土耳古貿易のため盡力した山田寅次郎氏は六十歲を越した老驅を提げて貿易促進に日土貿易協會の用務と土耳古日本商品館の設立の用務で、大阪商議の調査課長をつとめ今回同館の主事となる長谷川および總主事原田福氏を伴ひ二日夜京城通過一路北行した、車中出迎への記者に對し次きの如く語る

由來土耳古と我國は多年盟邦の親を重ね、先方では東京通過の一路へたるも戰後一層の親善を重ね、先方では東洋趣味がさかんで正に我國商品界の雄飛するに絶好の國である、私は明後廿ヶ年土耳古で生活したが、今回は日本商品の眞價を紹介し一層飯展せしめるために商品館を設立する計畫で、すでに大體の準備は成つてゐる、なほ先方には十二月までゐて一月には歸國する筈だ（寫眞中央山田氏　右、原田氏　左、長谷川氏）



紅茶の後

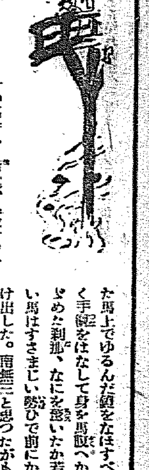
鐵道局理事　戶田直溫

障碍飛越など高等馬術は出來なくとも、小學生の時から乘りなれた馬である。街を軒上から眺め、人を馬首ごしに見て、悠々と馬上ゆたかに颯爽として行く姿はわれながら感心することもある私だ

その名譽ある騎士が最近落馬におよんで、しかも傷を負つたとわが名を恥しむべき風說が流布されてゐるさうだ。七月二十九日、途すがら成歡の牧場に立寄つた。逞しい馬が澤山ゐる、食指動くまゝに一馬を求めて草いきれの原を一廻り走つて見た。愉快である、爽快である。私は牧場の夏が氣に入つた。よしいま一度』……私は制止した馬上でゆるんだ鐙をなほすべく手綱をはなして身を馬腹へかゞめた刹那、なにを驚いたか若い馬はすさまじい勢ひで前にかけ出した。南無三と思つたがもう遅い次の瞬間地上に投げ出された自分を見出したのだ。

これが私の奇禍の事實だ。千慮に一失、油斷大敵、亂暴な無教養な馬に乘つたばかりに喰つた禍ひを針小棒大に流布されたのは誠に遺憾千萬である。

その時うけた傷も手指にちよつと擦過傷を被つただけで數日にして全癒してゐる。



日本ラグビーチーム快勝

ヴアンクーヴア選拔チームに

【ヴアンクーヴア一日發電】カナダ遠征日本ラグビーチームは一日當地においてヴアンクーヴア選拔チームと一回戰を行ひ二十二對一八で本チーム快勝

コスト大尉機大西洋上飛行中

【セントジョンス（ニウファンドランド）一日發電】大西洋横斷飛行の途にある佛人コスト大尉操縱クエチヨンマーク號はニウファンドランドを距る一千浬沖を飛翔中である

會

山本遞信局長招待　山本遞信局長は三日午後六時半遞信局出入の新聞通信記者を花月に招待し一夕の宴を張る由

人

航空往來（二日夕）

▲高須澂氏（大連より）▲山本大機長府氏（平壤より）▲山本正通氏（同上）

太平漫語

▲時まさにスポーツの秋、政治の秋、政友會にとつては倒閣の秋に違ひない、秋は身心何となく輕快な顏、政友會も手腕ながら腕も鳴らう、悪い顏ながら何が出來さうに思へるだらう、條約問題でも倒閣出來ると思ひ込むものもないでもあるまい▲或はこの問題が一番手取り早くてよいと考へてゐるものがあるかもしれぬ、總裁が條約問題はいけないと叱りつけたところを見るとたしかにあつた▲しかし流石は犬養氏である、斷乎としてこれを排擊して倒閣の題目からオミットさした、條約組は大失望した▲だが犬養氏もこれを抑へるには相當苦心した、手段を擇ばぬやぶれかぶれの倒閣組に手段を擇ばすには總裁も一寸苦勞だつた▲犬養氏は倒閣の名人である、だが犬養氏にはエゲツない陰險がない、條約問題を倒閣の攻具にしたい黨員を戒めたところに犬養氏の眞價がある、世間も無論これを是と認める▲政治をスポーツとすれば、倒閣運動はスポーツマンシップが必要だ、犬養氏はこれを體得してゐる政治家である、政友會でスポーツマンシップの意義を知るもの總裁一人かも知れぬ▲スポーツの秋政治の秋倒閣の秋に倒閣運動の最尖端に立たんとする政友會は犬養首將の下に何處までも國民の供鳴を得るに足る正々堂々たるスローガンを掲げて押出されば嘘だ▲その行動は何處までもスポーツマンシップに終始して、たとへ敗れても汚なき惡戰的記録をとゞめることこそ望ましい

政友會の頻べた秋風倒門を叩く、戰端を開いたと見るや犬養總裁、まづ腰をやらも起き上る、政友會の倒閣運動と▲政友會も陣に歸ろ、まづ腰を落て本陣に歸る、じりへと初まる

經濟

土建界不振

請負高が半減

朝鮮土木建築協會調査八月二十一日現在協會員請負高は一千六十六萬三千余圓で前年同期に比し一千四十六萬圓余の減少である尙八月中の會員請負高は百六十三萬三千圓で前年同月に比し二十四萬九千圓の增加であるが右は八月に入り鐵道局工事二ヶ所朝鐵一ヶ所の請負があつた爲めで依然不況の狀態にある

肥料配給改善

農林省乘出す

【東京電報】農林省は八月一日より施行の肥料配給改善助成規則達成のため全國購買組合聯合會に勸誘して肥料の市價を調報又は旬報によつて全國産業組合及農會に夫々通知すると共に、春秋の需要期には各府縣の産業組合聯合會に對し每日の市價を打電すべく十月初より開始することとなつた

商銀重役會

商業銀行では二日午後全州支店長の後任決定に伴ふ支店長の異動その他につき重役會開催

◇株式◇

大株短期引跡

大新　四十一圓一（廿錢安）

鐘新　五十五圓六（四十錢安）

日產　十七圓六（廿錢安）

東新　八十九圓八（六十錢安）

東株短期後場引

東新　九六、〇三　九、三　止　高値　安値

◇朝米◇

各地期米後場止

下關二三四二▲桑名十一番三三六　九十二番三三七〇▲名古屋三三四八▲金澤二二三▲熊本二三二▲大阪最終氣配四十錢（一錢安）

群山廻米報（二日）

鐵便	玄米	皆無
汽車便	玄米	皆無
牛車便	玄米	皆無
合計	玄米	皆無

◇商況◇

綿布綿保合　二日大阪三品綿糸は當限前場寄百二十四圓三十錢と前日に比し五十錢高であつたが、たちまち崩れて、前場引百二十三圓十錢と九十錢安を示し、先限も前場寄百二十四圓三十錢と二十錢高を百二十二圓と一圓三十錢安を以て引けた、當地綿布は綿糸がやゝ氣配が軟弱であるので、先高見越による買付も昨今は一巡したので相場は粗布三三一百六十四圓と雨保合ひであつた

ゴム落着く　二日ロンドン四ペンス四分三シンガポール十五セント、海外相場も昨今は落着き八月末海外在荷はロンドン八萬六百十一トン、リバープール二萬九千七百八十九トンの入荷があつた、なほ當地においては愈々需要期も接近してゐるので、ゴム工場も一斉に活氣づき値頃觀から、ゴム原料の約荷も活況を呈して居る、二日相場は京城渡十九錢丁であつた

海外砂糖市況

キューバ資糖		休會
ジャワ糖九、十月限		休會
倫敦糖同	同	七志九片丁度

神經衰弱であたまのハッキリせぬ方へ

新奇藥と體驗談を無料通信

頭腦の使ひ過ぎや不自然なる性行爲が原因となれる神經衰弱やヒステリー症に伴ふ不眠症或は遺精夢精に惱む諸君に限り手紙で申込次第私の全快談と新奇藥を無料で奉仕の爲お知せ致ます

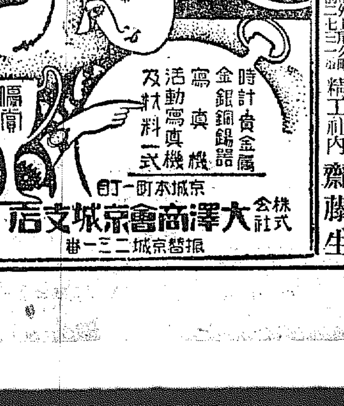
東京市外三河島町四三四　菅谷松翠

りん病で人知れずなやむ方へ

グラトク療法　無代送呈

淋病や消渇になやみ色々と手當をすれど効目なく悲觀の方はこの廣告に氣がついたのが幸ひです、スグハガキでお申込み下さい、キキメの早い藥の話や日常の養生法食物の選び方を初めウミやイタミの止まる法等を詳しく記述してある『グラト療法』といふ書物を奉仕のため無料で送つて差上ます淋病になやむ方はあれこれと迷はず一錢五厘のハガキですむ事です一時も早く本書を讀んで其苦難よりお脱れ下さい

東京市外上尾久町
熊の前二七三一番　精工社內　齋藤生



標準テレゴゲ
電機學校
電氣講義
全十二卷一年修了總頁二八〇〇頁。斯界の元祖たる本校十年の結晶電氣講義の白眉!!遞試第二種三種受驗者の良友。校內生同樣卒業し得る制度あり
全十二卷一年修了每卷二六〇頁一圓。電氣工學と實驗とりくつき混ぜ近時寫眞を應用した無比の新仕組で基礎講義の中に何人も電氣一般がよく分る。標準テレゴゲへの階梯
規則書申込次第無料送附
東京神田錦町小川町通

專賣特許
碍障養營般一及 脚氣治療に
アベリー
強力濃厚ヴイタミンB製劑
注射　劑錠　劑液　末粉　裝包
社會式株藥製一第　京東　元賣
A—68

投網　釣具
優良と低廉
四分目　二尋半　十二圓
五分目　二尋半　十三圓
其他絹糸製各種
股網　三間　三圓
京城永樂町二丁目
漁具商　網問屋　吉岡商會
電話本局二一四四番
振替京城四三二八番
定價表（御入用次第）送呈

社説

南北の和平勸告か
學良氏の取るべき手段

支那の形勢はどうなるか。これは南北の戰爭が決して的確に知り得ない以上、到底豫斷し能はぬことである。つひ先達までは北方側の形勢がやゝ有利に見えてゐたが濟南が中央軍に奪回されて以來、どうやら形勢が變つて、南方側がやゝ有利の狀態にあるやうではあるが、實際國の支那のことであつて勿論的確に形勢を知る由もない此の時にあたつて、奉天派の湯玉麟軍の一部一萬余が北平城外の通州に移駐したと報ぜられ、久しく北戴河にあつた張學良氏が突如奉天に歸城したといふこの二つの新事實によつて問題は問題を生み、推測は推測を生んで、さらぬだに分明ならぬ支那政局の推移に、更に不徹なる煙幕を張りつめたといふのが今の支那政局の現狀である。

◇

大體湯玉麟軍の通州移駐は何を語るか、張作相氏と萬福麟氏との諒解の上で湯玉麟軍が關内に移駐したといへば、學良氏が北方側に傾いたとも受取れぬとはない。すでに通州には山西軍の駐在するものは一兵もなく、たゞ湯玉麟軍の來るのを待つてゐたといふ傳單はこれを裏書きするやうでもあるが、蔣介石氏が張學良氏に對し頻りに南京への出兵を要求しつゝあつた事實もあり、『斷じて出兵を肯じないならば……』と頗る高飛車的に張氏に對して最後的要求をなしたといふのも最近の情報である。また別の情報によれば、張學良氏が關内に兵を進めたのは南北兩軍への顏立てに過ぎぬとも傳へてゐる。從つて湯玉麟軍の一部が關内に移駐したといつて直ちに奉天派が北方に加擔したとなすは早計であると共に、南方との脈が全く切れたとは勿論斷ぜられぬ。それに南京側調といふ好餌が、南北双方から與へられつゝある張學良氏今日の立場においておやである。

◇

押も北戴河において、張學良氏が南北双方派遣の幾多の說客に對して何事を約束したか、如何なる見解を出したかゞ問題である。もしそれ、張學良氏が北戴河において、南北代表の派遣者に確然たる態度を表明したりとせんか、奉天派の態度は既に栗に明白となり時局の色彩は甚だ確然たらざるを得ないはずである。もし北せんか南せんかの態度が明白に決定すれば――北附すれば南方、南附すれば北方代表者はたとひ一日たりとも便々として北戴河に止まり、而して張學良氏を圍繞し居られぬはずである。にも拘らず、張氏の周圍には南北双方の政府代表をはじめ、兩派の巨頭圍々の代表多數の說得者が少しもその數を減じない有樣である。しかして今やこの衆くし、兩派の說得者に圍繞された張學良氏は奉天に歸城したのである。南北兩政府代表をはじめ各般勢力の代表とも未だ確然たる見込みも附かず、未だ態度につゞりで學良氏の御輿を摑んで睨み合つてゐるのは、奉天に移つて後も何としも變らぬのである。斯く多くの眼から鵜の眼、鷹の眼で睨められてゐては、學良氏としても容易に決然たる態度の表明が出來ぬのは當然のことゝいはねばならぬ。

◇

然らば張學良氏の態度は結局どこに落着くかといふに、來る六日張作相や、萬福麟、湯玉麟などの首腦連の來奉を待つて奉天に重大會議を開いて態度を決定するといふことであるが、斯うこんがらがつた時局においては、所詮どちらに附くといふやうな確然たる態度の決定には出られず、たゞ大中華民國の一大勢力として、結局平和解決の通電を發するか、進んで調停役を買つて出るのほかはなからうと思はれる。大體今日までよく洞ヶ峠を極め込んでゐた學良氏が、この膠着狀態の戰局、勝敗的確ならぬ今日の戰局に對して、今更事ごとしく態度を決定すべくも思はれない、まして奉天派の首腦部の多くが、東北省は東北モンロー主義に立籠れといふ傳統的孤立のやうであるといふにおいてをや。これが學良氏が斷然たる態度に出られまいとする觀測である當然の歸結は、中華民國の一大勢力として、この時局を傍觀し得られざる結果は、和平通電となり、調停となつて現はれやうとするゆゑんである。

◇

又實際目下の戰局においては、南北兩軍とも和平調停者の出で來らんことを待望しつゝあるは事實である、容易に漁夫の利を占めさせるでもない學良氏に未練の幾日月を費すのも、所詮確然たる加擔は難かしいが『せめて適當な所に調停を――』といふ態度が忖度されぬでもない。併しながら、茲にいはゆる『和平通電』と『調停』とには確然たる區別のあることを認識せねばならぬ。それは和平勸告といふが如き中華的の、ほんの形式的のことはなしやすいが、調停といふが如き進んだ大役はなかなか買つて出られぬことを知らねばならぬ。何んとなれば、學良氏が斷然調停の大役を買つて出る以上は、閻、馮、蔣氏三巨頭の下野と同時に學良氏自身の下野引退を前提とせずとも、結局はこれと道伴れとなるだけの覺悟を決めてかゝらねばなるまい、が、これは今の學良氏としては一寸難しいことである。どつちかの態度決定が困難であり、調停の大役を買つて出ることが難事であれば、先づ和平勸告の通電發送が奉天派の採るべき最初の手段ではあるまいか。

失業歸農者 一箇月二萬以上
放任され難き問題

【東京電話】最近內務省社會局の調査によると、本年一月以降の工場勞働者の歸農數は毎月一萬八千人以上で、これにつき二千人の鑛山勞働者の歸農を加へれば歸農失業者は一月に二萬以上であるがこれ等歸農者はさらぬも不況なる農村を食潰して不況の農村窮乏を一層深めるものと重大視されてゐる

安達博士がトップを切る
來十日に行はれる
――國際裁判官の選擧

【國際聯盟事務局東京支局發表】來る九月十日からゼネヴァにおいて開かれる國際聯盟第十一回總會においては、世界各國の法律の的となるべき常設國際司法裁判所の次期（一九三一年一月一日より九年間）裁判官の改選が行はれることになつてゐる。この選擧に關しては同裁判所の規程に從ひ、去る七月卅一日迄に各國の國別團（海牙常設仲裁裁判所裁判官を以て組織す）から四名以下（其內二名までは自國の國籍を有する者たり得る）の裁判官候補者を指名することになつて居るが、同日まで各國々聯盟によつて指名された候補數は總數五十五名に達して居る。

『日本』の國別團は現裁判官織田萬博士の後任として前駐佛大使安達峰一郎博士を指名した他にハンマルショルド氏（スエーデン）、ジャックマン男爵（ベルギー）・ウルチア氏（コロンビア）の三氏を指名して居る。又安達博士を指名して居る國は

日本、オーストリア、ベルギー、ボリヴイア、ブルガリア、チリー、コロンビア、チエッコスロヴアキア、エストニア、フインランド、ギリシヤ、ラトヴイア、ルクセンブルグ、ペルー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、サルヴアドル、スエーデン、ユーゴースラヴィア

の二十ケ國で、指名國數は安達博士は最高位であつて來るべき選擧において

『當選』確實と見られてゐる。サルヴアドルのグスタボゲレロ氏（第十回聯盟總會議長）は十五ケ國より指名されてゐるが、他に十ケ國以上より指名されてる者は一人もない。以上三氏のほか知名の有力なる候補者は左の通りである。

アンジロッチ氏（イタリー）現常設國際司法裁判所次長
アルタミラ氏（スペイン）同裁判官
ブスタマンテ氏（キューバ）同右
フロマジエオ氏（フランス）同右
サーセシル・ハースト（イギリス）同右
ニホルム氏（デンマルク）同右
ペクソア氏（ブラジル）同右
バイヒマン氏（ノールウエイ）同右
ネグレスコ氏（ルーマニア）同豫備裁判官
ハンマルショルド氏（スエーデン）同書記
ヴアン・アイシンガ氏（オランダ）裁判所規程改正會議々長
ケロツグ氏（米國）前國務長官
シユツキング氏（ドイツ）國際法典編纂會議專門委員
シモンズ氏（ドイツ）前ドイツ大審院長
スマッツ將軍（南阿聯邦前首相）
ウイツカージヤム氏（米國）前司法卿
李錦綸氏（支那）現南京外交次長
ルート氏（米國）上院議員
ウルチア氏（コロンビア）國際法學會々長
ジャックマン男（ベルギー）前相
ロストウオロスキー伯（ポーランド）國際法學者

この裁判官選擧は聯盟總會および聯盟理事會が各別にこれを行ひ、聯盟總會および聯盟理事會において絕對多數の投票を得たる者を當選者とするが同一國の國民二名以上當選したる場合は最年長者のみを當選したものとする。

『尚ほ』常設國際司法裁判所の規程改正議定書が九月一日に效力を發生する筈であるから、從來の定員は正裁判官十一名豫備裁判官四名であつたのが改正されて、正、豫備の區別なき裁判官十五名を定員とするといふ改正規程に從つて選擧されるであらう。又現裁判官ヒューズ氏（米國）辭任のため生じた缺員の補缺選擧も右の選擧と同時に行はれることになつて居り、現在十五名の候補者が立つて居る。これに當選した者の任期は現裁判官任期の殘期即ち本年十二月三十一日までである。

盜犯防止と其處分法【三】
朝鮮に近く施行せらるゝ法律に就て
深澤法務局長談

階梯として本條第一項第一號乃至第三號の罪につき斟酌すれば――

（一）本條第一項第一號前段の『盜犯を防止し』といふのはまさに犯されんとする强竊盜犯を防止する場合をいふのである。即ち竊盜又は强盜をする目的で雨戸をこじ開けんとし、又はこじ開けてゐる場合は未だ屋內に這入らないでも盜犯の着手である、盜の意思がない場合には第二號の『不法侵入』に該る。かゝる盜犯を防がうとする場合を指す。『盜贓を取囘せんとするとき』とはすでに犯されたる强竊盜犯よりその盜贓物を取囘せんとする場合である。即ち財物に對する侵害行爲の繼續中之を排除し、取返せんとするをいふのである。本來この種の行爲に對しては自救行爲として論ずべく刑法第三十六條にいはゆる急迫の侵害といふを得ぬとなす學說なきにあらざるも、この第一號の條件に附加して本條第一項本文前段の自己又は他人の生命、身體又は貞操に對する危險が存する場合には犯人に對して殺傷行爲をしても本法では『正當防衞トナル』と規定したのであるから、斯る學說を考慮するの必要が無くなつた譯である。なほ本號において『盜犯』といふのは事實調べて見た結果盜犯であつたといふことを前提として規定してあるのであるから、本人が盜犯防止なりと考へても事實調査の結果によれば盜犯ではなかつたが本條第一號第二號の事實があつた場合に矢張り本條本文の如き條件を具備して居れば正當防衞と認め得るのである。然し調査の結果によれば本條の第一號乃至三號に該當せざりしとき、例へば知己とか親類が見舞に來たといふ場合に誤認した樣な場合には普通の誤想防衞の觀念を以て之を判斷するのである。本號は事實盜犯でなければならぬといふことを認めて居るのである。

（二）第二號に『兇器』とは一見人をして危險の念を抱かしむるに足る器具物件をいふ。たとへば刀劍、銃砲、竹槍、棍棒の如きものを指し、人の身體を傷害し得べき器物は總てこれを包含す。しかして『兇器を携帶して』の語は『人の住居云々』の語に續けて讀むのである『門戸牆壁』とは人の侵入を防止する設備の意味で、鐵條網を張り廻せる場合は勿論溝渠の如きをも包含するものと解すべきである。『踰越』とは一見上部を乘り越す行爲のみを指すが如きも『損壞』と併記しあるから門戸牆壁の土臺下に穴を鑿つて潛入するが如き場合をも包含す、これを要するに防衞設備を無效ならしむる行爲の一切をいふのである（損壞）とは物質的に門戸又は牆壁の形態を變更し、又は減殺するの意味である。本號には『踰越』『損壞』と併記しあるから刑法第百六十一條における『損壞』の意味より狹く解すべきであると思ふ。本號にいふ『鎖鑰』とは住居邸宅へ侵入せんとする者を防止する爲に施されたるものを指すのである單に金屬製の錠前の如きもののみを指稱するにあらずして廣く戸締りの用に供したる物をいふのである。

なほ本號は住居、邸宅、建造物、艦船に對する侵入者を防ぐ場合であるから本號に掲記せざるものたとへば人力車、馬車自動車、汽車、電車、航空機等に對する侵入を防止せんとする場合は含まれぬ。尤も本號にいふ艦船の中には軍艦は勿論汽船帆前船の如きも這入つてをらぬがこの船舶は海上を航行するものに限らず、江湖河川を航行する船舶は勿論これに包含すべく、なほ櫓櫂をもつて進行する渡し船の如きをも包含すると解するのである。

（三）第三號の不法侵入、不法不退去の意義は刑法第百卅條に規定する所と全く同一である。即ち住居者、看守者の意に反して侵入したる者又は最初正當に家宅に這入つた者であつても、その後權限ある者の要求あるに拘らず故なく之に應ぜざる者を排除せんとする場合である。本號においてはその侵入不退去が夜間なると晝間なるとを問はぬのである。

最初正當に家宅にはいつた者でもその後權限ある者の要求を受けて退去せざるときは、急迫の侵害が嚴存してゐるもの即ち危險が現在するのである。この急迫なる侵害に對しても刑法第卅六條に從つて正當防衞が行はれ得るのであるが、これと本條本項本文に示せる危險が存する場合には本法により決せられ、本項本文に示せる危險が存在せざるも恐怖、驚愕の余り行はれたりと認めらるゝときは本條第二項によりて判斷せらるゝのである。

勞働者又は小作人が勞働條件若は小作料等につき資本家なり地主に面會したる後要求を受けて退去せざる場合、或は債權者が債務者の宅において辨濟を求めたる後債務者から今日は拂へぬから歸つて呉れと要求された場合に債權者が之に應ぜぬ場合には、刑法第百三十條の後段によつて『要求を受け故なく退去せざるもの』として處罰さるべきものであるから、今の例による勞働者、小作人、債權者といへども退去を要求せらるゝに拘らず、强ひて何處までもそこに頑張つて返答なり貸金なりを要求する權能はないのであるから この第三號に當ることとなり、これに本項本文の危險存在せば本法の適用を免れぬのである。がしかしこの場合にても矢鱈に殺傷行爲をゆるしたものと誤解してはならぬ『故ナク』とは法令の規定なり正當の業務關係なり、慣習にてらして正當の理由なきことを意味するのである。故に職工、小作人がその業務關係なり慣習上相當と認めらるゝ範圍において資本家なり地主なりを訪問し、又は面談後要求に應じて退去しないといふ場合にこれを以て直に『故ナキ侵入』とか又は『故ナキ不退去ナリ』と當然認めらるべきものとはいへぬ『故ナキ』ものか否かは客觀的に裁判官が判斷するのであつて、其判斷に當つては各場合の事情に照し法令、慣習、業務關係等に照して不法侵入、不法不退去なりや否やを判斷するのであつて、防衞行爲を爲したる者の一個の考へで決せらるべきものではない。從つて行爲者が自分の一存で、獨り合點で『故ナク』と考へて輕く殺傷を行ふたとすれば、裁判官の認定の如何によりては罪を免れぬ場合があることを銘記せねばならぬ。

電信電話の民營捗らず
遞信省の調査
一般から注目さる

【東京電話】電話電信の民營問題は遞信省が前日にかけて實現すべく同省內に臨時電信電話調査會を設置し八月中には調査を完了し具體案を發表する事を聲明し首腦部では同會に具體案の作成を急がせてみたが未だに作成を見ず遞信省首腦部の態度は一般から注目されてゐる

夜間金庫成績
――京城府の八月分

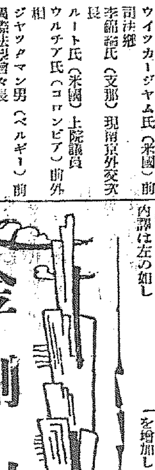
八月廿七日より卅一日まで五日間施行の京城府夜間金庫成績は本町一丁目外七ケ所に於て納税件數合計一千八百七十九件でこの金額は一萬八百十二圓九十八錢である。これを前年同月に比し件數において（千七十四件）金額において三千三百六十六圓七十九錢の減少を示してゐるが、これは期日中二日間雨天であつたに因る。その內譯は左の如し

場所	件數	金額
本町一	二〇七	七三一、七〇
本町五	一四五	三、八〇七、三三
黄金三	一六六	一〇四、一九
鍾路四	三三五	二、四八六、七六
鍾路二	一五六	三、六〇一、一〇
積善洞	一一四	三八六、七一
西大門	二〇七	七六六、二九
青葉町	七	三二、一三

約束郵便引受狀況

七月中京城郵便局取扱にかゝる約束郵便物の引受數は七十一萬七千七百七十二通にしてこを前年同期に比すれば一萬四千八百七十六通を增加してゐる

金剛山（82）
前田寛



探勝路詳細

其三　萬瀑洞溪谷（三）

表訓寺は萬瀑江下流の溪谷に臨み、背後に五點峰が森林上に聳え、これに對して青鶴峰が高く峙つて立してゐる。これ等附近の山嶺は奇峰なりといへども、二千尺の前後にして余り高からず、一方溪流を隔てゝ前方遙に望むとき羅漢、石馬、遮日などの高峰が屹立し、天空に聳きの感がある。本堂を般若寶殿といふ。往昔は、殿內に假山を設け、金剛山に象つて山巓に一殿を設け、法起菩薩を祠つてゐた。今は殿內に假山はなく、丈余の法起菩薩の立像を安置してゐる。その顏は、東に向つて、殿は南面してゐる。この境內を行舟に擬して、佛像は船首に向つて立つものゝ如くしたのであるといふ。樓の東、僧寮の後に高樓があつて扁額は凝霞館と書いてある。崇節祠を繞る僕になると、來遊の客がここにも又多いのである。般若寶殿の右側に古碑があつて元人梁載がならぶ所で、常住分類（？）般若寶殿の背後を刻してある、般若寶殿の背後に、一大銅瓶を藏してゐる。徑が三尺で深さもまた三尺あり。瓶底に銅製の巣のやうなものを設けてあつて總重量百斤である。佛に供する米飯を蒸するところの甑であるといふ。元の英宗及皇太后が寄捨した文書は、今なほ藏してあるさうだ。なほ又元の欧陽玄の撰文碑がある。

本寺は、新羅の文武王十年、今を距ること千二百數十年前に表訓大師の開基する所であつて、その禪師の名と關聯して表訓寺と呼ばれるやうになつたのである。李朝の世祖（明の英宗天順二年）寺を再建してその後再度修築し、李太王二十七年金華大師が之を修築した。現在の伽藍の規模は、而成長安寺より狹少で、裝飾もまた四大寺の末位にある。然るに東國名山記には、寺制壯麗であつて、長安寺に埒しいとあるのから推せば昔は大寺院であつたであらう事は確實である。

表訓寺でスタンプか印でも押して或は寺僧に一筆振つてもらひなどし、一通り殿堂の見物をしたならば、寫水を掬してのどをひやし、寺內の路をそのまゝ、五點峰の西にあたる金嶺をとつてのぼるのだ。こゝは路としては金剛山らしからぬ內地流の坂道で、木賊や、山葡萄や、萬壽落葉樹林の物さびてなつかしい土壤の山路約二十分にして、正陽寺に着く。可成長い同じやうな曲りくねつた林中道で、まだか〳〵と思はせるのであるが、休みなしで二十分から二十二分位もあれば、先づ間違ひなく正陽寺に着くのである。

こゝの總門を歇惺樓といひ有名な山門であつて、こゝから見る內金剛の大觀壯觀を味はふ事が出來るのである。山中の大觀は、こゝにに優るもの多しといへども、こゝも景を恣に味はしめるといふ點に到つては、一寸例がない。幼兒も此の感興に與り得るであらう。歇惺樓は、單に山を望むばかりでなく幾十となく（實は四十二峰）山の模型を一盤の上に配置して、その面に、一々山名を記して手前に一糸を垂らし、糸を模型と實體とに三つ相合する山は、卽ち模型の面に記した山であるやうな仕掛になつてゐる。たしかに內地のどこかにもあると思ふが、こゝは幾年の昔からかうしてあるのか、隨分古いやうで、中に余は機、試驗して見たところ、二三模型の山の位置が正しくないのがあつたから、直さうとしたが、しつかと下の板についてゐて、中々直らなかつた。こゝにある模型の峰名は、左の四十二峰であつて、この設備を指峰台といふ。左の山嶺は向つて左の方から順に擧げたものである。

須彌峰。永郎峰。毘盧峰。迦葉峰。上香城。下香城。七城峰。雲師峰。三霧峰。月出峰。日出峰。波崙峰。大香爐峰。小香爐峰。法起峰。下霜峰。五仙峰。上霜峰。青鶴峰。穴望峰。丞望。望高臺。石應峰。隱跡峰。松羅峰。白雲峰。露積峰。地藏峰。遮日峰。三人峰。牛頭峰。馬面峰。釋迦峰。開羅峰。白馬峰。十王峰。上觀音峰。中觀音峰。下觀音峰。長慶峰。千一臺。開山峰

寺內には僧の手すさみか、四五十錢で小さい一握りの木魚を賣つてゐる。それを叩いて響をききわけた上で喜んで買つてゆく人も多い。更角寺としては格好の思ひつきとて商賣大繁昌である。

四十歳以上の人に夕立の如く俄かに襲來する
中風　卒中　腦溢血

◎注意せよ！動脈硬化

昔から中風卒中とて、腦藥りの呪風に於けるが如く恐れらるゝ腦溢血、中風病者が年々非常に增加しつゝある發病者の中で、自分が中風に罹ることを豫知して居て發病する人は一人もない、皆なウカ〳〵して居て思ひがけなく不意にやられるのであるそれで恐き將來に、甚だしきは明日にも中風を發する人でありながら、未だ之れを夢にも知らずウカ〳〵と日を送つて居る人が、現在日本中に何の位多いか分らない、中風豫防の注意を喚ばずに居られませうか。

◎中風は完全に豫防し得らる

中風、卒中、腦溢血は豫防する方法のある病であるから此點に於ては安心である、現代生活は、昔の人よりも此病を發し易い原因が多くなつて居るから、誰でも四十の坂を越えると深く用心しなければならないが、別けても中風血統の人、多血性肥胖で所謂中風體質の人、平生酒煙草を多くのむ人、精神勞働の少しでもある人、頭を多く使ふ人は特に警戒を要する、又假令そうでない人でも往々逆上、眩暈、頭痛、耳鳴、眼火閃發、言語澁滯、手先の痺へ、シビレ等の前驅症に氣がついたら、發病に先手をうつて早く豫防法を實行しなければならぬ、此病の豫防法は、自分で極めて簡易に大した金もかゝらず直ぐできるのであるから、自分の厄おとしと思つて是非實行し、安全なる身体となられる樣、心から御勸告する次第であります。

◎中風は治る　再發すると命取り

腦卒中は醫師が馳つける間もなく頓死するが、慢性中風になると、日常懼ろる中幾らか輕快が緩慢になつて中日のくるものである、それで誰も油斷するが、油斷大敵とは卽ち此事、中風が二度目に起ると、最早恢復しがつかない。此の再發しない內に、手後れせず治療し宜しきを得ると、一時隨分重症であつた中風でも、スッカリ全治して愉快活動の人となり長壽の幸福を得て居る人が多いのは、中風が治ることを、何よりも心強く事實が證明して居る。

◎何うすれば一番よろしいか？

豫防の確實方法は…治療の最捷早道は…

中風を發したら、腦の中の脆い血管が綻びて出血部ができて居るから絕對安靜を必要とする、少しよくなつても、些しの刺戟も衝動をも避けなくてはならぬ大切の病體であるから、副作用ある化學藥は中風には大の禁物である、現代は尼所化學藥の弊が多いから是れだけは第一に注意して置く、治療法を誤まると、治る中風も治らず却つて病體を惡化する。此の重大なる中風治療法と豫防法に就て、十有餘年一日の如く不休的研究を完成した篤特の人として知られたるは、兵庫縣明石市の加古忠兵衛氏である、氏は卒中、腦溢血が頻りに國家の人材を奪ひ、一家柱石の人を倒し、國家は大損失を蒙むり一家は暗黑の悲運に陷るのを慨き、夙に中風救濟の大願を發し、多大の家產を研究費に投じ幾多專門大家の協力により、研究實驗に沒頭し、遂に世にも稀なる專門良藥レリーブ錠を完成し、中風卒中腦溢血が完全に豫防し得らるゝ途を開き、又既發患者は本劑により着々全治し健康を回復する人日に多數になり、識者の公認厚大なるより、醫學博士より推獎として贈呈せられ、殊に全國實驗界の感謝は本劑の名聲を日に高めつゝある。

◎治療と豫防に世にも稀なる卓效

レリーブ錠は、幾多の高價貴藥の合理的配合により、卓絕なる效力によつて、腦の發生部を回復治癒せしめ、腦神經組織を強固的に健康化し、全時に胃腸の働きを盛んにし、逆上をなさず、血液の循環をよくし、新陳代謝作用を強めて老廢物質や病毒を排泄して、血液を清淨にし血管硬化を若返らせ、血壓亢進を鎭め、腦充血の原因を一掃し根本的に全治するから、レリーブ錠を服用し始めると、中風の既發症狀は着々日增によく輕快に赴むき、腦中樞神經より全身の神經を健康に導びき、筋肉の働きを活潑自在ならしめ、腦力を增進して元氣を活潑ならしめ、身体が丈夫に力付いて、一時悲觀に陷つて居た患者さへ、メキ〳〵健康を回復することは、既に今日まで多數の事實の上に立證せられて居る、況して中風の豫防は一層確實容易で患者の同族者の如きも本劑を服用すれば、中風發病の危險を去り安全な健康体質となつて長壽福を得られる、化學藥の如き副作用なく又他藥と併用も差支なき最良藥である。

レリーブ錠　價　表

百十五錠入	金參圓五拾錢	[illegible]
二百三十錠入	金六圓五十錢	[illegible]
三百五十錠入	金九圓	[illegible]
六百錠入	金十四圓	[illegible]
壹千貳百錠入	金貳拾六圓	[illegible]

（一日三回一回四錠乃至五錠宛服用のこと）

尚ほ氏は、中風の豫防と治療に關する詳細の說明書を希望者へ無料で進呈する由、此の中には飲食物の選び方も其他必要有益のことが詳細にあつて、世間の賣藥說明書と選を異にし、氏の眞摯なる苦心研究の現はれで、假令レリーブ錠を服まない人でも一度は是非讀んで置くべきものであるから、ハガキに『京城日報紙上の中風說明書を送られよ』と書いて直ぐ御申込みなさい、注文も說明書の無料申込も兵庫縣明石市中町九番地加古忠兵衛氏（振替大阪一九二九一番）へ宛て直接に御申出しなさい）

アレ

皮膚に塗つて、よくお拭除下さい　效果はてきめんです。

全國有名の藥店にあり　藥店に無き時は本舖より直送　定價一壜　五十錢

○ミツワ雪の雫（みつわ・ゆきのしづく）

皮膚に塗つて、よく拭取れば、皮膚は艷麗に柔軟、且滑かに成り、荒れを防ぎ、治し、小皺を作らず、ニキビの原因を除く　理想的な芳香健膚劑

適應症候　皮膚を清潔ならしめ、皮膚乾燥、逆剝、表皮剝脫、龜裂、凍傷、火傷、乳汁の小傷、擦過傷、霜焼、脂痕、痤瘡、毛孔、濕疹、頷屑疹、粃糠疹、苔癬、白癬等に奏效

右醫用雪の雫と共に、本品化粧用雪の雫が有ります。皮膚を強健清潔ならしめ、乾燥、表皮剝脫、龜裂、凍傷を豫防し、皮膚を柔げ色艷をよくし肌理を細美ならしむる爲、專ら化粧用に適する樣に製造されて居ります。

化粧用○雪の雫　化粧品店　藥店　雜貨店にあります　定價一壜　五十錢

8.28

東京市下谷區 ○ミツワ石鹼本舖　丸見屋商店

鼻病

○ミツワ鼻病液（みつわ・はなのくすり）

鼻腔內分泌腺を調節し、且消炎作用あるを以て、鼻病に確實なる效ある

適應症候　鼻閉塞、鼻充血、鼻加答兒、鼻汁過多、鼻出血、臭鼻症、鼻粘膜爛腫

定價　四十錢

他に　ミツワ點眼液　ミツワ齒痛液

醫學博士　小宮動氏　監督

御申越次第送呈　ミツワ家庭藥三十二方を說明せる小冊子あり

取次販賣舖規定御申越次第送呈

脫毛

雲脂、脫毛の過多は速くお手當な

○ミツワ養毛液（みつわ・ぬけげどめ）

適應症候　雲脂の過多。痒み。脫毛の過多。若禿。毛髮の薄さ。傳染病の病後或ひは寄生物による脫毛。各種熱病、產前後、皮膚病或は精神過勞、其他の原因による脫毛、其他脫毛を防ぎ毛髮の發育を助く。

雲脂過多は脫毛の始めです。其中に本劑を用ひれば效果は一層です。本劑には本店特製のハプトール、芳香料、其他數種を含んで居ります

全國著名の藥店にあり　藥店に無き時は本舖より直送　定價一壜　六十錢

右ミツワ家庭藥中の養毛液と共に、左記頭髮用香水が有ります。毛髮の發育を助け雲脂を防ぎ、爽快な佳香は頭腦を清新ならしめます。

頭髮用香水　○ヘーアローション（ミツワ月の雫）

化粧品店　藥店　雜貨店にあり　大壜　一圓二十錢

思ひ出す事などの
—富田翁の逸話—
淺川伯教

懇念なことだと頭ひ夜中床の中で一心に祈つた處がぽつかり腹が立つてそのまゝ無事に光榮に浴しましたが今もつて何ともありません

と理解していんぎんに斷られた事もあつた。

朝鮮陶器は古來有名なものであるのでこれを振興しやうとして總督府に陶磁會社を起す計畫をした。そして材料の調査を依頼したところが朝鮮の材料の優れた材があるとの報告があつた。翁は喜んで土地の人たちと共同して會社を起し山を拂ひ下げた。いよ／＼開墾して行つて見ると山には木がない禿山であつた。翁曰く

朝鮮の磁器はとはなめらかの木も草もまだ生ひぬ山の事らしい

と苦笑した事がらつた。調査はアテにならぬ

『何とかして朝鮮の人たちに仕事を見つけてやりたい』これが翁の心願であつた。

朝鮮の田舍をまわつて眼につくものは大陸の極めて安價の一時的の品物である。かうしたものがどこからどこまでも入り込んでゐる

これ等は田舍の人たちの生活を慕ひにするものとはどうしても考へられない。人々の手は段々遊んで行く。内職的の仕事はジリ／＼となくなつて行く。農閑期に小錢をとる手内職を田舍人のために探してやる事は、どうしても考へなければならない。又この小さな事の幾個かが長い間には大きな芽をふくものだ。

一千年昔に唐へ行つた坊さんが持つて來た數個の茶の種が今では日本中で使用して三千萬圓も外國に賣り出す様に成つたやうなものでどこで何時芽をふくか知れない。今の朝鮮は失敗しても／＼色々の仕事の種を小出しにそこここに時いて見る時である。その失敗が土壌と成つて、どこでか芽を出す仕事を戰むや記錄として見るのは御役所であるが多に見れない、事の無い失敗を土臺として實際の仕事は築き上げられるものである。

富田さんは損をする仕事ばかり引き受ける富田さんの仕事は失敗が多いといふ事を耳にするが、これは考へやうである。内地でも一生藤翁のとをして殘した金で返つて刑事問題を引き起したり、僕に敗壊の材料を提供したりする例は少くない。かうした例については翁はよく知り拔いてをつて目醒しに數多の例をいつも話され。

私は後の者は後の者でよく働いて食べる様にと、これは常にいふて置きます

といふた。

慶尚北道
忍苦四年　今年は大豐作
二百十日も無事切り拔けて　農家は豐年踊に熱中

慶北本年の稻作は二百六十萬石收穫豫想といふ新記錄を作らんとしてゐる。二百十日も無事に通り拔けて農民は嬉喊躍揚早くも豐年踊りに熱中してゐる、又棉作も昨年實收九百二十萬斤に比し一千七百萬斤といふ實に十割近い增收大豆も六十五萬石昨年の三十九萬七千石に比し二十五萬三千石の增、粟も三十五萬石は動かぬと見られ昨年の二十八萬八千石に比してこれ又六萬二千石の增收豫想である、而も四年振りの豐作の事とて旱害から開放された農民の豐作踊り騒ぎ中も宜なる哉と首肯さる（大邱）

一、高靈里、潮問道路改修に補助金下附の件
一、羽珍、眞山面砂防工事實施の件
一、金泉大邱、星州大邱、若木大邱、倭舘金泉間に自動車運行及び增車方の件
一、大邱星州間に直通道路敷設、道路郡城西面多敷面間の架橋並に架橋の件
一、羽珍海中對境防波堤の件
一、羽珍郡鵲浦洞その他砂防工事の件

等この外大小實に數十によつてゐる（大邱）

大邱公會堂着工期　十月となる

大邱府公會堂は最初四百七十六坪の設計であつたが次第に擴張されて千坪の際建の堂々たるものとなり、中央三階の大ホールも總局百六十坪に落ついたが拙木府技師は東京に出張した序に各種方面を研究して歸ることゝなりその邊で最後の決定をして大邱府に廻附することゝなつたが着工期は十月に入るはず、工事竣成は來年の六月頃でこれによつて大邱府の表玄關の面目は一新され、幸町、旭町、中央通りの十二間道路と七星公園も相當の施設をなし多年の懸案も解決されることゝなつた（大邱）

復舊資金貸出開始

甘浦漁業組合の復舊借入金はすでに手續き終了し九月上旬中には漁業者の手に貸與される筈で組合では二十六日迄に金融の査定を終り二十九日から一部貸出しを開始したので各船舶所、鐵工所でも職人を增員し夜業作業を急ぎ先般の暴風被害後はじめて生氣ある景の賛がきこへて來た（大邱）

水道來突制　十月一日から實施

大邱府の新水道條例が認可となつていよ／＼十月一日からメートル法が實施されることゝなつたが久しく時間給水をしてゐた制限給水も、去六日ごろから漸く十日頃までには解除されることとなり配水池取水口を掃除中で今明日中には貯水池、配水池も滿水となり漸く十萬府民も水の受難から開放されることとなつた（大邱）

林知事陳情攻め　出張の行きさき／＼で

林知事は御報の如く堆肥增勵に各郡に出張してゐるが時節柄大衆救濟の問題など行く何と色んな理由で色んな陳情攻にあつてゐる、この内の四つ五つを拾つて見ると

一、慶州、達州間道路中若木面香峰間に施設設置方の件

桑の日

慶北道では來る『十日』を桑の日と定め道内一齊に除蟲、摘桁を行ふことになり一家總動員で郡面が主催となつて奬勵することになつた當日道からは林知事以下各部長各郡に總出動で監督するがこの日婦人が野に出てこれに從事すれば賞與として鎌、鋏、手拭等を渡す奬勵方法もある（大邱）

浦項の厄日

浦項の二百十日の天候は前夜來降雨北の風やゝ強く吹いたが稻作に被害なし但し三三日來天候不良のため一般に懸念されてゐる（浦項）

不景氣煙草に祟る

不景氣は農村をして益々その生活を脅かしてゐるが最近の現象として大豆の葉をほしてこれを刻煙草にまぜて喫煙するものが多くなつたことで金泉郡地方の農民に際に甚だしく同郡内は煙草の賣れ行きが半減したことによつて證明が出來各農家は何れも大豆類をほして貯藏してゐる（大邱）

棉作收穫豫想

本年の道内棉作は非常な良好で現在の處一千七百萬斤の收穫を豫想されてゐる（大邱）

補助金交附

慶北道地方費は九月一日付慶北教育會に對し二千百圓の補助金を交附した（大邱）

教員大異動

慶北道では九月一日から開校した府南、玉浦、月背、桃開、竹北、島川、丹村、昌谷の八普通校開校に伴ふ教員の大異動を同日付をもつて次の如く發表した（大邱）

新任地　舊任地　氏名

慶州女（普）河陽（普）金容在
殷豐（普）中牟（普）朴羽龍
府南（普）慈仁（同）趙錫國
玉浦（同）咸昌（同）金漢泳
月背（同）興陵（同）徐好明
桃開（同）海平（同）李甲絲
島川（同）長鬐（同）徐海旭
竹北（同）清河（同）李鍾冕
丹村（同）延浦（同）文得龍
昌谷（同）豐村（同）金甲龍
補（頭書の通り）公普訓導　高村立志
補浦項公普訓導　荏武八百二
補河陽公普訓導　松本正一郎
補靑松公普校長兼浦項公普訓導　池田勝四郎
補浦項公普訓導　大浦忠哉
補浦陽公普訓導　佐々木力男
補浦項公普訓導　山田香苗
補浦谷公普訓導　山溝時一郎
補河陽公普校長事務取扱を免ず　保利麟右
開設（同）興海（同）岡本武三郎
興海（同）浦項（同）增田勇二
浦項（同）甘浦（同）小林寬
化東（同）殷豐（小）矢倍喜久
補（頭書の通り）公普校長

黃海道
全延安來る　三チームと對戰

黃海道の延安方面の上原財務主任清水金組理事を中心とする全延安軟式野球チームは卅一日朝九時多數選手の出迎へ裡に着海直ちに試合場第一公普校球場に向つた金剛軍隊及軍延安の金海軍と立て續けに三試合を行ひ海州軍とは四對三金剛とは八A對三新館とは七A對三で取れた終つて官民合同の歡迎會に臨み午後九時半多數の見送りを受け萬歳裡に歸途に着いた（海州）

群山商議　時局收拾　府尹等内務部長と懇談

群山商議の評議員の辭職、赤松會頭の辭任等々揉める丈け揉めつくした群山商業會議所内訌問題もこの上揉める余地は無く今や時局收拾の時期でいよ／＼元老が乘り出したり九月一日には内務部の何等かの協調も出來たらしく前田府尹、松本市太郎、廣瀬議長の特別評議員上道し長時間に亙り安藤内務部長と懇談をとげたが何れも四評議員の補選を行ひ大谷藤十郎氏を推し、その上岡氏を會頭に推くべく下準備が進められてゐるらしく之れが爲め上道中であつたと見られてゐる＝渡氏は會頭に擬せられてゐる大澤氏（全州）

全羅北道
裡里公設球場愈よ設置に決す
期成會を組織し實現に向つて邁進

裡里公設グラウンド設置問題は裡里未來の宿題であつたが機たまたま熟し、益山面主催となつて去る二十八日午後一時より公會堂にて官民有志會同しこれが協議をなしたが滿場一致設置を決議し期成會を組織する事となり高山面長を會長に副會長は吉田竹次郎辻田好助二氏を擧げ評議員は會長指名となり十七名推されいよ／＼これが實行に移るとになつた（裡里）

造林品評會　十一月開催

全羅北道森林組合では來る十一月中旬頃に全州、益山、沃溝の聯合造林品評會を開催の筈であるが出品は各郡十萬點乃至四十萬點で出品切は九月十日迄であると、出品規定左の如し（全州）

一、人工造林　新植後五ヶ年以上で一團地一町步以上のもの
一、育林　成林後五ヶ年以上で五ヶ年以上のもの

全州から

◇繭原製糸が井邑の大塚製糸買收問題から端を發して、植田道蠶業技手が昨年十一月の桑苗買入れに際し、一本一錢七八厘のものを二錢八厘にして五十萬本をせしめたと風評があるといふことを新聞に書き立てたので、永々しい辯明が又その新聞に出た

◇新聞の風評と本人の辯明で眞疑の程は判らぬ。まるで新聞が公衆の前で訊問してゐる傑だ、辯解はどうしたのか

◇鐵道局のトラック直營問題で全北自動車協會が反對決議をして陳情するらしいが、全州におけるトラック營業は一店であるのに何で協會が動くかと思つたら將來旅客も運送しはせぬかといふ心配からだそうだ

◇然し如何せん、民衆は鐵道局直營を歡迎してゐる。どうしてだらうといふ考へは經營者には判らんかな

◇全州トラック會社ではこの問題が京城行の者に運動費を出して陳情して貰つたといふ風評があつたかと思ふと今度は又別にそんな者がこんな用事で訪問するから用心しなさいと戶田理事宛手紙を出すものもあつたとかで群山の様に表立たぬまでで全州もドウシテ／＼

裡里から

◇益山面從來の希望であつた公設グラウンド設置問題は鐵道對實業の偉勢が動機となつて意外の進展を見せた。

◇直ちに今日に立つ様な繁榮は思はれんが、裡里未來の地理的な天惠を利用した暁で將來の發展に資するは疑はれない。

◇然し事をはじめるに當つては充分細心な注意を拂はぬと思はれぬ所にケチのつくものだ。期成會評議員の顏觸れ等も一寸した事ではあるが簡單じゃない。基礎工事が大切だ。

厄日無事

全州附近の二百十日は未明より午後に入りても雨降り續き終日晴れ間を見せなかつたが風はなく無事平穩であつた（全州）

生薑產業組合設立

全北參禮面鳳東里は由來生薑の產地として知られ各地に移出し全北唯一の特產品となり年產十萬圓を擧げてゐるが、同地方では斯業發展のため產業組合設立の計畫をなし今回その筋に對し認可の申請をなした（全州）

辭令（一日附）

總督府屬　竹内貫一郎
任總督府道屬　給四級俸　財務部財務課長を命ず
總督府屬　菅原俊治郎
任總督府道屬　給四級俸　群山府財務係主任を命ず
總督府郡屬　坂井補
總督府郡屬　寺崎鐵次郎
南原郡財務係主任を命ず
總督府郡屬　松本墨三次
長水郡財務係主任を命ず
任道書記　給十一級俸　茂朱郡在勤を命ず　井上恒藏
命益山金融組合理事

乎果氏送別句會　全北

理財課長であつた井上恒藏氏（俳號乎果）は今度退官して益山金融組合理事に轉出する事になつたので多年全州句界に貢獻多かつた同氏夫妻の爲、全州同好の士は一日泉園にて送別句會を開催した

咸鏡南道
鰮の秋漁は豐漁と豫想さる
近く大群來らん　試驗船北鬪丸の齎した情報

咸南道水產試驗船北鬪丸は鰮漁試驗を終了して二十八日元山に歸航したが同船の報告によると鰮は外洋に回游し去つたので鰮がおよそ終熄したが之れと共に鰮群の回游もまた最近著しく稀薄となり多少でもかたまつた魚群は二十五海里沖合までには見はずこれは潮流の變化によつたもので目下水温は二十三四度を示してゐるがやがて北海流が勢力を增し十八九度に下降して鰮に適温となるのでこの時分から濃厚な大群が現はれるものと見られてゐるなほ北鬪丸の調査によると昨年度夏鰯漁の變化期に際し鰮群の回游は全く皆無であるに反し本年は稀薄ながらこの時期において回游を見る處から推すと本年の秋漁は大豐漁であらうと觀測してゐる（元山）

鮮銀券偽造犯人逮捕

先月以來偽造の朝鮮銀行券およびに十錢銀貨が元山府内や德源郡内各所から發見されその筋の嚴重な搜査も今日まで何等得る處がなかつたが元山署では行使犯人が必ず管内に潛伏してゐるとみて極力犯人の搜査中の處苦心が報ひられて眞犯人を逮捕するに至つた犯人は德源郡豐上面馬息里に居住する金鶴述（三〇）といひさきに城津警察署で逮捕された韓鶴國（三〇）と共謀の上先月二十二日ごろ前記金鶴述方農突の間で五圓紙幣を百枚偽造し二人で等分してゐたもので金は德源の鮮偽造鮮銀券五圓券十一枚を所持してゐた（元山）

咸南雜俎

◇本月中に内地から二つの觀察團が元山を訪れることになつてゐるその一つは東京海外協會中央會主催の各府縣支部の幹部からなる朝鮮視察團で京城視察後京から内地に入り外金剛を觀察の上十九日溫井里から來元一泊翌朝出發他の一つは山口縣萩町の產業視察團一行が去る二十日同町出發元山に來るが其觀察團である

◇二十日の元山附近は明來秋空一碧一點の雲もなく至極平穩無事

◇廿九日午後十一時頃咸南惠山鎭王園埠方位郎から出火し附近二戶全焼、一戶半焼、四戶破壞約二時間にして鎭火した損害約二萬圓

◇喧嘩して負けた悔しさに元山府橋洞崔蓮洙（三〇）は三十一日夜十一時半頃海岸通りの大棧橋から投身自殺を圖りどぶんと飛び込んだ處を水上署の巡査に發見救助されて大目玉

◇震火災の追悼新たなる九月一日午前九時半咸興では修養團支部主催に婦人相互修養會主催、大和町咸興内に市民總立呼起會を催した。會衆四百五十名、國民警醒に次いで松井用事の震災回顧、國民精神作興、震災中心主義講演あり午後八時から記念會演習を開いた

◇一日の關東震災記念日に際し元山禁酒同盟では市内目抜きの場所に「酒は散から」「禁酒斷行」のビラを貼付し大に禁酒宣傳を行つた

◇咸興體育協會では來る七日午前十一時から咸興鐵道球場に於て全咸南大野大會を開催する

運轉手試驗

咸南道では九月廿二日より自動車運轉手試驗を施行することゝなつたが志願者は

慶尚南道
公設市場の豆腐は一丁四錢
緊縮生活に順應して　日用食糧品値下げ

本年に入つてから數回にわたつて日用食糧品の値下げを斷行して市價をリードしてゐる釜山富平町の公設市場では九月一日から市内當業者の思惑如何に頓着せず▲豆腐一丁五錢を四錢▲鷄肉上（百瓦）十八錢を十七錢▲同並（百瓦）十六錢を十五錢▲燒豆腐一丁六錢を五錢▲油揚二枚六錢を五錢に引下げ緊縮生活に適應した社會奉仕につとめることゝなつた（釜山）

元山地方大豆豐作　平年作に比し二割增收

元山附近における本年の大豆作は過般の大暴風にて莫大な損害を蒙り凶作を傳へられたに反しその後の氣温順調に照り込みも十二分であつたため生育綠の外良好となり草丈も前年以上に伸び葉の數も稍に見る多餘を着け近年になき收穫を豫想されてゐるが平年に比し二割方の豐作は大丈夫といはれてゐる尤も本年產の大豆は一莢に四粒は入つてゐる（例年は三粒）關係上一般に小粒ものであることは免れず一等及特等品は得られまいが收穫高において優にこの補缺をなすことが出來やうと當事者は語つてゐるなほ本年產大豆の元山出廻豫想數は三十萬叺を突破するものと見られてゐる（元山）

朝鮮特產見本市　九州の代表都市で開催

道内物產の販路擴張に努力してゐる慶南では今秋十一月頃内地九州方面の重要都市にて著名物產の見本市を開催する計畫を進めてゐたが豫定を變更して本府の同樣計畫と合體して福岡、長崎、熊本、鹿兒島の四代表都市にて約二日間宛十一月初旬朝鮮物產見本市を開催することとなり大々的に朝鮮特產品の紹介宣傳を行ふ意氣込みにて準備中である、慶南出品の重な物產は米、大豆、櫻干、竹輪、蒲干、魚介、鯛浦、明太、梨、螺鈿漆器、陶器、木器等水陸產の代表特產品を網羅しこれによつて慶南物產の内地進出を期待してゐる（釜山）

復興起債の認可を待つ　盛漁期を前にして

釜山漁業組合ほか西漁業組合にて認可申請中である風水害復興資金の起債六萬一千圓は既報の如く慶南道を經て本府へ申達し大體の諒解を得たものゝ如くであるが前記起債によつて遭難者くは購入され八隻殘余は船艤にてその他破損修理方四十六隻をも包含してをり合計百四十隻の漁船が起債によつて復活される計畫である、然し今の漁業はすでに秋の盛漁期に入らんとしてゐるに拘らず未だ起債認可の指令もなく一日も遲延すればそれだけ當業者の苦痛は甚だしく各漁業組合では好漁期を前にして拱手傍觀しながら認可の好報を待ちわびてゐる有樣である（釜山）

異動

慶南では八月三十一日附をもつて左の通り教職員の異動を發表した（釜山）

新任地　舊任地　氏名

三浪津普訓　統營普訓　韓重鎭
咸陽普訓　靈山普　崔道甲
二班城普訓　普州普訓　金世永
郡北普　崔元根
西上普訓　巨濟普　張乙文
咸陽普訓　德頭小長　水野常太郎
德頭小長　馬山小訓　三浦昇
盛山普訓　草溪普訓　戶田透
大峴普訓　西生普訓　吳永田
武安普訓　馬山普訓　崔載洙
南下普訓　今西普訓　金琮鉉
鎭海普訓　釜山普訓　竹内俊夫
晉州第二普　同　灰田啟三
郡北普訓　同　山口英夫
巨濟普訓　同　河村久三
方魚津小訓　同　椎間能次
馬山小訓　同　三宅茂穂
草溪普訓　昌寧普　神山喜一
鎭海普訓　同　金末俊
西生普訓　同　裵錫夢致
釜南下普長　同　梯島鶴雄
釜師範教諭　森下勘次郎
宜柳普訓　武安普訓　金永駿
兼工補長　同　木島信雄

▲退官職者　三浪津普訓韓重源、咸陽普訓金容毛、二班城普訓李永順、河上普訓金國錦、咸陽普訓小林正良、大邱普訓鄭興善、晉州普訓河應權、富民普訓劉錫媛

明年度豫算四苦八苦　編成按配を如何にする

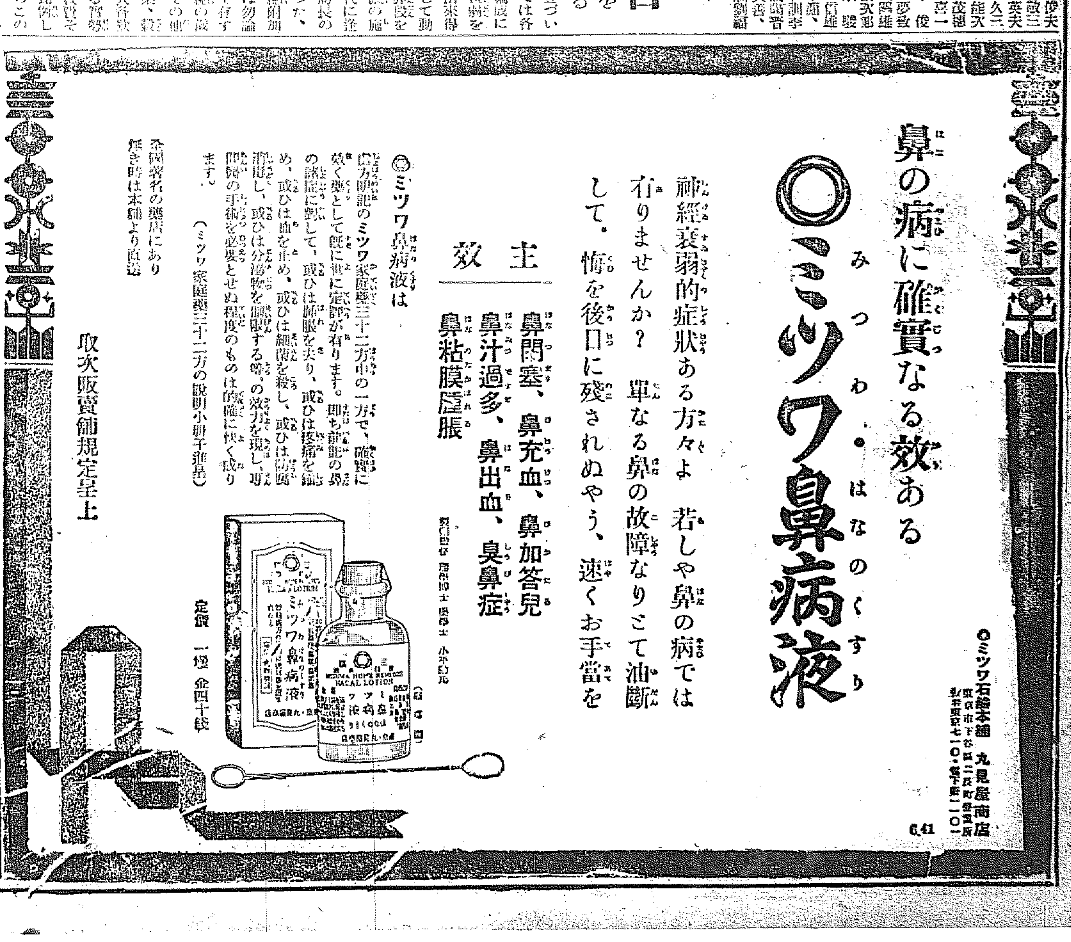
漸く明年度豫算の編成期も近づいて來たので慶南道當局に於ては各課にてそれぞれ要求豫算の編成に準備中であるが由來財源が貧弱をきはめて彈力性が無い處へ出來得る限りの緊縮政策を方針として動きがとれぬまでにやり繰り算段を續けて來た關係上地方費歲入の施設は年々次のやうな大不況時代に逢着して谷知事以下官内務局長の手腕にまつ處頗る多大となつた、地方費歲入の中樞をなる地租附加稅および戶稅の收入增加率は勿論產業の好不況と密接な關係を有する漁業稅、漁業仲轉倉稅の減入減は免れぬところでありその他產業關係の施設にかゝる譯業、鑛物檢査手數料も減收となり歲入減項目を通じ浙少の連鎖となる筈であるから明年度豫算は收稅並その他の歲出が增加するに反比例して歲入減を來たしてゐるからこの歲の編成按配を如何に建議するかが興味のつながる問題であつて年度の緊縮豫算三百四十二萬圓と同程度で終始すればまづ結構とせねばなるまいと看られてゐる

江原道
北部五郡庭球大會　來る七日鐵原で開催

鐵原體育協會主催で來る七日（日曜日）午前九時から江原道北部五郡のテニス大會を金電コートにおいて開催し優勝旗の爭奪戰を行ふ事になつた參加希望者は六日までに會名および氏名を鐵原殖産銀行永井氏又は金剛山電鐵永山氏宛に申込れたいと（鐵原）

忠清南道
大田論山線道路改修起工式
一日盛大に擧行

多年の懸案であつた大田論山間三等道路の改修工事は漸く擴張完了し總工費二萬八千七百圓で大田須々木組に落札したが同工事は唯一の產業道路として兩部とも緊急を要する爲め直に八月十一日着手したが一日の吉辰を卜して午後二時柳川面柳等橋東方で起工式を擧行した鄭忠南知事、守山土木課長の臨席と請負人須々木氏、大田官民有志關係各面長新聞記者等多數列席の下に執行終つて大田松翁に於て祝宴を張つた尚郡守の挨拶鄭知事の謝辭あり主客十二分の歡を盡して散會した改修すべき道路工事は延長一萬六千四百九十四米（四里七町）四、五米（二間半）橋梁五箇所（柳等橋、第一第二豆溪橋は清水橋佳水院橋、西河橋は鐵筋コンクリート橋）暗橋二箇所水拔三五箇所、岩石堀に土砂切取り等で道路改修は約二萬七千九の夫役を以てし明年三月三十一日竣工の豫定である（大田）



京城通信　筆を斷つ

京城　一記者

本欄は本日を以て發展解消とする。記者の本懐によりて幾日か續いて、文致にも聊か馬齢が甚しく大いに誤りて來た何ごとも悟らざるの感なきに非ずであるが、自然は春を見捨て夏を迎へ今や夏を見送らねばならぬ時節にある。秋來ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる——颯々たる秋風は面を吹いて乾坤の一轉を顯示してやまぬ。記者もまたこゝに一たん筆を投じて他におもんばかるところあらんとする。

×

文章を以て用身したるものは文章により倒るゝ。また倒るゝまで突進しなければならない。されば記者といへどもこゝに筆をおこすかも知れぬ。直ちに筆を斷つて後は輾々たるも携ふるは是非一筆のみ。よかれ惡しかれ記者はこれに頼らざるを得ぬのだ。從つて記者のこゝに筆を斷つこと春去りて秋來ると同じいが更に秋去りて春を迎へば暗青の筆は再び浣はれねばなるまい。こゝには只本欄の閉鎖を辯言する耳（九、二）

平安南道

學童を通じ家庭へ國勢調査　四年以上の受持教員を集め平壤府の打合せ會

平壤府では來る十月一日の國勢調査に就て去る廿八日調査員百八十九名、國勢補員三十七名、計二百二十六名に對する諸般準備を行つたが更に『學童を通じて家庭へ』の國勢調査宣傳を行ふべく九月一日午前九時から公會堂において府内初等學校四年生受持以上の各學校教員百二十餘名の打合會を開いた大島府尹の挨拶があつて國勢調査に關する種々な印刷物を配布され打合せを爲し正午休憩晝食の上午後一時再會、主務者たる土井内務課長の講話があり一同は公會堂下の山手町、寺町に就て各戸毎の國勢調査試驗調査を行ひ直ちに公會堂へ歸りこの試驗調査に就ての講評を受け土井内務課長の講評に次いで質疑應答あり午後七時散會した又同調査員の打合會は二、三、四、五の四日間に亘り毎日午前九時から午後四時迄公會堂において毎日五十餘名宛出席の上行ひ更に十一、十二兩日公會堂において一般打合會を開く筈である（平壤）

七日は旗行列　五萬五千の旗を配布

來る十月一日の國勢調査に就て平安南道では着々と準備を進めつゝあるが來る七日の國勢調査旗行列を行ふべく五萬五千枚の國勢調査旗をこのほど夫々發送した又この旗行列日から十月一日まで道内約三百臺の自動車の運轉手臺の前に前記の國勢調査旗を掲げて國勢宣傳に努め更に平壤飛行隊へ依頼して來る廿四、五日頃平壤府鎭南浦府をはじめ道内主要都市の上空から十四、五萬枚の國勢宣傳ビラをまき散らすべく準備を進めてゐる、なほ國勢調査は來る廿一日より開始廿四日終了、廿五、六兩日補査本調査用紙は廿六日頃一齊に配附される筈（平壤）

牡丹臺公園の充實

平壤牡丹臺公園は四季のながめ共に天下の名勝として稱へられてゐるが平壤府當局では來年度において公設グラウンド併設の附近一帶の花畑、動物園等に手入れを行ひ動物園の充實、花畑の美化をなすと共に公設グラウンドが種々の競技に使用される日はもとより平常の日でも人出の多い時季には撒水によつて客の需めに應じて安適な靜寂を齎らしめんと計畫を進めてゐる牡丹臺公園樂園附近に杖をひく遊覽者は四季絶へぬが新春から晩秋にかけての遊覽者はおびただしい數に上つてゐる、これ等の人々は辨當持參で出掛ければ一片のパンを需めるにも相當足を運ばねばならず實現すれば大變便利になる（平壤）

十圓僞造紙幣發見

平壤隆路里中島事務所から大同金融組合へ預金に行つた金の中から巧妙に描かれた十圓僞造紙幣を一枚發見し平壤署へ屆出で右の紙幣は手數料として中島事務所で徴收したもので平壤署で犯人捜査中である（平壤）

寄附金詐欺

晉州郡生れ明科四田城七太郎（四二）同共犯者城春次（四七）の兩名は府内岩町國務寺の釣鐘を鑄造すると府内を戸別に數十軒訪問し寄附金を詐取したこと發覺し平壤署で取調べ中であつたが一日檢事局送りとなつた（平壤）

合財袋

◇…社會事業に九十一、二の兩日六百餘人集された、生れてから汽車や電車飛行機を見たことのない補助道出身の者十九名は一日は刑務所、高射砲隊、飛行隊、電興會社、工場、明糖會社工場を見學なした

◇…八月中における平壤府管内入者數は十萬二十一人、同何物購入者は六百九十五人

◇…平壤測候所では一日の二百十日に就て南鮮地方では多少雨の降つた地方もあつたが西鮮地方には雨も風もなく全く平穩な二百十日であつたと語つてゐた

◇…京城生れ李興福（一〇）外三名の不良少年は共謀して平壤新義州の外平安南北道地で數十件の竊盜を働き一日平壤署に檢擧された

◇…酒造金千代釀造元平壤酒造合名會社では來る七日道及び府當局、金千代會員其他多數を招待し晩酌會を催す

京畿道

仁川の貿易地帶　新驛前防波堤内側の海面埋立に決せん

仁川沿岸貿易地帶の擴張については過般來、府において會議所、築港關係者と協議し研究を重ねた結果京城入口より第二棧橋に至る水面埋立案を完成したがその後新驛前の防波堤内側に面積九千四百六十八坪の海面埋立を爲すを適當と認め二日設計を完了した總工費十六萬圓で内國庫補助八萬圓地方費補助四萬圓を近くそれぞれ申請するに至るだらうと見られてゐる（仁川）

下旬米豆移出入高

八月下旬の仁川港米豆移出入高は移出米一萬三千百六十一石、大豆四千七百三石、移入米百八十六萬千七百斤、前年同期に比し移出米五千百餘石の激增を示したが移入米は百五十四萬千餘斤の激減である、しかして一月以降累計は左の如し（仁川）

	本年累計	前年累計
移出	四一〇、〇〇一石	三一七、一五三石
移入	二〇三、〇四四	[illegible]

會費問題説明

仁川勞工協會の會費問題について京城總領事は一日午後一時來仁午後二時中華會館に中華商會幹部、勞工協會員を召集し同會の會費問題について説明する所があつたかなりの紛糾を起した模樣である京城領事館主事並京城商工會議所氏外一名も來仁、駐在し外交

移出牛

八月中における仁川移出牛總數は三百六十七頭、價格三萬千七十八圓である、同入所數は六百三十六頭である、移出數の仕向地別左の如し（仁川）

▲香川縣一九六▲山口縣四二▲大阪府四〇▲岡山縣四九▲新潟縣二〇

仁川倶樂部例會

仁川倶樂部では來る七日午後六時半から仁川公會堂で新任仁川府總務主任淺野翻三郎、殖銀支店次席樋口清禪兩氏の歡迎を兼ね例會を開く（仁川）

咸鏡北道

北鮮醬油　重役總辭職　總會お流れ

北鮮醬油株式會社臨時株主總會は三十日午後二時三十分より商工會議所において開催議案は

▲新設社長、專務選任につき承認の件

▲取締役、監査役補缺選擧の件

▲社長選擧の件

の三案を議する事となつてゐたが社長、專務の辭任は財産目録、貸借對照表、營業報告書の提出がないので株主側で承認せず重役と株主の間に險惡な空氣が場内に漲つたが株主側と重役側の折衝によつてどうやらこの場は治まり結局野口監査役の辭表提出となりなほ山本、岡本、宮增の三取締役も辭意を表明しこゝに重役辭職を見たので議案を一括撤回し、なほ前總會において決議された、減資整理案も取消となり折角の臨時總會も不備の點だらけで散々の醜態を出し結局更に臨時總會を召集し社長、常務其他各重役の總選擧を行ふ事に決しそれまでは各重役の辭表は保留するといふ事になつた、次回の臨時株主總會は十五日頃の豫定であるが一般から注視されてゐる（羅南）

運轉手協會　支部發會式

全鮮自動車運轉手協會咸北支部發會式は三十一日午後五時三十分から廣々旅館において開催來賓として下村外務部長、黑澤保安課長、矢島會計課長、岡本北鮮日報社長、三上北鮮日々新聞社長、青木面長、相澤消防組頭、在羅新聞記者及び淸津驛から數田松本組主任、諸田淸津タクシー商會主其他地方からも多數列席し一同着席するや青府支部長開會の辭を述べそれより協會設立の經過報告をなし田中會長の祝詞を代讀し來賓を代表して青木面長祝辭を述べこれに對し會員より答辭があり、こゝに目出度式を了した、それより酒宴に移り内鮮美妓十數名酒間を斡旋し盛會裡に午後七時三十分散會した（羅南）

全羅南道

光州商工會　總會開催　會長には魚谷氏當選

光州商工會では二十九日午後八時から本町東雲食堂で總會開催魚谷興藏氏議長席につき規約原案を附議し相馬與作氏の動議にて規約第十條議員定數十二名を十四名に改め特別議員二名以上とあるを三名に限定すべく多數にて修正し次で議員選擧に移り左記十四名を選出した

山川秀司、宮崎榮三、魚谷興藏、國谷重次郎、岩男廣、内山軍夫、隈野秀三、森安藤六、相馬與作、增田定吉、石井萬三郎、下山嘉次、品田會市、道是與總督社

次で三十日午後八時から光州日報社樓上に議員會を開き左の如く正副會長および常議員を選擧更に特別議員を推薦した（光州）

會長　魚谷興藏、副會長下山嘉次、常議員隈野秀三、宮崎榮三　特別議員　殖産銀行光州支店、湖南銀行、光州酒造會社

府面吏員講習所開所式

全羅南道においては一日から開講した府面吏員講習所開所式は同日午前九時講師及講習生一同列席し馬野知事の訓示講習所長たる松本内務部長の開所訓示あり閉所後は學科の外毎週火木土の三日間光州師範學校において國民禮節及修養講話を行ふことゝなつてゐるなほ今回入所を命ぜられた者は府郡島から推薦したものゝ中を道地方課において選抜したもので左の六十名である（光州）

▲光州郡瑞坊面趙吉用、大村面興頭、光州面鄭友永

▲潭陽郡潭陽面呉煥、昇平面朴在圭

▲谷城郡三岐面梁海出、竹谷面趙在基

▲求禮郡外山面金重勳、龍方面李鍾旭

▲光陽郡光陽面白景勳、津月面崔曙璟

▲麗水郡麗水面金周禎、突山面許

相面

▲順天郡海龍面理東里、順天面朴來春

▲高興郡浦頭面林春鉉、高興面金在浩、外西面徐秀和

▲寶城郡會泉面金永彩、鳥城面曹圭洪

▲和順郡同福面崔在球、道谷面金東勳、門南面金賢均

▲長興郡長興面殷亨淳、古邑面金鍾夏

▲康津郡七良面姿大一、古郡面千甲治

▲海南郡門内面金益坤、玉泉面申植垣

▲靈岩郡新北面柳寅興、始終面李辭順

▲務安郡朴谷面丁昌鉉、安佐面鄭文煥

府尹郡島司會議

全羅南道府尹郡守島司會議は三日から三日間武德殿において開催される會議日程は左の通りである（光州）

▲第一日三日（水）道知事訓示及指示事項

▲第二日四日（木）諮問事項及協議事項

▲第三日五日（金）提出意見處理

地方人事

▲南宮營氏（慶南産業部長）三十一日夜京城へ九日歸任の筈

▲弘中良一氏（釜山弘中商會主）一日夕内地より歸來

▲荻原八十盛氏（慶南高等課長）地方出張中の處二十八日夜歸任

▲永井照雄氏（地方課長）三十日密陽、昌寧に出張二日歸任

▲水野保氏（大邱憲兵分隊長）北鮮地方視察のため四日赴、十二日歸邱の豫定

▲岩井博士（總督府）一日大邱へ

▲重松久治氏（仁川法院監督書記）戸籍事務視察のため富川、金浦兩郡に出張中一日歸仁

▲後藤佐吉氏（平南道土木課技師）新任挨拶のため一日府内各方面歴訪

▲上田謙吉氏（前平壤府庶務課長）三日出發歸國

▲石川平北道知事　三日發上流地方へ出張

▲佐伯平北警察部長　同上

▲伊藤平北外務課長　同上

▲井上安東地方事務所長　大連出張中の處廿一日夜歸安

▲石戸平北知事　三日發上流へ出張

水利組合の素描（十七）

北鮮美人と　安い工事費が特長　——咸南の巻（その一）

朝鮮では南男北女といふ言葉がある。男の出世するものは多く南鮮のものであり、女の玉の輿に乘るものは北鮮の女が多かつたからださうである。玉の輿に乘るには美貌の女でなくてはかなはない。從つて北女とは北鮮に美人が多いことを意味する。實際北鮮を旅行して見ると、小山田の畔りに田草採てゐる早乙女に田舍で一生を埋れ木とするには惜い美貌の持主を發見することが多い。都に出してみがいたら……とつくぐ\感ずることも一再でない。だが北鮮に何ぜに美人が多いか、それにはいろいろの理窟がつくらしい。或人は、氣候のせいだともいつた。水がいゝとも聞かされた。そうしたことも理由の一つであるかも知れない。民族の雜婚によつて、血が交るところに美人が生れるとも聞いた。これも真んとうらしい。何故ならば内地でも大和民族と蝦夷族の血が交つた東北から北國にかけて、乃至は出雲族と接觸する地方に容姿端正の男女が多く見受けられるではないか。原敬しかり、後藤新平しかり、齋藤總督だつて滿更でない顏立ちだ。新潟から秋田にかけての美人に至つてはその尤なるものである。

この意味において北鮮の美人は北方の女眞族その他の絶へまなき來襲にあつて血を混ずるに至つたといふ惡き事實の所産であるかも知れない。平壤だつてそうだ。漢民族や滿民族乃至は滿洲族の血が混じてゐないと誰が言ひ得る。要するにそのかみの悲しき事實が今はあでやかな嬉しい存在になるなど世の中の變遷は奇妙なものだ。だが水利事業の研究が美人の詮議からはじまつちやちと變なものだ。北鮮美人と水利事業と何の關係があるかと四角張つて正面から開き直られたら困る。只スケッチには一に縁となり話となる部分が多いやうな氣がすることだけを寄へてみたゞけのことである。

北鮮の男は李朝時代には朝堂に用ひられなかつた。そして外敵に常に脅かされ勝であつた。しかも李朝はこの北鮮に對して全く城外の民として繼子扱ひをなしてゐた。即ち、黄海岸なる平北義州から咸南定平の都連浦に至る萬餘數百里に亘つて半島を横斷する一大城壁を作らせ、これは朝鮮の萬里の長城ともいふべきでこれによつて押寄せて來る外敵を喰ひ止めた。この城壁外にある大森林は敵の來襲に際して放火し全軍を燒き殺すために存置したとさへ稱せられてゐる。從つて、この城外は荒され放題で、この地方の開發など全く中央政府の眼中になかつた。こうした政府の政策の上に空氣が險しいので人々は非常に稀薄であつた。住む人の數は少かつたがそれでも頑張つてゐるものは非常に逞いものであつた。中央政府にあつて位階顯達を進められるなど望むところでない。困苦缺乏にたへてあくまでもねばり氣のある精悍の氣風が血の中に脈打つた。この血は今にもつて北鮮人の胸底に高鳴つてゐる。從つてこれが過つて濫すると、亂を起すこともなるが、指導よろしきを得れば又産業上に一大躍進の原動力となり得る可能性がある。北鮮の水利事業はこの困苦缺乏に耐へる金剛心に培養されてこそはじめて燦爛たる輝きを見せるであらう。

咸鏡南道は日本海に沿ふて海岸線百三十九里、總面積からいへば二千七十三方里といふ朝鮮一の尨大な地域を擁する。白頭山が本道の西北隅に屹立してその金脈が咸北との道境を東南に走り一つは摩天嶺となつて海に入り、更に一つは中途から分れて咸鏡南道、江原道の境に錦嶺、黄龍山となつて南方に向ふ、從つて北部西部の一帶は高峻各處に聳ゆ。高原地帶となるが東部海岸には平野が少くない。即ち、咸興、永興、安邊、洪原、北靑、端川等には各々數マイルに亘る沃野がある。が就中咸興平野は平北、黄海につぐ朝鮮内屈指の大平野でその面積二十八方里と稱せられる。かくて咸南の水利事業はこの咸興平野を中心にして進行するのである。

しかし何といつても大體論からすれば咸南は未開發の國である。二千萬里もあるやうな尨大な面積をもつてゐながら耕地の面積は沓が四萬八千六百町歩、田が三十七萬九千町、合計四十萬七千町歩だけが開發されてゐるだけであとは山林原野である。それも毎年耕地の面積は増加して行く。最近の統計によると年々増加する面積は沓が一千六百町歩乃至二千町歩田が二萬町歩内外である。朝鮮内でも耕地がこんなに急激に增加しつゝある地方は少い。この點から見れば今までの開發が如何に後れてゐたかゞ想像出來ると同時に今後の躍進の素晴らしさも期待が出來る。それでも大部分は畑地であつて水田になるところは割合少いことはいなみがたい事實であらう。

咸南道當局は産米增殖計畫に順應して、昭和二年から十二年間に四萬一千町歩の灌漑改善事業に地目變換を以つて管内水利事業の目標として、この内譯を見ると二百町歩以上の計畫が二十一ヶ所でこの面積二萬六千八百九十二町歩、二百町歩以下小地區が六十二ヶ所で面積は四千四百七町歩となつてゐる。目下この計畫は着々進められてゐるが果して全部豫想通りに出來るかどうかは道當局でも少し疑問を持つてゐるやうである。地方では灌漑の多い地方では水利組合設立に反對する向が多いことなどを思ひ合せるとまづ四萬一千町歩の豫定も期限内にやゝ危いと疑問を生ずる部分も出て來るらしいが工事費に對する效果が經濟上に於けることは先づ不可能に近いと見て差支へない。

總じて咸南の水利組合は河川の水が豐富であるために何れも貯水池によらず洑によつて用水を導くために南鮮や西鮮に比すれば工事費が非常に安上りである。從つて組合費は頗る負擔が輕い、けれどもこの反面に氣候や農事思想の發達が後れてゐるために反當の收穫も少い。從つて組合の經理は無理ではない。しかしそれも最近、農民の施肥に對する理解など長足の進歩を示しつゝあるからやがては一般的に非常な有利な組合となるだけの素質を充分備へてゐる。

世に、咸南の水利事業の特徴は水害に對する脅威が少いことゝ、嚮に干拓地が見られないことである。管内の不良組合と稱するのは大てい洪水に祟られた結果であり、干拓地がないのは日本海沿岸は潮の干滿が甚だしくないからである。前おきはこの位にしておいて以下各組合について素描を試みることにする（烏栖生）

宮内省御用達

菊正宗

京城　前田商店

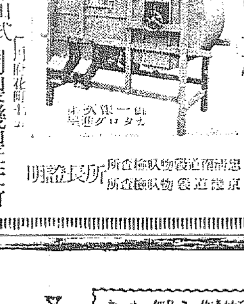
釜山　本嘉納釜山支店

京城本町一

大學病院
赤十字病院　指定

中村眼鏡時計店

振替京城三四六番
電話本局一二七番



石拔調製機界

の絶對的權威！

サア！本年は豊作!!　愈々

新案特許出願　第七八四三號

原田式　石拔調製機製作所

電話四六三番

忠南道穀物檢査所長證明　京畿道穀物檢査所長證明

シャリング工業

解鐵　板　新古船舶　寸法切　ウエス　麻袋　肥料　製鋼　原料　各種油類

安價なる何袋を御利用下さい

石入麻袋　セメント袋類加工改造

當所石治商店

支店元山府辭町一八

漁具

投網　四分目二寸三分目　…拾貳圓　五分目二寸三分目…拾參圓

カスミ網　長サ三間　巾六尺　參圓

代金引換料實費

漁具釣具　武器商　秋岡商會

京城明治町交番所前

電話本局四三九〇番
振替京城一二五六番

（卸小賣共定價表進呈）

資本金壹億五千萬圓

株式會社　山口銀行京城支店

本店　大阪市

日の出は東より
瓶の出は畑より

畑硝子製造所

京城府古市町
電本七四六番

ミツの特長　親切　迅速　安價

美味滋養の強壯飲料

化學工業博覽會銀牌受領
國産振興東京博覽會優良國産賞牌受領

◎ミツワ人參葡萄酒

定價一壜金二圓二十錢　内地以外は荷造運賃を加ふ

ミツワ人參葡萄酒は、科學的研究を積て人參を、特殊操作に依り、小豆島産鮮赤ミツワ品質葡萄酒に醍醐なる芳醇無比の天然産葡萄酒に配合したるものにして、味極めてよき滋養無比の強壯飲料なり。

香味高潔清和滋養豊富

強壯增進與奮作用優秀

（現品縮寫圖）

▽如斯人は榮養補給の目的を以て強壯料として◎ミツワ人參葡萄酒を用ひらるべし▲

一、腦神や筋骨の疲勞を早く恢復したい人
一、病後や産後の衰弱を速かに恢復したい人
一、病苦や不快の感覺を忘れたい人
一、食物を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、榮養を良くしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を増したい人
一、身體を強壯にしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、延命長壽を願ふ人
一、生來虚弱な人
一、身體の痩削けて居る人
一、貧血して居る人
一、手足や腰が冷えて寢付ぬ人
一、些細の事を氣にかける人
一、悲しい事も無いに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神が鬱々とする人
一、時々氣を失ふ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道
一、に襲はれて居る人
一、頭痛や偏頭痛のある人
一、腎臟炎に罹つて居る人

賣捌　和洋酒食料品店・藥店・雜貨店　最寄に販賣店なくば直接御注文あれ（郵送代用三圓以下注文なし）

◎ミツワ石鹸本舗（東京下谷區二長町營業所　振替貯金口座東京七一〇）丸見屋商店

代理店　釜山榮町一丁目二十七番地　福榮商會

540

クララ石鹸

クラブ白粉

國産愛用

カテイ石鹸

クラブビシン

麗はしい皮膚をお望みでしたら

明るい美しい立派な皮膚を何時までも保ち、又それを取戻すことをお望みでしたらカテイ石鹸とクラブビシンの併用が簡單で自然で氣持ちの良い方法であることをお知らせ致します。

清潔と無刺戟と營養を對照とした家庭的の簡便な手當法でございます。たるんだ細胞を醒まし、だらしのない筋肉を緊りさせ、皮下組織を建築することの方法が必然的に要求せられるものです。そしてクラブビシンを併用せらるれば最も良いのであります。クラブなりカテイなりは世界第一流の化粧品製造家である太陽堂の製品でありまして其優秀な効果はクラブ本店の技師が獨創したものであります。

中央美術界への人々

多田生

先に二科の入選が發表された。朝鮮側としては再入選者としての田中では三木弘氏の名撥宗一氏の名がある。三木氏の日々の精進振りに感歎が捧げられるが、流浪の止むなき裂に置かれる撥氏の精進にはむしろ涙を催すものがある

×

法年朝入選した渡邊進二氏は何うしたものか落選に漏れてゐる渡邊進二といふ活字の誤りでないかとも思はれた。又正木萬子といふ新人の活字が朝鮮側に名を出してゐてくれるとよいと思つた。

×

院展の發表を見ると佐々木京林氏も今年はいけない。役割りに置かれてゐる。こんなことは洋畫部より日本畫部の方がつらく、入選落選の中を一種の當番の樣に廻つてゐる。その年々作品の出來榮のほかにこんなこともある。然しこれも何出の慘苦の一つであらう

×

帝展もいよ〳〵切迫して十月五日に出品が締切られる。京城からは加藤松林氏が釋王寺に題材を求めたものを出品する筈で帝展の作品を毎年東京に運ぶ氏等の努力も多としなければならぬ。生活をそれに打ち込んで勤らなければ出來ることでない。

×

その他日本畫家では松田正雄氏が準備中であるし堅山坦氏が何うかすれば出品しさうな模樣も見せてゐる。

×

帝展の洋畫部は非常な好調さを示してゐた遠田運雄氏が御病中で何うするか知らないが、山田新一氏の出品は大いに期待さるべきである。朝鮮最初の出品でもあるし可成り中央にも知られた氏のとでもある。然しそのことが平凡に終つたとしても氏の場合未だ立遲れや取殘されを意味する時ではないと思ふ。松崎貞美、佐藤貞一氏も共にその第一步を乘り出した人々で今後が注目に價すると思はれる。

×

その他佐藤九二男氏ももう帝展に復活してもよい人だと思ふがこの人決して無理押しに生活を混亂させてまでその舉に出づる人ではないので……何うなるかわからず。石黒義保氏一とくせ…丘にひるがへしてゐるが飛び出さない。却つて朝鮮に常連の張一嬉氏がありこれをうかがふ者多士濟々であらうと思はれる。

×

然し新人は何時も豫想の水準を越え散らして出現するのであつて何時如何なる人々の出現を見るかも知れない。そこに一層この種のものに對する興味が感じられるのかも知れない。朝鮮の美術界も誰が乘り出すかもわからん―といふ程度の進歩はしたとよろこんでもよいことにもなるのであらうと思ふ。

界術美

◇加藤松林氏　釋王寺に取材して大作中

◇松田正雄氏　引續り大作の材料を集めてゐる

◇陣内松齡氏　野球百態展を九日より三越樓上に體育協會後援のもとに開催、漢詩を書き加へた南畫味に思ひつきがある

三木弘氏　二科入選

三木弘氏は今年も二科へ出品して居たが卅一日朝入選したとの報に接した同氏はいそ〳〵語る

自畫像外二點出品したのですがその內どれが入選したのか分らないけれど多分自畫像と銀盤と風景ではないかと思つてゐますが詳しいことは分りません、今年は夏になつて講習會をやつたものですから製作の方が稍一パイといふわけに行かず困つちまつたんです

―寫眞は三木氏―

京城近郊十題

パステル畫技法

南素行氏（畫・記）

●北門● 京城の周圍を包む城壁には幾つかの樓門がある。其中でも南大門、東大門等は余りにも人々に知られてゐるが、猶の方から見ると城壁北の東小門は最も著しく人々の興味を惹いたもので朽ち錆びた城壁と樓門とを背景にして、アノ曲線豐かな鮮屋が黄土の小道を中にして綴殿に重なりあつてゐた有樣は技巧を弄せずして直ちに一幅の畫作に適するものがありましたが…省城早々淋を閑にして行つて見ましたら、城壁や樓門の影も形もありませんでした。洗劍亭へ行く道すがら、北門が仕方がないので友人の話をたよりに、北門を寫生する事に決めました。

北門は內側から見るより外から見た方がいゝ樣です。こゝには東小門に見る樣な家屋の重なりの面白味や小道の曲りくねりもありませんが、三側の描き方によつては相當絵になる所だと思ひます。

此の圖は紙質の丁度正中頃、城壁の大きな平面と、樓門處の陰影とトンネルとの對照に興味を感じて描いたもので樹木や有方の家屋等は構圖を助けて居る譯です。

黄土から來てゐる光りは思ひ切り城壁の面を明るく見せては與れませんから、輝く道路面との關係を誤つてはなりません。

此圖は、空に城壁に道路も家も殆んど皆なパステルの腹を用ひて描きました（紙質に氣をつける）只石線だけは、パステルを鋭に持つて、其角を使ふ心持ちで輕く描いて行きますのが此場合、決して強過ぎたり綿が濃過ぎたりして全體の調子を破らない樣に注意せねばなりません。

色調は、對照其物がすでに古色蒼然たるものでありますから全體に鈍調色（灰色を帶びた色）を用ひて仕上げました、此時間約四十分（畫尺一尺九寸に一尺一寸）―（終）―

近代日支鮮關係の研究を讀む【二】

句山書屋主人

こゝにおいて大島公使はいはゆる騎虎の勢やむを得ず明治廿七年七月七日を以て陸奥外相に一の重大なる進言をなした。その文中には『…兵威を以てこれに迫り其の必行を促すべし。但し兵威を以てこれに迫るの手段はわが護衛兵を派して漢城の諸門をかため、かつ王宮の諸門を守り彼等が承服するまで手詰の談判におよぶべし』又は『聊か例外にありといへどもこの際斯る例外の處置に出でざるときは好結果を收むべき見込無之候』などの言辭が散在する。公使決意の程はこれにて認める。しかも同十三日本野參事官の朝鮮派遣に託し外相の照會は『日淸の衝突を促すは今日の急務なればこれを斷行するには何等の手段を取るべし、一切の責任は余自らこれに當るを以て同公使は寸毫も內に顧慮するにおよばず』となすにありといふのだ。公使の腹はいよいよ固からざるを得ない。

『七月廿日に至つて大島公使はいよ〳〵最後の切札を出した。即ち淸韓宗屬問題の解決を朝鮮國政府に迫り自國自主を理由として國內に於ける淸國軍隊撤退を要求するものである』

以淸國爲宗主國……依之其政府が右等不正の名義を以て派來せる淸兵を永く貴國境內に駐在せしむるとは貴國自主獨立の權利を侵害し……右淸兵を退去せしむるの務は固より急切なる儀に付速に決行相成度且又右に付貴政府御決議の趣は明後日即ち我本月廿二日迄に御回答有之候樣致度候……

特命全權大島圭介より督辨交涉通商事務趙秉稷に宛てたるものだ。語氣さながら最後通牒ではないか。大島公使の最後通牒に對する返答は『淸國軍隊の國內に駐在するは朝鮮國政府自發的の內亂鎭定のため救援を請願したのに基づくもので現に內亂鎭定したるが故に撤退を請求したが應じないまでは日本國軍隊が撤退せざるがごとくで撤兵請求中である』と斷るあいである。故に歷代辯を通し淸國政府は遂に最後の手段を取り『この際斷然淸韓間宗主屬の關係を絕たざれば當國の獨立を鞏固にし併せて內政の改革を行ひ難かるべし』と決意し大島混成旅團長を招致して兵力による準備を整へた。

準備は廿二日より廿三日に至る夜間において成つた。即ち進襲して景福宮に至り建春門より門內に入り王宮內の朝鮮兵全部の武裝解除を行ふた。かくなりては手の付けやうはない。到底このまゝでは濟まされない。

朝鮮國政府の逡巡如何に拘はらず日淸間の國交斷絕は刻々近づいた。大島旅團長は淸國軍隊の增援部隊近く忠淸道牙山灣及び平安道平壤府に集中せらるべき情報を得、日を遲延するの不利を思ひ朝鮮國政府の公文決答督促に對するを待たず淸國軍隊を擊破せんとして七月廿五日京城、龍山、鷺梁津に有力なる守備兵を留めた後步兵第十一聯隊第廿一聯隊騎兵第五大隊第一中隊野戰砲兵第五大隊第一中隊の主力に特科隊若干合計步兵十五個中隊（約三千）騎兵四十七騎、山砲八門を率ゐて龍山を發し牙山に向ひ進發し翌二十六日京畿道水原府に到着した。同日午後四時三十分府城南方に於て淸國騎兵と遭遇これを擊退した。日淸兩國軍隊交戰の初めである。

戰事はこれにて終了した。殘るはたゞ技術としての戰鬪があるのみである。

余は三百五十頁を通讀して感ずるとは近代的明るさの滿溢してゐる點を見のがすことが出來ない。これけだし科學的評判が適切だからであらうと思ふ。寧ろ著者が徹底して大安心の境地に立ちて筆を取つたといふ趣がある。大疑の現前に當面し辛うじて論理の階段を踏み外さなかつたといふのでなくて、もとより坦平の地面を悠々と散歩したる趣がある。されば叙說に留保なく筆路に假托がない著者は朝鮮國の內亂鎭定は日本出兵の口實だといつた。內政改革提議はその辭柄だといつた。しかして日淸開戰は軍部の陰謀だともいつた。その率直なる、その敏捷なる、私はひたすら感入した。如何にもその通りと解してもよい。他に虛るところなく單に近代的思惟の爽明を見失はざるためにはかく解して自ら滿ち足りたりとなすを妨げないのである。但しわたしに一言するを許さばわたしに一つの不服がある。それは何が故に著者のいはゆる口實が、辭柄が、しかして陰謀が當時においておこらざるを得ざりしかといふ說明のなきことだ。國家意識の旺盛なる、しかもそれのみが一切を支配したりといひ得る軍の絕頂に於て、この口實と、この辭柄としかしてこの陰謀との必然性を認むるが是か認めざるが非か、著者がこの局地に言及して快刀亂麻を斷たざりしをわたしは殘り惜く思ふのである。著者はその序文に於てやがて本稿の續篇を成すべきことを約束して居る。わたしはそれを待つ。よりて心中の不服を擴し置かんとする（了）

秋風來

原北人

秋らしき風の音よとつぶやける妻に眼をやる門木槿花

來る秋の手迴し仕事張り物をいそしむ妻に晴し日つゞく

ほどきものする夜の妻をせきたてゝ蟋蟀のなく夜寒となれり

壁に啼く虫はこほろぎ冬仕度せはしく〳〵と妻は働く

いねし子の側へにそつと夜仕事をいそしむ妻は夏痩せにけり

幼兒のい寐し間ほつと息をつく妻は家計の事を云ふなり

家の家計妻に任せていたづらに安くは酔わど聞きてすべなし

○

雲の綠染めて閃く遠空の宵稻妻はすずしかりけり

しめやかに遠稻光ひらめけば雲の峰ある秋の夜の空

バアド少將と南極へ（十三）

遠山宣次

鯨のあざらしといふのは、まるで艦隊のやうな賑やかな奴である。

カスタネットのやうな音を立てたり、雌のやうな聲をしたり、鶏のやうにカアカア鳴いたり、羊のやうにピヨウピヨウ云つたり、或はまたカナリヤのやうに、可愛らしく鳴くのである。

コオマン博士といふ動物學者がボオル市長たちの仲間に加はつた。ボオルにはコオマン博士を助けて研究するのであつた。

またボオルの仕事をしては新しくペンギン島を調ふことがあつた。ペンギン島といふのは、十一月と十二月に、この鳥が群をなしてやつてくるのであつた。

ここにくるのは帝王ペンギン島といふので、その大群が濱に入つて來てゐるとき、ボオルは大なる危險を冒して十四匹ばかりの帝王を捕へることが出來た。

このペンギン島は中々に利口なもので、雪の中に自分で家をつくるのである。

かういふペンギン島をやしなつて翌年の夏を越させたいといふのは、彼等の望みであつたのだ。

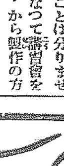
バアド少將はまことにしづかりしたスカウトだ。彼は、ボウイスカウトの眞の精神を保持してゐる。

ボオルはこの偉大なる人物に從つて隊々の習練を行つたので、探險隊に加はるまでは、百六十八ポンドしかなかつたが、あとでは二百十ポンドにまでなつたのである。

われわれは今日、トオキイに依つてバアド少將の力强い聲を聞くことが出來る。ボオル・サイプルの經驗を聞くものはまたバアド少將の教訓を聞くであらう。（完）

學藝界

◇赤い鳥　童話童謠の權威、鈴木三重吉氏主宰赤い鳥が復興します一部二十錢東京市外西大久保四六一鈴木三重吉宛



◇九月二日　例の「赤い戀」の總本家のコロンタイ女史、公使館の昇格と共に公使から大使に昇任した。先進國蘇聯に、乃公出でずんばの地位にまで登り詰めたわが國では、制限付きの婦人公民權が……といつたところで實はまだ物にはなつてゐない

◇お酒が好きで放浪性を帶びた林芙美子といふ女流が、憧憬れのハルビンで與國情調を謳嘆してる。とその土地の新聞が報じてゐるある意味で世界的なハルピンは男性だけのものではなかつた―カナ

◇美術の秋に、半島人の中央進出が傳へらる、三木弘などは畑として、割合に名前の世間的でない人の方がその頭角れとある

熊の會（八、三〇當圖氏）

多田　背士

陽に浮く濁の鼾切る鵜隨いが潤泥白ロ

律田　雲閃

雨白ロ降りの牛耳入るにも出水滴り

岩瀨山　呉水

ほのびとスモス洪水押され根の小雀がホイ

杏城子を迎へて

全鮮野球大會出席の

全鮮野球大會

東光吟社（新義州水源）

打止まぬ球の高さや秋晴る　杏城子

壘を解くかけ灯や花芙蓉　左人

出守の石垣高き芙蓉かな　瑞城

壘道に鳳ある影のそよぎ哉　方外

石階に胸かくれし芙蓉かな　九川

秋晴や港出拂ふ船の數　茜峰

朝靄にふくれて白き芙蓉哉　白天

風ふくや草の中なる紅芙蓉　中郎

壘道の消へ殘りたる一つ哉　一行

蔴燈や思ひ〳〵に獻しけり　矢舖

壘道の一つ灯り更けにけり　秋渓

夕立をあさる鶏に夕立過ぎ居　東水

干物に夕立風の立てにけり　汀村

夕立や逃げ仕掛てぬれ風　孤舟

夕立やしとしと濡れ居る放牛　珠櫻

夕立や朝鮮市の大きさわぎ　竹寶

夕立の降り分て行く國境哉　佳秀

夕立にトマーの瑰り洗ひ哉　秋帆

夕立や文目もわかぬ雨隣　陶村

夕立や大河岸の泊り船　史風

夕立や糊に動く乳首の尾　洋水

募るもの

課題「雜」

俳句　尾上柴舟先生選

川柳　井上劍花坊先生選

詩　日田亞浪先生選

民謠　佐藤惣之助先生選

童謠　編輯局選

俚謠　同

一人五句、五首、三篇以內のこと

用紙は絕對に原稿紙のこと

封皮に種別を明記のこと

原稿紙に住所氏名雅號記載のこと

締切毎月末日のこと

川柳、俳句、短歌の最上位に薄謝を呈す

寶丹

ホウタン

三大特長ある キ、メ本位懐中藥

急救　殺菌　消化

家庭に常備し 旅行に必携し 不時の急病に備へ健康を保たれよ！

寶丹は藥効本位を以て國內は勿論海外に迄で廣く賞用されて居ります。今や病菌其威を逞ふせんとする梅雨どき！悪疫病菌を擊退し、傳染病豫防藥として一時的の淸涼劑と同一視せず、是非御信賴御愛用あらん事を!!

寶丹の活用は

▽悪疫流行の時　▽旅行散步の時

▽時候あたりの時　▽頭痛眩暈の時

▽腹痛吐瀉の時　▽疲勞倦怠の時

▽氣分惡しき時　▽急に咳込の時

▽人込に入つた時　▽過飲過食の時

▽腹冷えした時　▽船車に醉つた時

定價　二十錢　三十錢　五十錢　一圓　二圓　三圓　各定價共寶丹匙添付

守田治兵衛　寶丹本舖

本店　東京市下谷區池之端仲町　振替東京二九八五番

支店　大阪市東區平野町一丁目　振替大阪五七七三九番

○全國各藥店にて販賣す

脫毛

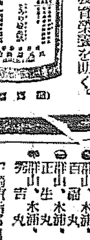
醫學博士監督

普通脫毛の第一期には雲脂が多い。其中に本劑を用ひれば效果は一層です。本劑には本店特製のハプトール芳香精、其他數劑を含んで居ります

○ミツワ養毛液（みつわ・ぬけげさめ）　一圓六十錢

主治效能

雲脂の過多。脫毛。若禿。毛髮薄き急性熱病、腸チフス過勞、産前産後、皮膚病等で脫毛する方。其他脫毛を防ぎ毛髮の發育榮養を助く。



右ミツワ家庭藥中の養毛液と共に左記頭髮用香水が有ります。毛髮の發育を助け榮養を良くし、雲脂を防ぎ、爽快な作香は頭腦を淸新ならしめます。

頭髮用香水　○ヘーアローション（ミツワ月の雫）　化粧品店、藥店、雜貨店にあり　大壜一圓二十錢

大阪賞牌頒定御中越夫第送呈

鼻病

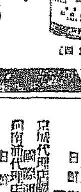
醫學博士　醫學士監修

鼻腔內分泌腺を調節し且消炎作用あるを以て鼻病に確實なる効ある

○ミツワ鼻病液（みつわ・はなのくすり）　一圓四十錢

主治效能

鼻閉塞、鼻充血、鼻加答兒、鼻汁過多、鼻出血、臭鼻症、鼻粘膜腫脹



他に　ミツワ點眼液　壜入二十錢　ミツワ齒痛液　壜入二十錢

御中越次第送呈　ミツワ家庭藥ニ就テ詳細ナル說明小冊子アリ

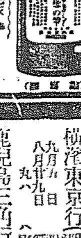
アレ

皮膚に塗つて、よく拭除れば、皮膚は忽ちに柔軟、且滑らかに成り、荒れを防ぎ治し、小皺を作らず、ニキビの原因を除く　理想的な芳香健膚料

○ミツワ雪の雫（みつわ・ゆきのしづく）　一圓五十錢

主治效能

皮膚を強健清潔ならしめ、皮膚乾燥、表皮剝脫、逆剝、龜裂、凍傷、火傷、剃跡の小傷、搔過傷、雀斑、肝斑、疥瘡、毛瘡、濕疹、蕁麻疹、汗疹、日焼等に奏效。



化粧品店、藥店に有り

左記化粧用雪の雫と共に左記化粧用雪の雫が有ります皮膚を強健清潔ならしめ、乾燥、表皮剝脫、龜裂を豫防し、皮膚を和げ、色澤を良くし、肌理を細密ならしむる爲め專ら化粧用に適する樣に製造されて居ります。

化粧用○雪の雫　一壜五十錢　化粧品店、藥店、雜貨店にあり

ミツワ石鹼本舖　丸見屋商店　東京市下谷區二長町　振替東京七〇・電話下谷（83）一一〇一

辰馬汽船仁川出帆

大新丸　九月三日　大連靑島行

照山丸　九月四日　南浦行

照吉丸　九月七日　阪神行

喜春丸　月日　淸水、芝浦

照山丸　九月九日　阪神名古屋芝浦行

仁川本町四丁目　仁川代理店　朝日組回漕部　電話…

尼崎汽船仁川出帆

（群山、木浦、尾ノ道、阪神）八月二九日

以下…丸　群山、木浦、阪神　九月…日

玉…丸　群山、木浦、尾ノ道、阪神　九月三日

百…丸　群山、木浦、尾ノ道、阪神　九月八日

正生丸　群山、木浦、尾ノ道、阪神　九月一日

芳吉丸　群山、木浦、尾ノ道、阪神　九月七日

尼崎汽船會社代理店　高杉商店回漕部　仁川海岸町（電話六九番）

嶋谷汽船仁川出帆

○寄港地…大連、鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、江原、城津、新浦、雄基、淸津、小樽、函館、根室、樺太…

○各船共三千噸以上ノ無線電信裝置ヲ有ス

大連直行（大連汽船天潮丸大連航路接續）

○但シ須磨丸ハ積貨物扱ヒ

仁川發

鮮海丸　九月八日

大成丸　九月廿一日

長成丸　月日

須磨丸　月日

東日本北海道行（釜山、木浦經由）

樺太

鎭南浦發

鮮海丸　九月十三日午後

大成丸　九月廿六日午後

長成丸　九月一日午後

須磨丸　月日

（臨時寄港地新潟）代理店　日鮮海運株式會社仁川支店

仁川發

鮮海丸　九月十四日午後

大成丸　九月廿七日午後

長成丸　九月二日午後

須磨丸　月日

（臨時寄港地新潟）代理店　日鮮海運株式會社

○各船共三千噸級優秀貨客船ニシテ無線電信裝置アリ　嶋谷汽船株式會社出張所　電話…八…番

仁川代理店　本町四ノ二　海運株式會社　電話五〇一…〇八番

京城代理店　國際運輸株式會社支店

森信汽船仁川出帆

延安線（隔日往復）

京平線（隔日往復）

龍陽島線（月六回往復）

牙山平澤線（月六回往復）

唐津線（月八回出帆）

浦院線（月十二回往復）

山線（月六回往復）

沖、鉛、荷物其他各港沿岸行帆船貨物ハ本社運送部ニ御利用ヲ乞フ

仁川驛前（電話二六…番）　森信汽船株式會社

沖州定期表申越次第進呈

大阪商船汽船出帆

仁川通町　仁川支店　電話二二〇・二二一番

仲次店　慶田組　電話七三番・九八四番

京城荷客扱店　朝鮮運送支店　電話本局二七〇・六七二番

（○印ハ客船）

神戸大阪行（群山木浦經由）

九月九日　○溫州丸

九月二日　名　丸

九月八日　順　丸

丸ハ尾道、八門司寄港

横濱東京行（門司、名古屋、淸水經由）

九月五日　四川丸

八月廿九日　第二鳥海丸

丸ハ寄港

鹿兒島三角行（群山木浦長崎經由）

九月三日　○湖東丸

九月廿二日　○湖東丸

九月二十日發ハ長崎直航

大連行

九月十七日　○湖東丸

鎭南浦行

九月一日　四川丸

九月一日　鳥海丸

丸ハ安東縣延航

一寄港地出帆日ハ變更セラルルコトアリ

一內地各港臺灣大連支那南洋印度濠洲南阿東阿南米北米歐洲主要港行接續貨物取扱ヒ通シ貨物證劵發行ス

朝鮮郵船仁川出帆

京城南大門通り　朝鮮郵船株式會社　電話本局（四）一九一九、（四）一九六

釜山支店　大倉町　電話長一八四

元山支店　海岸通　電話長一三四

仁川出張所　海岸町　電話長三五一

京城代理店　國際運輸會社　電話本局一七九三、一一〇

木浦出帆

扱店木浦支店

釜山行　各港寄港　每日午後八時

釜山出帆

扱店釜山本店

麗水行（急行）　每日午前十時半

麗水行　各港寄港　每日午後一時

木浦行　各港寄港　每日午後八時

馬山行　各港寄港　每日午前九時半

統營行（急行）　每日午前十二時

浦項行　各港寄港　每日午後十一時

方魚津行　各港寄港　每日午前九時半

朝鮮汽船出帆廣告

日本郵船出帆

歐洲行　鹿島丸　橫濱　九月八日　神戸　九月一一日　門司　九月一三日

桑港行　淺間丸　神戸　九月一四日　橫濱　九月二六日

濠洲行　熱田丸　橫濱　九月一二日　神戸　九月一六日　長崎　九月一八日

▲右之外各地共臨時臨時船ヲ配航致シ船腹ノ御都合ヲ取計ヒ居候

元山出帆

代理店國際運送支店

東京行　長白山丸　九月二五日

大阪行　櫻島丸　九月七日

大阪行　春川丸　九月一四日

沿岸經由行　新義州丸　九月六日

江原道行　白頭山丸　九月一〇日

雄基行　春川丸　九月四日

浦鹽行　金剛山丸　九月九日

羅津直行　立神丸　九月二〇日

宇品大阪行　立神丸　九月一三日

淸津直行

淸津出帆

取扱店大池回漕店

東京西鮮行　天安丸　九月五日

東京北鮮行　長白山丸　九月二七日

大阪西鮮行　芝浦丸　九月一三日

大阪北鮮行　櫻島丸　九月九日

鹿兒島三角行　羅南丸　十月七日

長崎行

北鮮行　京畿丸　九月七日

浦鹽行　金剛山丸　九月一八日

上海行　平安丸　九月一八日

敦賀隱岐行　臨城丸　九月六日

江原道行　忠淸丸　九月四日

濟州島行　鏡城丸　九月七日

宇品大阪行　立神丸　九月二三日

淸津元山經由南鮮行　立神丸　九月一一日

木浦出帆

代理店國際通運木浦支店

東京行　長白山丸　九月二〇日

大阪行　芝浦丸　九月一一日

濟州島行　統營丸　九月一一日

多島海行　統營丸　九月六日

仁川行　昌原丸　九月一一日

釜山上海行　平安丸　十月五日

仁川出帆

代理店國際通運支店

東京行　長白山丸　九月一八日

大阪行　芝浦丸　九月九日

長崎三角鹿兒島行　羅南行　九月一四日

安東大連靑島行　會寧丸　九月一六日

釜山上海行　平安丸　九月一一日

鎭南浦大連行　羅南丸　九月八日

鎭南浦行　羅德丸　九月九日

海州行　はくてふ丸　毎日午前九時半

　　　　こだか丸

木浦行　昌原丸　九月一一日

淸津雄基連絡船　咸北丸

淸津發　每日午前十一時

雄基着　同日午後五時四十分

雄基發　每日午後十一時

淸津着　翌日午前五時四十分

定休日　一日、十二日、廿一日

朝鮮郵船出帆（近海）

芝浦丸　九月六日　新義州發　北鮮各港經由博多行

…丸　九月四日　雄基發　北鮮各港經由博多行

仁川汽船出帆

海州行　直行　每日出帆　草芝、甲串、鐵山、星湖經由

延安行　姑美浦、仁士里經由　隔日出帆

仙學行　漢津、富里浦經由　隔日出帆

德積島行　毎月十五回以上出帆　瑞山行自動車連絡取扱

唐津行　毎月九回以上出帆　靈興島經由

德積行　毎月八回以上出帆

外浦行　（江華島喬桐經由）信島、仙水、碌洋經由　毎月十回以上出帆

馬山行　（永宗經由）靈興島、大阜島經由　毎月十回以上出帆

各沿岸行帆船貨物取扱　鐵道局貨物取扱　陸送部

仁川府本町四丁目　仁川汽船株式會社　電話五一番・六一番

荷捌所　築港・港町　電話一四〇番・一〇五八番

The Keinichi.

COUNT KODAMA FOR TRIP TO FRONTIER.

Count Kodama, Vice-Governor-General, is expected to leave on an inspection trip to the frontier for a fortnight or so.

SUICIDE RESUSCITATED BY POLICEMAN.

A man named Chang Joo Rin, aged 30, of Hatsunecho, committed suicide by hanging himself on the 20th ult. at 7.50 p.m. and it is understood that on receipt of the report policeman Hirata of Hamazonocho Police Box, hastened to his house and succeeded in resuscitating him by exercising artificial respiration for thirty minutes.

The s.s. *Mololo* of the San Francisco-Honolulu line, which is at present making a cruise around the world, is expected in Far Eastern waters some time early next month.

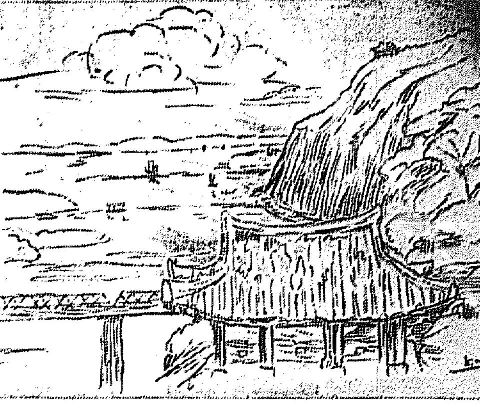
It is expected that when the liner reaches a Chinese port a party of thirty-five or so will make an overland trip and arrive in Seoul on October 12. The party will remain in town for a day and then go on to Japan to rejoin the steamer, which will complete her last leg on arrival at San Francisco.

Pastor Kim Yung Syop of the M. E. Church in Teido, Seoul, was bereaved of his aged father on Sunday morning.

The office hours of the Government-General and its affiliated offices were changed to 9 a.m. to 4 p.m. from the day before yesterday.

Mr. Choi Seung Man, general secretary of the Korean Y. M. C. A., expects returned to town on Sunday last from an inspection trip in America.

A case of dysentery was reported in the detention house of Honmachi Police Station on Friday. The patient, being a Chinese, who had recently been arrested on a charge of theft, was at once taken to the Isolation Hospital.



柳都遊記 (3)
案内人の丁寧な説明
いさゝか参る
圭四郎

済町のとあるレストランで平壌牛の焼肉(おいしさに非ず)のやうなビフテキを喰つてみると急に大同江に往きたくなつた。大同江船はこんどの旅行のプログラムの一つであつたばかりでなく、さきほど汽車の窓から見た晒さす浪江の流れが堪まらなく僕の心をひきつけたのである。簡単に夕食をすますとさつそく電車をつかまへて大同江に向つた。

江畔に出るともう船頭が五、六人呼びかける。みんな青銅色の元気のいい顔で、僕の一歩一踏に氣を配りながら一足毎にあちらからもこちらからも『だんなさん』『だんなさん』を連發するのだ。もつてこいの御注文とばかり内地語の珍らしい船頭をやとつた。櫓がギーときしみして船首がするくと中江に向ふやお定まりの名勝案内がはじまつた。

旅人にはちがひない僕であるが船頭は遠来の旅人と思つたらしい。最初は多分の好意をもつて聞いてゐたが、やれ練光亭でござれ、乙密臺でござれ しつきりなしに喋べり散らされるにはすつかりまいつてしまつた。といつて今更『静かにしてくれ』と注文するわけにもゆかず、黙つてゐると今度は船頭に話が飛んで來た。僕もいゝ加減あいそがつきて聞きながしてゐると船頭もへんに思つたらしい。突然ぱつたりと説明をやめて……

『旦那さんは平壌がはじめてでないんですか』……と聞いた。

『五、六年前に來たことがあるがね夜の大同江ははじめてだよ』と答へると……

『そうですか、どほりで……大抵のお客さんなら追ひつけないほど次から次へと聞くんですが……そうでしたか』

『いや説明を聞いて大變よかつたよ』

とあられもない愛相をいふと……

『こりやどうも有がとうございます』

……と船頭さんなかくに上機嫌である。

『それでしたら臨江亭はまだ知らないでせうね』

何處か記憶のある名だと思つてゐると……

『この間、京城日報といふ新聞で朝鮮の名勝投票に一番で當選したところです。それも昨年出來たばかりの名勝でしてね』……といふが、答へて自分ながら驚き出してしまつた。

『ご案内しませう、こゝからすぐです、あそこに出ばつてゐる岩がよ見えませう、あれですよ、景色のいゝところですよ』

といふなりはや船首はくるりと臨江亭に向つてゐた。

それにしても一番で當選したなんて……遊船業で生活の資をたてゝゐる船頭には臨江亭は一番にしたかつたのだらう……そんないゝところですか、では……と大抵の旅人は出かけたにちがひない。

◇

臨江亭の衣岩で船頭をかへしてしまふと僕はさゝやかな切拔をのぼつた。亭の近くに來て見ると電燈で垣がめぐらしてある。まはると海軍鑛業部の倶樂部の官舎が小高い岡の麓に並んでゐた。いつたい臨江亭は何處から入るのだらう。亭は目前に見えるのだが三方は例の斷崖で大同江に臨んでゐた。一方には海軍鑛業部の倶樂部が突き立つてゐるのだ。少し異様に感じながらよく見ると倶樂部のすぐ右側に小さな門があつて、そこに立札やうのものがかゝつてゐた。『無用者不可入』式の立札なので、ちよつと躊躇してゐると倶樂部から四十の坂を二つ三つ越へたと思はれるおばさんが出て來た。刺を通ずるといかにも愛嬌のいゝ様子で『どうぞ』といつて案内してくれた。門をくゞるとき立札を見ると『出入のお方は番人にお知らせを願ひます』とあつた。名勝投票にのぼるぐらいだからもつとデモクラティクなものと思つてゐたにそうではなかつた。おばさんといふのはこの倶樂部の番人らしく懇切丁寧に話してくれた。その話によると臨江亭は吉田前海軍鑛業部長が高松宮殿下御來鮮の記念に建てたものであるといふ。

『この名前は吉田前部長がおつけになりました。額の字は谷口軍令部長が書かれたと思ひます。これには鈴木參謀總長も多分にご寄附なされたやうです。平壌にこられるおえらい方はみんなここに參られます。前部長の吉田閣下などは非常にこの亭に満足されて毎日こゝで大同江の景色を眺められてゐました。どうぞ、ごゆつくり……』

話に要領のいゝおばさんだつた(挿畫は筆者自筆)

命に叛いた美人を 絞殺や生き埋めに
十四年ぶりに明るみに出た
怪奇な殺人事件の豫審終結

幾多妙齢の美女を絞殺生埋めにした殘忍極まる事件が十四年ぶりに明るみに出されたといふ怪奇な事件として世間の視聴をひいた白々教を繞る殺人事件の犯人康明成(六二)外十二名は京城地方法院吉川豫審判事のもとで一日豫審終結何れも殺人罪として同法院の公判に附せられることになつた

夜半深山に連れ出し 殘忍極まる殺人
"太古の謎を殘す白々教々主の 命を受けての犯行

朝鮮でも神秘な世界として未だに太古の謎を殘してゐる江原道金化郡を中心として大正六年頃から多くの信徒を擁して淺薄な宗教の殿堂を築いてゐた白々教主全廷云(?)は六十余名の美しい妾をおいて信仰の美態に隠れあらゆる享樂に耽溺な生活をほしいまゝにしてゐたが偶々自分の獸慾に叛いた妾李氏當時(一九)金氏當時(二〇)金氏當時(二〇)を腹心の信徒である康明成に命じて大正六年の陰七月頃の或る夜半氏を深山に誘き出し信徒十名と深さ六尺廣さ二尺の土窟を掘り繩掛りで絞殺した上死體を埋め更に李氏金氏を大正六年七月頃同じ手段で冥府に生き埋めにした

殘忍なグロテスク極まる事件も永い間秘密主義を守る教徒によつて世間に現れなかつたものが今年の七月三日端しなくも金化署に探知され犯人の檢擧を見たものであるされ犯人の檢擧を見たものである。四、五十年前白々教を創立し金化附近に本部を置いて一時は京畿・江原、黄海道に五千余名の信徒を有して六十余名の妾も信徒から人身供物にあげられた娼婦ばかりでさしもの殘忍な生活に享樂を恣にした教主全廷云も大正七年秋頃天命つきて死亡し教主を失つた白々教はその本部も轉々として今は京畿道加平郡北面赤木里にあるといふ

十月中頃には 三越落成か
本町入口に屹立する 九十萬圓の五階建

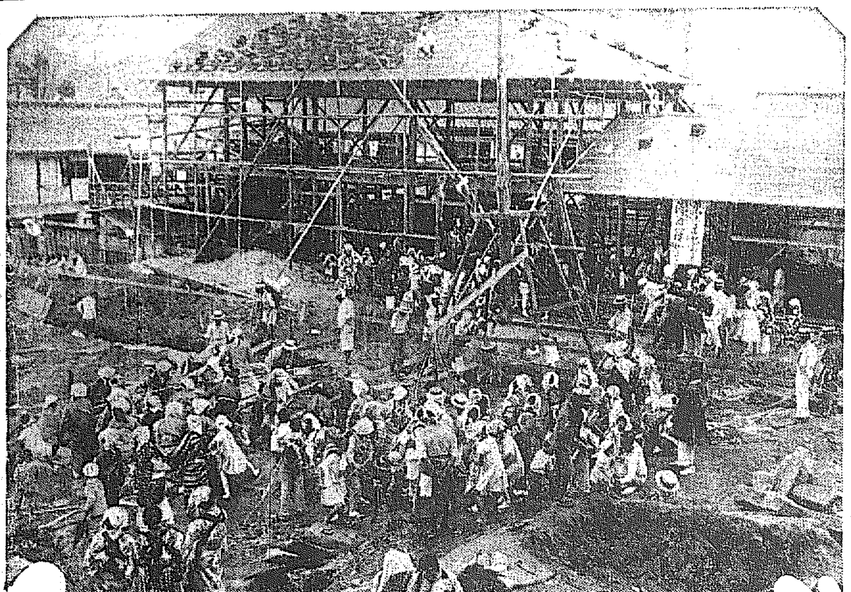
滿一ヶ年と四ヶ月の日子を費した鐵筋五階建の三越京城支店新館もいよいよ十月中旬開館を期して竣工をみることとなり廿日頃から營業が開始されるはずである、豫算總額七十萬圓(地代卅萬圓は別)を超過すること二十萬圓、九十萬圓の巨費を投じたこの建物は府内を始め鮮內に於ける代表建物の一つとなるので、現在舊館は卸街をすでに取り外し行人の眼をひいてゐるがこの新館内部は外觀とともに歐米各地の新型をとりいれてゐるだけ設備、裝飾は斷然三五年型を走つてゐる、まづ内部を覗くに地下室は日用雜貨を揃へ、地下食堂を設け一階は半島各道を代表する物産でかため、一目して半島產物界をみとほすことが出來る、これに家具類をおき、二階は呉服物を一切揃へ、洋品、化粧品部となし、それに美術部の新設あり婦人用の遊戲所をこの一階に設け、四階は各催物部にその他文房具類で片側には定員三百名を收容する純日本式のホールを設け五階は婦人雜貨材料および高價品で埋める事になつてゐる、更に屋上は京城全市を展望することの出來る望樓を設け庭園もあり、寫眞部も新設することとなつてゐる、かくて三越新館は鮮都第一のデパートとして半島商業界に君臨する譯である

煉瓦崩壞し 人夫重傷す

府內鍾路二の一七トヤマ帽子店川口伊作は初音町一二四吉江辨一請負にて三階煉瓦建の新築中、鍾路署において店頭の上にコンクリートが二階の床となつてゐるため煉瓦は三枚積にすることに命じてゐたに拘らず、右方は三枚、一方は一枚半としたため、コンクリートの重みに堪へず、一日午前九時前面だけ三階とも煉瓦崩壞し、作業中であつた府內四屯官職租基萬(二二)は煉瓦と共に墜落し後頭其他に裂傷打撲傷を負ひ赤十字病院に收容手當中であるが重傷である、鍾路署では原因を調査した上建築請負者に嚴重警告を與へた

市長さんが 審判
試合半ばで お斷りさる

【ニューヨーク發聯合郵信】さすがは野球の國だけあつてニューヨーク市では市長ウオーカーさんまで審判官にひつぱり出して一日ニューヨーク市參事會員チームと市會詰新聞記者チームの野球試合が行はれた。然しさすがにユニフォームをつけるまでには至らなかつたが皆平服を泥によごして大童の活躍をなした。結局十對一で若い記者連の勝ちになつたが市參事會員チームの投手をつとめた市參事會員マクギンネス氏の出來榮へは大したもので九回までは記者チームに一本の安打も與へなかつた。因みにウオーカー市長審判がどうも怪しいとあつて試合半ばで審判官お斷りを喰つたのはお愛嬌



朝鮮では珍しい盆踊……きのふ本願寺で

本願寺様で 盆踊りの祝會
内佛殿地築終つて きのふ信徒が奉納

府內若草町眞宗西本願寺京城別院ではかねて内佛殿の建築を計畫中であつたが、まづ地ならしを去月十七日より、三十日より御内佛殿の柱を立つべき地築を府內同寺信徒の奉仕により着手し、豫定通り二日午後四時終了したので同寺では信徒八百名とともに地築が順調に運んだ慶祝を表して數十名一組となつて各地方で踊る盆踊りを數種佛前に供したが、朝鮮では珍しい盆踊りに見物多く盛況裡に午後三時半終了した

遂に問題化された 蔚山飛行場の缺點
遞信局で考究中

國際航空路としての京城、蔚山、平壤各飛行場は重要地點となつてゐるが、此內蔚山飛行場に多大の缺點あるため、二日の內鮮連絡定期飛行は遂に中斷されるに至り、國際航空路の網羅を築絡するに至つた。――內鮮滿連絡飛行は日本空輸會社により毎日定期飛行が行はれてをり二日も午前七時の定時に京城汝矣島飛行場發內地に向ふこととなつてゐたが、日本空輸會社京城支所では蔚山飛行場が浸水せるため、同飛行場着陸を中止して京城大刀洗間を一氣に飛翔する事を遞信局航空係に申請した併るに規定によれば、飛行場着陸不能の場合は當局の認可によつて、一氣に飛翔する事ができるが、當日は蔚山飛行場長よりは何等着陸不能の報告なきため、蔚山に着陸せぬとは規定違反となるので、佐藤航空官は、この申請を許可せず、雙方數次の交渉を重ね、佐藤航空官より濟名蔚山飛行場長に照會せるところ、濟名航空官は着陸可能なりとみて、空輸會社の主張と一致せず、空輸會社は着陸不能なりとて、定時の飛行を休止して、交渉數時間にわたり午後零時に至り國際航空路たる定時連絡飛行はこれが爲め中絶されるに至る事となつた、その間、內地行旅客たる野田觀雄氏、中外商業新聞社記者內山小波吉氏等は待陣飛行場で待ち合せてゐる有様なので、佐藤航空官は、蔚山飛行場長の證明がなければ蔚山省略の認可は出來ぬが旅客を考慮し臨機措置として、午後零時廿分蔚山省略一氣太刀洗に向ふ飛行を許可し、三モーター機は一氣太刀洗に向ひ、解決をみたが、今後蔚山飛行場の適否問題は事ごとにかゝる問題を生みて紛糾をみるべく、遞信局航空係では國際航空路にかゝる紛糾を惹き起すべき蔚山について、何等か改善を施すか、或は他に適地を求むるかについて研究を進める事となつた

山根、沼田兩女史入城

多年婦人參政權を唱へる運動をつゞけ、わが國婦人運動界にその人ありと知られてゐる女子參政協會理事長山根菊子女史は沼田いせ子女史と共に、一日朝入城したが、兩女史は京城をはじめ全鮮隈なく講演行脚を行ひ、つゞいて滿洲各地からハルビン邊りより講演を懇望されてゐるので數ヶ月にわたつて巡廻する筈であるが兩女史をむかへる各地では、兩女史永年の奮闘を傾けての大講演に初めて接する人々が多いので多大の期待をもたれてゐる(寫眞は向つて左が山根女史、右が沼田女史)

隣家に迷惑を かけてはならぬ
都會の雜音退治に
ラヂオ擴聲器槍玉に擧る

【ニューヨーク發聯合郵信】都市の騒音を何とか取締らねばならぬといふ氣運は最近日本でも漸く擡頭するに至つたがニューヨーク市ではすでに議論を過ぎて着々立法化の時代に進んでゐる、先づ第一の槍玉にあがつたのは街上に叫ぶラウド・スピーカーの取締りで、ニューヨークでは去る五月二十日以來街上又は街上に面する窓を開け放つてラヂオ擴聲器を使用し通行人隣家に迷惑をかけてはならぬといふ法令を施行した。このラウド・スピーカー取締法は其後市の大通では比較的忠實に勵行され、街上の喧騒音を除去するに大に効果をあげてゐるが裏通りや場末では一向嚴重に勵行されてゐない。そこで都市騒音除去委員會では折角立法化にまでこぎつけたのにこれが勵行されてゐないとあつては我々の運動が徹底しないとあつて今回糾察隊を組織し百余名の委員が手分けして此取締法を勵行しない者をどしどし摘發、警察に告し嚴重取締らせる運動に着手した。糾察委員は一週間に亘つて深夜市內を巡羅する事になつた。糾察委員等は必要とあらばいつまでも運動を續け殊に商賣のための廣告とはいへ法を無視し街路に向つてラウド・スピーカーをうならせてゐるラヂオ屋なども片ッ端から警察當局に通告するといきまいてゐる

慶熙龍中の定期戰
六七の兩日
京城運動場で擧行

京城球界恒例の慶熙龍中兩倶樂部戰秋季試合は、いよいよ來る六、七の兩日毎日午後四時から京城運動場で擧行するとになり、二西双方當事者は當番校京中に集つて細目協定を行つた、その結果秋の試合は申合せによつて先輩を主力とするチームを組織し、龍中は永田、長谷川、岩瀬に對し慶熙は鍋土屋、小川の鮮陣となる模様である。しかして双方のベンチは六日は龍中一壘側、慶熙三壘側、七日は慶熙一壘側、龍中三壘側で、決勝戰は翌日決行しその時ベンチの決定をする、なほ入場料はネット裏五十錢、普通三十錢、學生二十錢である

朝鮮語奬勵試驗 來る十月三、四日の兩日、本府及慶南、平南、江原、咸北の各道に於て本府及所屬官署職員並に朝鮮地方待遇職員朝鮮語奬勵第二種試驗が施行せられる

ロツト組優勝 【ニューヨーク卅日發電】全米庭球選手權大會男子ダブルス決勝はロツト・ドーグ組優勝した

順化院で 漢方醫を採用
わが國で初めての 特徴を發揮する

京城最大の傳染病院なる府立順化院が全國ではじめての試みとして漢方醫療を開始し五ケ月を經て好成績を示してゐるが、これが擴張改善に關し、京城府協議會員李活會議事は二日午後二時府廳に集會協議の結果、現在同院の漢方醫を擔當せる金鍾達氏は洋醫のかたはら漢方を擔任せる兼能醫なのでこれが擴張と共に専任漢方醫採用方を交渉する事となり、同水府尹、警察部衛生課長に之を折衝した結果漢方治療の傳染病院は全國唯一なので、この特色を發揮するためにこれを範とし、近く專任醫を採用擴張する事となつた

醫師の度量衡は 比較的に不良
嚴重に取締り勵行
漸次全鮮に及ぼす

京城府の度量衡第一種取締成績を見ると、人命を保護する醫師の使用する度量衡器が比較的不良であるので、これが取締勵行に就いて商工課龍山分室品川技師は語る

醫師の使ふ度量衡器が比較的悪いと云ふ事は內地でも同様であるが、醫師の使用する度量衡器は人命に關係する處が多いから他の度量衡器よりも嚴重に取締を勵行してその正確を保持しなければならぬと思ふ、若し使用度量衡器に不安を抱かれる方は本月十日頃まで商工課分室に持參されゝば無料で檢査して差上げたいと思ふ、尚京城府內は本月早々取締を施行し漸次全鮮に及ぼす考へである

四年度中の 行路病死人
合計九十人

京城府昭和四年度における行路病、死人取扱ひ件數は合計九十人で內地人十四人の內死亡者數十人、朝鮮人七十五人の內死亡者數十四人、支那人一人、死亡者なしでこの救護費二、二九九圓七十五錢である

金秉局の身柄 檢事局に送致

慶南東萊面樂民洞二五一金秉局(二〇)は大正十四年上海に渡航、その叔父に當る上海不逞鮮の首領金中方に寄食し、同地學友會、學生會等の鮮人團體に加盟して勞働大學中學部に入學、之を卒業して歸鮮の途中新義州驛と石下驛間で張込み中の警察官に逮捕され取調べ中であつたが、八月二十九日一件書類と共に身柄は檢事局に送致された

金剛山賑ふ

昨今次第に秋氣加はり、登山探勝の絶好期となつたので、金剛山探觀客相次ぎ、非常な盛況を呈してゐるが、最近における內地よりの探勝團として名古屋旅行會主催探勝團四十名、十七日釜山、十八日朝入城、同夜安奉金剛山へ向ふ豫定、又ジャパンツーリストビユーロー主催東京よりの探勝團二十名は十八日釜山、同夜入城、十九日朝渡金剛山へ向ふ豫定である

八田、渡邊兩氏 取調べらる

【東京電話】乾事件の發された問題の債務保證書事件につき中心人物と見られる元渡邊同族會理事八田嘉、元渡邊倉庫社長渡邊六郎は一日朝東京地方裁判所檢事局に召喚取調べられた

駈落捕はる

岐阜縣土岐郡泉町字定林寺陶器商長男丹羽軍夫(二六)と同町藝妓松奴こと竹內鉛江(二二)が前借千圓を踏倒して去月中旬行衛を晦ましたので手配により釜山署にて捜査中のところ京城府平町一丁目四二平田銀平方に夫婦氣取りにて潜伏してゐるのを發見し目下保護中(釜山)

釜山の傳染病

釜山府內における八月末現在の傳染病患者は赤痢二一、チフス四三、パラチフス八、猩紅熱三合計七五名之を昨年同月中チフス大流行の當時と比較すれば數倍の減少であるがそのため府では傳染病豫防に努力してゐる(釜山)

發動手繰船 作業を開始

第三區發動手繰船組合では申し合せによりかねてより作業を中止してゐたが九月一日から一齊に作業を開始し各船共操漁に出動したこれからの魚市場はカレイの水揚で賑はうであらう(元山)

松茸出廻る
相場は一圓六十錢

例年なら今を盛りと出廻ふ咸北名物の松茸も今年は降雨續きで七月中旬一寸市場に姿を現したのみで今日まで皆沙汰もなく話題にすらのぼらなかつたが一兩日前からぼつぼつ市內に松茸賣の姿を見るやうになつた然しまだほんの僅かばかりで殊に料理屋等ではこれが買漁りに懸命になつてゐる、百匁一圓六十錢が今の相場であるが茲一週間も經てば九十錢から一圓位になるであらう(羅南)

馬賊を官兵に採用

對岸臨江縣長から長白縣長への通報によれば通化縣安撫縣內において暴威を逞ふしつゝあつた頭目九山北海一味の馬賊六十余名はこの程官兵の追撃に堪へ兼ねて通化縣大雜園溝公安局に歸順したので同縣長はこれを官兵に採用すべき意志を以て省政府に請願中であると(咸興)

ルースを抜く
本壘打四六本

【シカゴ卅日發電】卅日のシカゴカツプス對カーヂナルの野球戰においてカツプスのウイルソン選手は本壘打二本單打一壘打二を打つた、これで今シーズンにおける彼の本壘打數は四十六本となり本壘打王ニューヨーク、ヤンキースのベーブ・ルースの四十四本を追ひ越した譯である

強力外用挿入内服 合併ネオくすり療法 月やく
數ケ月の滞りにも効力最も迅速に絶對安全にして 入れ道に具會下さい私は さんば 松田
大阪市東淀川區天神橋筋九ノ六七 松田婦人科研究院

珍花種子 球根
ぼたん、ばら、庭園用樹、果樹 シャボテン其他珍植物類 美しき『植物目録無代進呈』
兵庫縣川邊郡山本 陽春園植物場

自動車界 第五卷 九月號 定價四十錢
裁判の要求する運轉手の注意義務 社長 水野豊
失業問題の解決と其方法 慶應義塾長 林毅陸
自動車運輸の趨勢 鐵道省 秋野榮之助
自動車の裝置及び運轉 平山泰治
內燃機關の爆發能率 奧泉欽次郎
必ず心得置く可き操車知識 安東禾村
自動車の手入と調整修繕の知識 北郷新
最近警視廳運轉手試驗問答集 秋野生
其他自動車重要有益記事滿載(在全國書店)
發行所 東京丸ノ內仲通三號館 自動車界社 振替東京二一六五五番 電話丸ノ內七〇番

新俳壇の尖端を行く ぬかご 第十卷九月號一部定價五十錢
◎俳句は生活から……水野六山人
◎近代俳句選集講義……六山人
◎人間味を見る俳人芭蕉……山崎姑洗子
◎雑詠合評……忠北家
◎水から水へ……路地虚水
◎野尻湖まで……大原宏骨
◎技巧と効果的表現(一)……安藤姑洗子
年刊句集、雑詠、入門欄、家庭俳句、課題句、例會、吟行、研究會、其他全國俳句會等
發行所 東京丸ノ內仲通三號館 ぬかご社 振替東京三九〇三一 電話丸ノ內七七〇番

◎特約店募集 無番 美繩 輕快 能率五割高
これからの製繩機は 投込型 投込み型になります
買ふ人賣る人 見た上 (說明書進呈)
元祖 田所式製繩機總本店 大阪市北區浜崎町七 田所商會

頭痛にノーシン

鐵砲は横濱の 金丸に限る (定價表呈)
横濱市中區尾上町一丁目七番地
銃砲 金丸銃砲店 (主店 西村潤藏)

眞においしき 茶は 宇治 京城 水月堂 電光八〇六番

邦人唯一の經營 支那料理 中山楼 京城明治町浪花館前 電話本局一四三四番

醫學博士 佐藤小五郎
内科一般 特に 呼吸器病 循環器病
京城本町二 佐藤内科院 電本九〇七番

京日案内

各地在住 販賣員募集 詳細は二錢切手封入申込ば説明書直にお送りします 東京市小石川區原町十三 光學堂

歯科 醫師研究心に富める方女子も可他に熟練なる代診も入用 本町一(電話本局一〇四〇番) 飯塚歯科醫院

獵犬 純英セ國代の血統書附初猟期より使用に適する仔犬及成犬都合により至急讓渡 京城府元町一の十七 西山秀次郎

社員 採用年齢廿五歳以上の有爲の士を求む 面談は毎午後七時より來談 京城吉野町(昭和旅館內) 北

女中 至急入用御希望の方 御來談下さい 京城本町二丁目 電本一〇三番 浦尾旅館

外交 書籍販賣に經驗ある者 面會午後六時以後 黄金町二丁目 電本八六七番 東亞出版印刷社

社員 大募集 仁川三名、水原、天安、公州、鳥致院各一名 希望の方は仁川宮町にあれ 日本生命出張所

毛糸 毛糸が安くなりました色が揃ひました 京城本町四丁目(東本願寺前) 電本五一五番 柴田毛糸店

恩給 時代に鑑み大勉強利用ある店を信用 京城府明治町入口東上 電本一六三

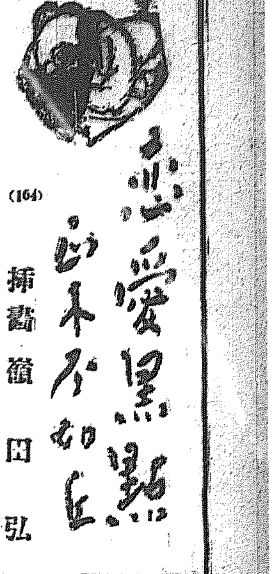
金融 官吏の御方に限り秘密嚴守迅速に信用御融通します 京城府大和町二ノ一六

恩給 長期年賦 利息低下 期限無手數料秘密取引 迅速確實 京城府若草町百六番地 西村元商會

ラヂオ に電氣に岡田放電 ナショナルランプ 京城本町四丁目 ラヂオ商會 電本四二四六番

特別案內
よく氣のきく娘さん數名 店員として迎へます 內地人で年齢は十七八才、六日迄に履歴書持參下さい
活動的な十六七才の少年諸君を求める 履歴書と共に六日迄に來られよ
本町ビルヂング 子供屋

ばい毒專門 りん病 京城本町 和田醫院



戀愛黑點（164）

挿畫　嶺田　弘

尾行される森（七）

警部森は尾行されて汽車に乘り込んだ。今朝は今まで不愉快だつた尾行の刑事にユーモアを見出す程の氣輕さだつた。朝起きるとすぐにすがくしい氣分で、辭職願を書いて院長宅へ向つた時、院長はホッと安心して

『退職手當は出來るだけ努力を折る』

といつた。

『自己都合でやめるのですから。どうぞ御心配なく。』

と森は答へた。洋行後すぐに辭職するのだから、普通なら洋行費を辨償しなくてはならぬのだがその力も心配なかつた。若し辨償するとすれば、湖子の父が何とかして呉れるのが分つて居た。

汽車の出る時院長なけが送つて來た。恐らく二度と來さうもない醫院を出發するのに、病院の職員が外に誰も來ないのが、森にはむしろ愉快だつた。

『では御機嫌よう』

森がかう云つた時院長は黯然な顔をした。

汽車が發車した時

『先生』

と近づいて呼びかける女があつた。湖子なのだ。

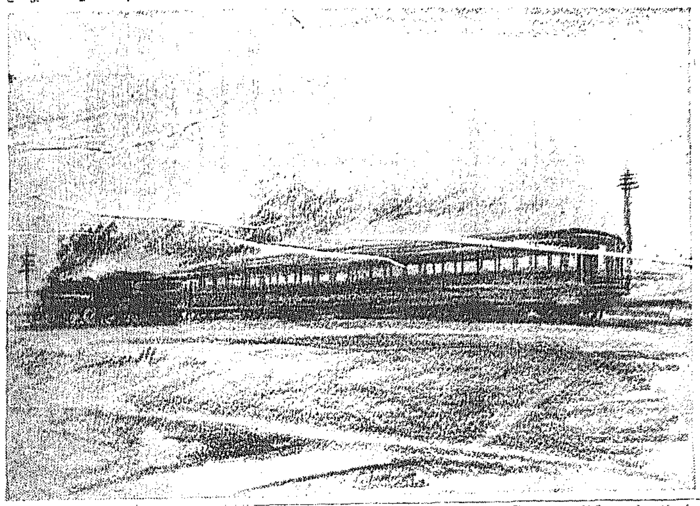
『父がお見送りする樣にと申しました。東京のお宿がおきまりでしたら伺つて參れと申しました』

『矢張り第分ホテルのつもりです』

『左樣ですか。それから母が近く上京致しますので、その時お訪ね致すさうです』

『どうぞ』

その朝の湖子は特に美しく裝つて居た。森は湖子と話しながら心の時めくのを感じながら、湖子に對する古い輪が、湖子で今蘇へるのではないかと思つて、ハッとした程、湖子に誘はれかけて居た。



次の驛で湖子は下りた。分れる時

『先生又近くお目にかゝりますわ』

と特に云つた。森も湖子には又近く逢へる樣な氣がした。

森が帝國ホテルへ着くや否や、森は思ひがけず、湖子の父の紹介狀を持つた建築技師の訪問をうけた。

技師はあちこちの病院を四五日前から視察して、大體のプランを立てゝ森を訪ねて來たのだつた。森は爪手廻しにおどろきながらも湖子の父に心から感謝した。技師とつれだつて敷地も見に行つた。

『三ヶ月で堅牢な落成させますから設備の方の註文をお急ぎ下さいませんか』

技師は湖子の父の依賴をうけて居ると見えてキビくとすべてを運んで居た。

『お金の方を問題になさらぬのですから、理想的のものがきつと出來ます』

と大變な意氣込みだつた。森もそのために後ろから追ひ立てられる樣な氣がした。

技師の歸つた後森は一人室のソファーに倚つて、夢の樣にめまぐるしく回轉した歸朝以來の日を思ひ起した。

…不幸なのか、幸福なのか…

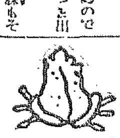
森は全く見當がつかなかつた。心にゆとりも出來、醫師と云ふ狹い土地から解放されたゝめの安堵も出來て、初めて森は湖子のその後を考へ出した。

……どうして居るだらうか……

湖子と最後に逢つた時を思ひ出す。又湖子に初めて逢つた日を思ひ出す。いつの間にかその湖子が今朝の湖子とまじつて來る。

……自分で考へるよりも、なる樣にひとがしてくれるのだ！……

と氣がるく森は夕の食堂へ下りて行つた。

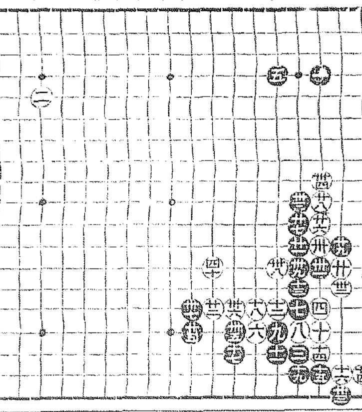


讀者らん

▲大正十二年の震災！かへりみて、すでに滿七年、復興の帝都といふ字句の不要になつた程回復に震災後の帝都の復興は目醒しいものであつた。復興すでに完成されて堅實な進行に明日を指示する東京となつてゐる今日、震災記念として抹香を燒いて罹災者の追善供養もさる事ながら、榮光輝く帝都のためにこの九月一日を誕生記念日として永久に記念しては如何（生存者）▲北洋にたゞよふ蟹工船エトロフ丸の怪聞が突如として文化の放牒を亂打した。眞相は目下調査中だが就業五ケ月の間に二十名に近き餓死者を出だし、百名による病者を發生せしめた事實は掩ふになき醜聞である。近時漸く世人の理解を得るに至りたる我漁業中地步を占むるかに工船事業がタイ年額千五百萬圓を漁獲して預進の先般奨勵民の名において某國の所有を除去せんとつとめつつある折柄、まことに遺憾至極の事件といはねばならぬ。われ等は斯業發展のための國民の協力をむなしく泥土にふみにじる如き行爲をにくまずにおれぬ（正義）▲私は、高等小學を出て内地より來た者で御座います。何れかお務め向の宅へお使ひ下さる處は御座いませんでせうか一生懸命働きます（十七娘）▲血統正しき生後一年八ヶ月の男子を愛兒家に差し上げたし、主人死亡生活難のために（あき子）▲身寄少い通勤の女一人お安い貸間か、間借は御座いませんでせうか、地方に御家族少きお家にて同居さして下さる方は御座いませんでせうか、附近なれば仕事結構に存じます（孤女獨）▲八月三十一日の第二高女同窓會で家事教室の前のかさ棚でエンジ（絹）黑（袋）のダデルでばら模樣のある日がさをおまちがひになられた方はどうぞ本局一六六九へお電話下さいませ（みさる）▲慶南のアル邑内驛前人蔘販賣の所在邑内御存じの方は御教示願ます（帝ネ人）▲何方樣か中古オルガンお讓り下さいませんか余り大きくないのがほしいのです（美枝子）▲三十一日の午後九時頃お守りを落して行かれたお客樣がありますが取りにお出でお願ます（鍾兵町谷口藥店）▲昨年又は一昨年の内地及朝鮮の總人口御知らせ下さい（知りたい生）▲昭和三年十月一日現在内地人口は六千二百十二萬二千二百人、朝鮮千九百十八萬九千六百九十九人、臺灣四百四十三萬八千〇八十四人、樺太二十四萬〇五百〇二人 合計八千五百九十九萬四百八十五人（係）

圍碁新局（二）

先　小杉丁（四段）　白　瀬越憲作（三段）



廿一 に十二	廿六 ち十五	卅一 ろ十九	卅六 い十八
廿二 り十六	廿七 は十一	卅二 に十一	卅七 は十
廿三 ろ十二	廿八 は十二	卅三 は十三	卅八 ろ十四
廿四 に十	廿九 は九	卅四 と十六	卅九 と十五
廿五 り十五	卅 ほ十三	卅五 に十三	四十 ち十三

今日の新刊

（普務局圖書課）

和文部　調査月報（第一卷一號）朝鮮總督府▲月刊慶北（創刊號）▲醫光（第三號）光根滿之衛生部▲家庭俱樂部（八月號）三浦直記▲養鷄通信（創刊號）鳥山當吉▲南漢山城の開城史　篠田治策▲朝鮮實業俱樂部會報（八月號）清水萬造

鮮文の部　聖書朝鮮（九月號）金教臣▲별나라（第九卷八號）安俊植▲宗教々育（九月號）鄭安進▲京鄉雜誌（第六九二號）楊秀春▲商工の友（第一卷四號）金領濟▲高麗蔘業商報（第五號）尹愛卿▲中鮮民報（第九號）張昌起▲長老教會憲法（英文）鄭安進

出版界

▼游行隊（創刊號）認識された一切の限界に對する當爲的牧進心を意識し、離平たる大地を步行する那旗保持者の一群――と稱する人々の雜誌である。元氣のいゝ若人だちのはちきれさうな力を示して居る情緒が感ぜられる（京城吉野町一の一二七地現方朝鮮文藝聯盟二十錢）

▼世界文學評論（創刊）西脇順三郎、鍋西滿、乘一郎、堀辰雄、竹中郁、北村常夫、瀧沼茂樹、武田忠哉、阪本越郎、安藤一郎、飯島正、伊藤整、大野俊一、その他の諸家執筆（東京市本郷區駒込淺士前町四六その社三十錢）

▼人間味（九月）松山市新町王一の七〇その社十五錢

▼苑芽俱樂部（九月）京城延薬町三ノ七九京城苑樂俱樂部十錢

▼大阪化粧品商報（[illegible]）大阪市東區博勞町二丁目その社十錢

▼水郷（六號）和田御靈主宰俳誌（神戸市東須磨濱山和田別邸水郷發行所三十五錢）

▼通信見本市（八月）大阪府立貿易館大阪商品研究會三十錢

▼科學知識（九月）東京市丸ノ内二ノ二科學知識普及會五十錢

▼公民講座（九月）金解禁造り直しの効果（高城伸次郎）政界漫録（伊藤金次郎）その他（大阪市南區鰻谷仲之町五六國民同志會市民講座部二十五錢）

▼優生學（九月）體質と遺傳（栗田保）理想の結婚（佐藤七郎）その他（兵庫縣武庫郡香櫨園森具六六七日本優生學協會二十錢）

▼コドモのテキスト（九月）放送局の放送テキストであるが奇麗な繪を添へた子供の立派な繪本でもある（京城放送局二十錢）

▼いちご（九月）俳誌（全南光州黃金町一三いちご吟社十錢）

帝キネ　中央館

九月二日ヨリ三日間　初秋第一先鋒を飾る絕對豪華番組　公開お特別興行　大衆の大衆料金拾錢均一

帝キネ長瀨撮影所特作映畫　原作脚色　松本昌之　監督　山下秀一　巨匠　明石緣郎大熱演

時代劇　八百八狸　片岡童十郎　片桐相男　千草香子　助演

伊豫國善提寺は七ツ過ぎると狸が出ると人々は怖れてゐたが。こゝに一泊した浪人後藤小源太こそ何を語る。

フォックス映畫社最大の大傑作　ウイリアム

大活劇　アラビア

原作ピエル・ブロンデー氏　監督ホワード・ホークス氏　熱血漢チャールス・ファーレル氏　グレタ・ニッセン嬢主演

アフリカ沙漠の一端を背影に描く大猛鬪大活劇として近代に見る可らざる絕對の寶玉篇

帝キネ新名作現代映畫　監督　大森勝　監修　林太郎　千草香子主演

お國戀日記

賀川　修　松葉笑子　溜田　格　助演

大正館

三日ヨリ（五日間）短期大興行　飛躍です！秋シーズンの初陣を飾る一九三〇年型期待の名篇揃　然公開

松竹下加茂特作時代映畫　原作　[illegible]　監督　吉野英治　撮影　[illegible]

焔　七卷

情熱の詩人[illegible]氏の新作映畫化　[illegible]

阪東妻之助主演　[illegible]　明子　助演

松竹下加茂一九三〇年型特作前衛時代映畫　原作　平林たい子　監督　小石榮一　撮影　伊藤武夫

挑戰　七卷

前衛映畫第一彈挑戰は本年度に於ける最も自信ある作品です。これは小石榮一氏の言葉である。一にかゝる[illegible]のカット・ブロレタリヤ映畫を[illegible]これ正なる批判を乞ふ

千早晶子の素晴らしき主演振り　中川芳江　助演　[illegible]

松竹蒲田オスカー・シスゴール氏　提供　小津安二郎監督の蒲田作品　これは夜のあくまでの九時から朝の九時まで男であらうか？……

「新青年」所載博文館發行　その夜の妻　七卷

岡田時彥　八雲恵美子　[illegible]

浪花館

當る九月四日より　昭和に輝く肉聲大浪曲

京山幸枝一行

演題は彼が十八番の讀物　會津の小鐵（長講二席）

連名▲寶の入舟（京山幸枝）▲美久仁の花（京山延枝）▲入船音々（京山延近）▲鳥八滿天（京山幸丸）▲京山時丸（京山幸）▲京山時丸（京山幸）▲[illegible]

東亞俱樂部

新秋劈頭の巨彈特別興行　手素の良く安く秀作のモットーに叛かず本週も東入場料十錢均一

東亞キネマ本年度超特作　原作村上浪六先生　監督後藤岱山　撮影藤井春夫　劇團　原駒子熱演

時代劇　三日月次郎吉

當時の名題高村家十八番劇　未曾有の總出動　竹下を織りなして展げらるゝ浪六作る三尺物傑作篇

メトロ・ゴールドウイン・メーヤー社特作　原作陸軍大將ルウ・ウオーレス氏　脚色ケリー・ウイルソン氏　監督フレッド・ニブロ氏

基督の物語り

ベン・ハー

主演ラモン・ナヴァロ氏　助演ベティ・ブロンソン嬢　マッカボイ嬢　フランシス・ブッシュマン氏

數百艘のローマ船艦と海賊との壯烈な勇戰！！！なる激戰と凄惨なる實を得る映畫始まつて以來の最大傑作中の大傑作

喜樂館

日活封切　三日封切

堂々たる大日活が秋の映畫陣に大進軍超特別大興行

コロムビヤ映畫社提供　發明・英國暴風圈五大活闘　監督チアールス・パトック氏

大學の花形　全七卷

主演ベン・ダービン氏　ボビー・アグニュー氏　ポーリン・ガロン嬢　レッド・ドリーズ氏　チアー・チルロス氏　共演

滑稽を且つ小型化した、小使ロットラーの存在が一カーヴア大學を常に明るいものにしてゐた

日活特作時代劇　監督三枝源次郎　日活太秦現代劇傑作　原作

女七變化　全八卷

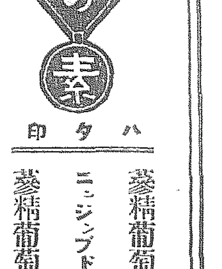
主演　御田俊二　[illegible]　牧きみ子　助演

日活太秦時代劇　監督　伊藤大輔　主演　大河内傳次郎

腕一本　全八卷

深川の名物男熊や祭りの鎮五郎は、機會があつたら[illegible]一鍋の子分をつれて[illegible]

大人二十錢　小人十錢　階上二十錢　階下大人二十錢　小人拾錢

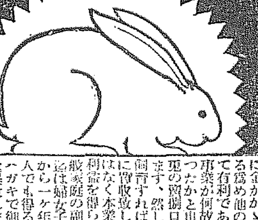


御料理　まるま
京城府旭町
電話本局三九一一番

土木建築材料
鐵管・鐵板・ポンプ・パイプ（揚機、工業用品）
釜山府幸町二丁目
角野商店
電話長二二三三番　振替口座釜山一二三三番

資本金壹千五百萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城府黃金町二丁目　電話本局一八一九・二八一九番
同　新龍山支店
京城漢江通り十三番地・電話龍山九〇一番　振替口座京城一八二〇四番
同　龍山支店
京城府元町二丁目・電話龍山一八番

新館落成　溫泉御旅館　清楚閑靜
内湯設備完備
東萊溫泉場
東萊館
電話長二八番



家庭の副業として　有望な養兎

養兎は廣大なる場所を要せず飼料に金がかゝらぬのと繁殖の強盛なる爲め他の養鷄や養豚に比べ極めて有利であります。然らば此有望事業が何故一般に普及せられなかつたかと申せば澤山に繁殖したる兎の賣捌口がなかつた爲めであります。然し本會の會員となり兎を飼育すれば生産兎は本會にて永久に買收致しますから賣捌口の心配はなく本業又は副業として永久に利益を得る事になります。一般家庭の副業としては種兎十匹位迄は婦女子の手で充分でありますから一ケ年に三百圓位の利益は素人でも得る事が出來ます、詳細はハガキで御請求になれば說明書を發送致します、尚本會は會員の生産兎買收や種兎分讓上の便利を計り各部に支部を各面に出張所を設置致しますから御希望の方は此際

至急御申込になれば規定書を發贈致します

支部長　出張所長　大募集

合資會社　南鮮副業養兎獎勵會
京畿　大田　榮町
電話六〇七番・振替京城一七六二〇番